

庁舎視聴覚障害者誘導システム外設備保守点検業務 仕様書

点検機器

点検場所	機種	数量	備考
第一庁舎	視聴覚障害者誘導システム 音声案内システム 他	1式	詳細については別紙のとおり
第二庁舎			

保守点検周期

- ・ 建築保全業務共通仕様に基づく

保守点検内容

- ・ 音声誘導装置構成機器の動作状況等確認
- ・ インターホンの取付け状況及び動作状況等確認
- ・ トイレ等呼出装置の取付け状況及び動作状況等確認
- ・ その他、建築保全業務共通仕様に基づいた点検

その他

- ① 業務完了後、下記の書類を提出する。
 - ・ 作業報告書 1 部
 - ・ 保守点検状況、作業写真 1 部
- ② 本仕様書に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)によるものとする。

音声誘導ガイドシステム

設備概要説明

配置図

機器取扱説明書

設備概要説明

このシステムは、主に視覚障害者やお年寄りのための目標物確認システムです。

各施設出入口部分の天井面に、送受信アンテナユニットとスピーカーを設置します。

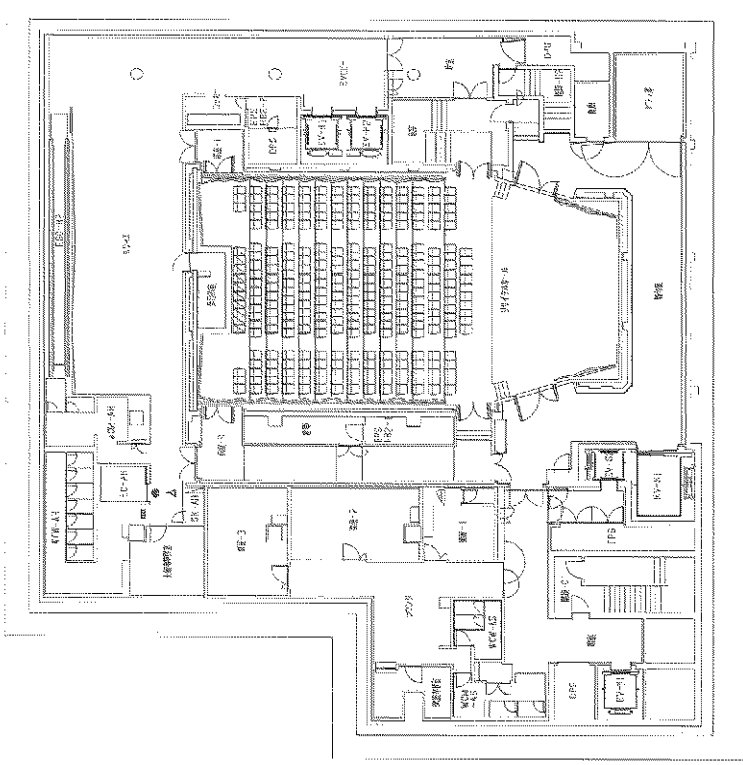
利用者はお手持ちの小型送受信機で音声案内利用可能エリアに入りますと
送受信機の音「ピッピッピッ．．．」でわかります。
その後、小型送受信機のボタンを押すと、電波が送受信機から発信され、
送受信アンテナユニットが受信したとき、
目標物の位置や必要情報を音声で案内するシステムです。

また、盲導鈴付きの装置は、通常時は盲導鈴として機能します。

3案内型の装置は、各音声重複せずに順番に音声で案内します。

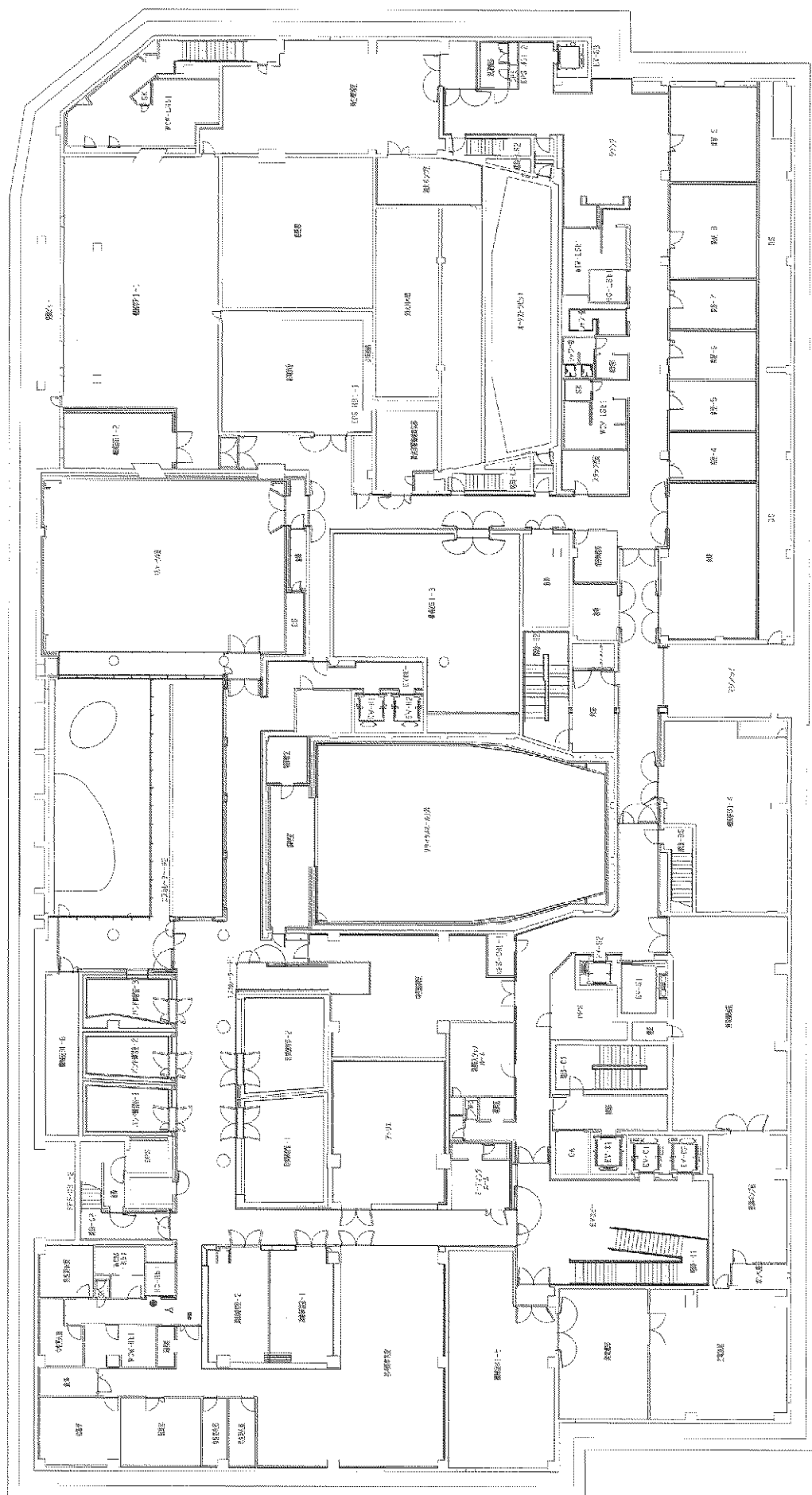
主装置は、各最寄りの天井点検口の天井内に設置されています。
操作は音量調節のみですので、調整以外の操作はありません。

盲導鈴付きの主装置はE P S内に設置されています。
24 Hタイマーがついていますので、鳴らさない時間を設定できます。
終日OFFさせたい場合は、主装置の電源を切ってください。
主装置の電源を切っても、タイマーは切れませんので、
主装置の電源を入れたら、タイマー設定の動作になります。



B2F

記号	名称
○	非常口
△	エレベーター
▽	階段

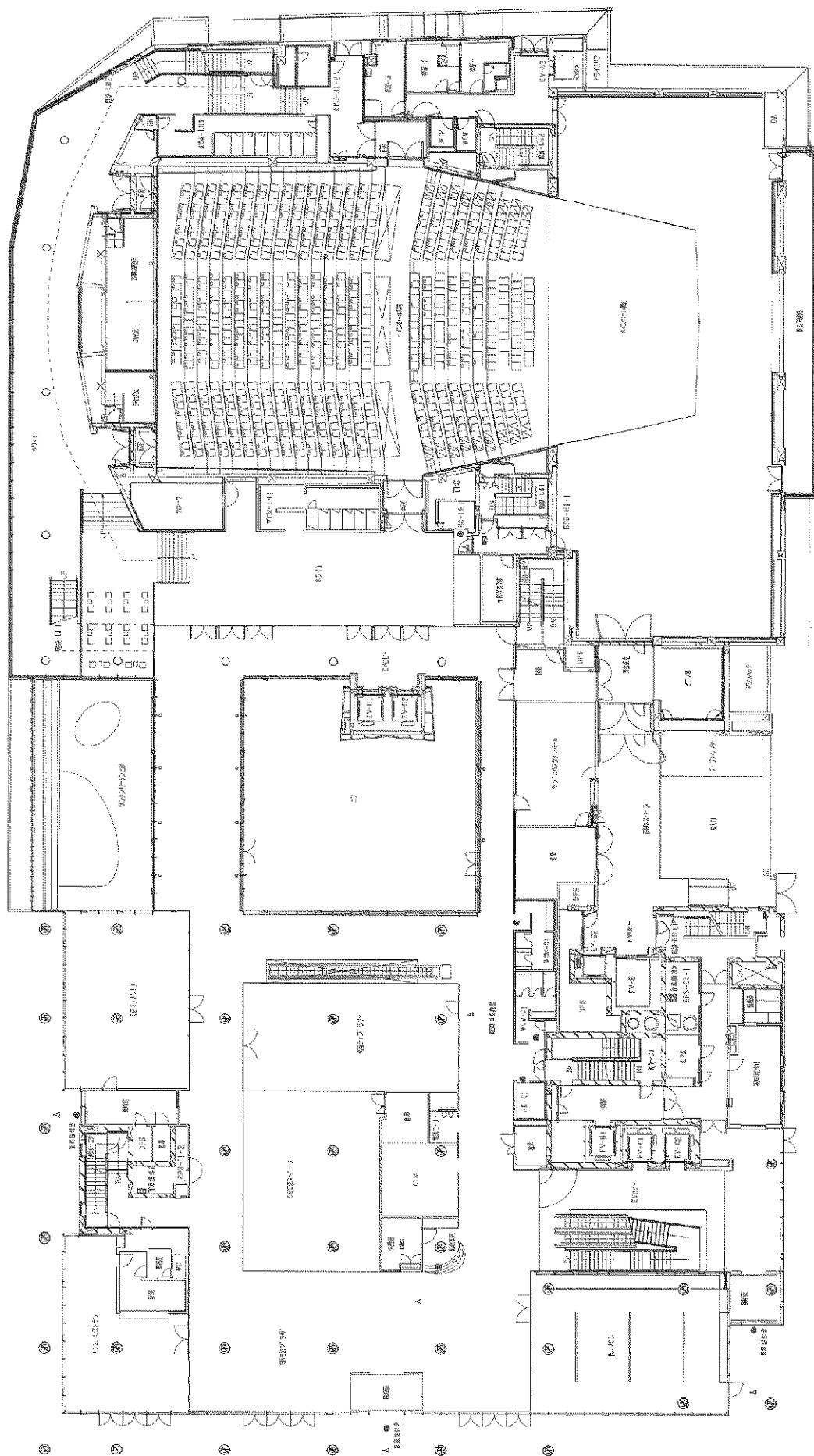


凡 例

記 号	名 称
SD	設備標準記号
備 考	設備標準記号、設備標準記号、設備標準記号
A	アンテナユニット

B1F

配置図

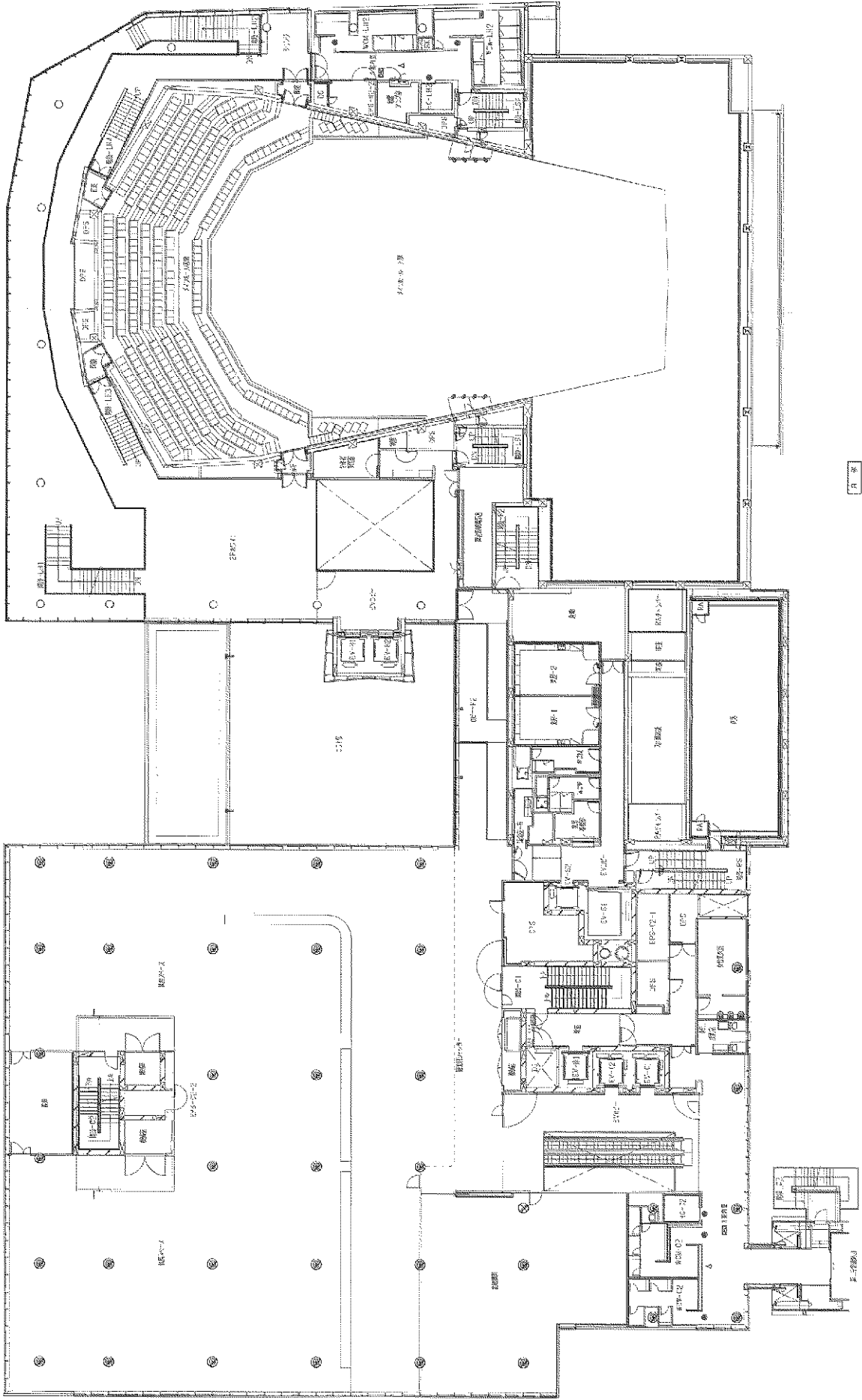


記号	名称
■	新築建物
□	既存建物
△	エレベーター
○	エレベーター
◇	エレベーター

1 F

記号	名称
①	客用エレベーター
②	客用エレベーター
③	客用エレベーター
④	客用エレベーター
⑤	客用エレベーター
⑥	客用エレベーター
⑦	客用エレベーター
⑧	客用エレベーター
⑨	客用エレベーター
⑩	客用エレベーター
⑪	客用エレベーター
⑫	客用エレベーター
⑬	客用エレベーター
⑭	客用エレベーター
⑮	客用エレベーター
⑯	客用エレベーター
⑰	客用エレベーター
⑱	客用エレベーター
⑲	客用エレベーター
⑳	客用エレベーター
㉑	客用エレベーター
㉒	客用エレベーター
㉓	客用エレベーター
㉔	客用エレベーター
㉕	客用エレベーター
㉖	客用エレベーター
㉗	客用エレベーター
㉘	客用エレベーター
㉙	客用エレベーター
㉚	客用エレベーター
㉛	客用エレベーター
㉜	客用エレベーター
㉝	客用エレベーター
㉞	客用エレベーター
㉟	客用エレベーター
㊱	客用エレベーター
㊲	客用エレベーター
㊳	客用エレベーター
㊴	客用エレベーター
㊵	客用エレベーター
㊶	客用エレベーター
㊷	客用エレベーター
㊸	客用エレベーター
㊹	客用エレベーター
㊺	客用エレベーター
㊻	客用エレベーター
㊼	客用エレベーター
㊽	客用エレベーター
㊾	客用エレベーター
㊿	客用エレベーター

2F



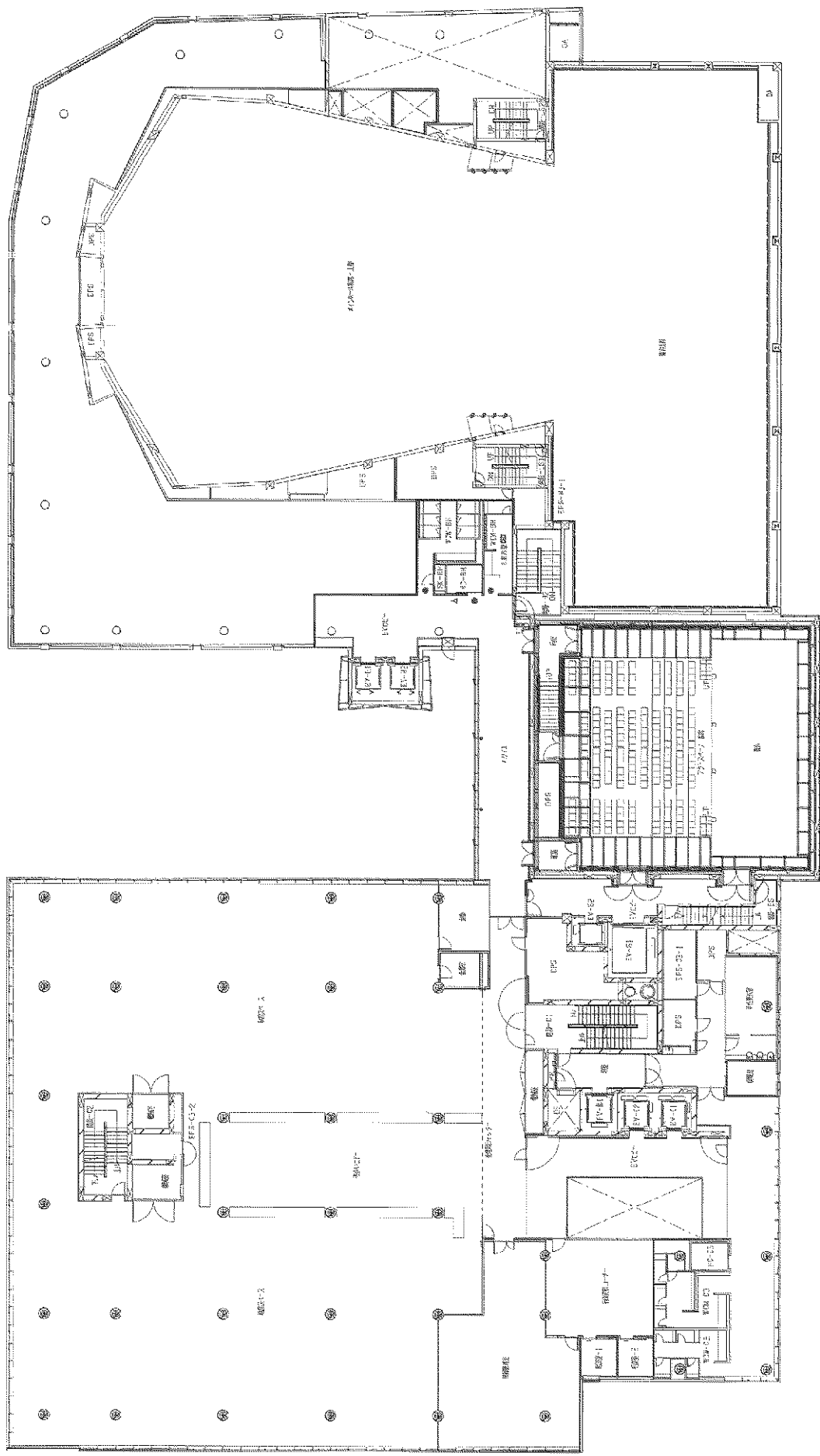
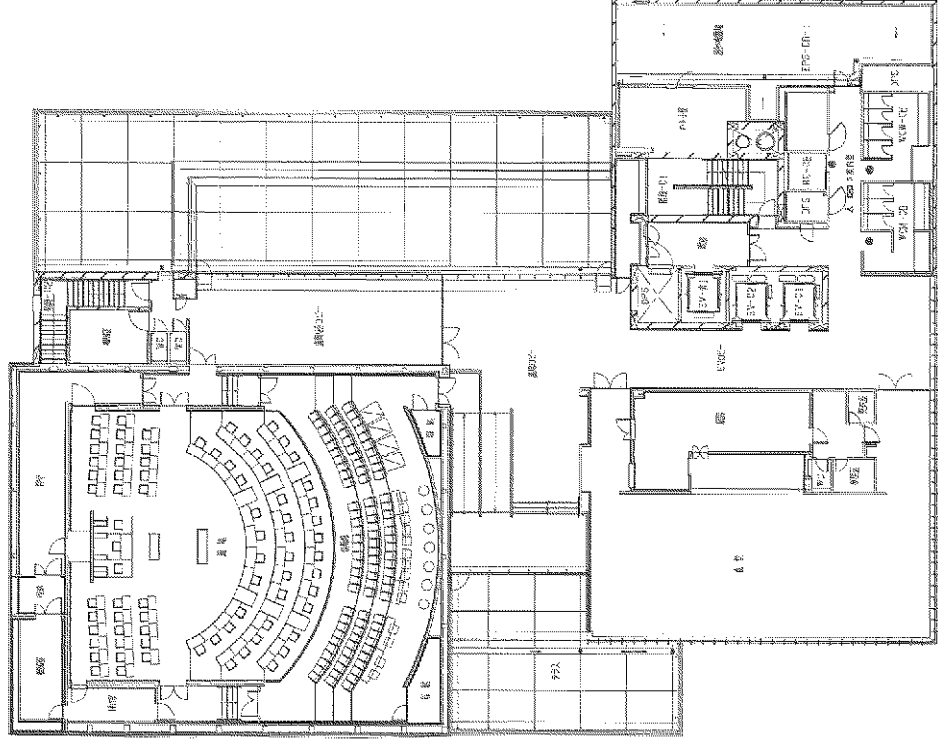


図	6	6	6
記	号	番	名
①	客	客	客
②	客	客	客
③	客	客	客
④	客	客	客
⑤	客	客	客
⑥	客	客	客
⑦	客	客	客
⑧	客	客	客
⑨	客	客	客
⑩	客	客	客
⑪	客	客	客
⑫	客	客	客
⑬	客	客	客
⑭	客	客	客
⑮	客	客	客
⑯	客	客	客
⑰	客	客	客
⑱	客	客	客
⑲	客	客	客
⑳	客	客	客
㉑	客	客	客
㉒	客	客	客
㉓	客	客	客
㉔	客	客	客
㉕	客	客	客
㉖	客	客	客
㉗	客	客	客
㉘	客	客	客
㉙	客	客	客
㉚	客	客	客
㉛	客	客	客
㉜	客	客	客
㉝	客	客	客
㉞	客	客	客
㉟	客	客	客
㊱	客	客	客
㊲	客	客	客
㊳	客	客	客
㊴	客	客	客
㊵	客	客	客
㊶	客	客	客
㊷	客	客	客
㊸	客	客	客
㊹	客	客	客
㊺	客	客	客
㊻	客	客	客
㊼	客	客	客
㊽	客	客	客
㊾	客	客	客
㊿	客	客	客

3F



記号	名称	階
①	有線放送設備	
②	放送用電源	
③	放送用電源	
④	放送用電源	
⑤	放送用電源	
⑥	放送用電源	
⑦	放送用電源	
⑧	放送用電源	
⑨	放送用電源	
⑩	放送用電源	
⑪	放送用電源	
⑫	放送用電源	
⑬	放送用電源	
⑭	放送用電源	
⑮	放送用電源	
⑯	放送用電源	
⑰	放送用電源	
⑱	放送用電源	
⑲	放送用電源	
⑳	放送用電源	
㉑	放送用電源	
㉒	放送用電源	
㉓	放送用電源	
㉔	放送用電源	
㉕	放送用電源	
㉖	放送用電源	
㉗	放送用電源	
㉘	放送用電源	
㉙	放送用電源	
㉚	放送用電源	
㉛	放送用電源	
㉜	放送用電源	
㉝	放送用電源	
㉞	放送用電源	
㉟	放送用電源	
㊱	放送用電源	
㊲	放送用電源	
㊳	放送用電源	
㊴	放送用電源	
㊵	放送用電源	
㊶	放送用電源	
㊷	放送用電源	
㊸	放送用電源	
㊹	放送用電源	
㊺	放送用電源	
㊻	放送用電源	
㊼	放送用電源	
㊽	放送用電源	
㊾	放送用電源	
㊿	放送用電源	

8F

取扱説明書

株式会社エクシオテック

東京都大田区平和島4-1-23

TEL 03 (6404) 2772

■ 安全上のご注意

音声標識ガイド装置を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みのうえ、正しくお使い下さい。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

絵表示について

表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意記号が描かれています。（左図は感電を示す物）



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。（左図は分解禁止を示す物）



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意記号が描かれています。（左図は「コンセントを抜いて下さい」）

⚠ 警告

■故障したままの使用はしない



- 煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。直ちに本製品の電源スイッチを切り、コンセントを抜いてください。その後、弊社にお問い合わせ下さい。

■絶対に分解、改造しない



- 絶対に電源が入ったまま、本製品の内フタは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店・または電気事業者に依頼してください。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■100V以外の電圧で使用しない



- 定格外の電源（定格：交流100V～200V）やバッテリーなどの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■放熱を妨げない



- 本製品の設置は炎天下の状況になる場所を避けて下さい。
内部に熱がこもり、故障の原因となります。

- 電源が入ったまま、タオルをかけたり、じゅうたん等、可燃物の上に置いて使用しないでください。

■内部に水を掛けない



- 本製品の内部に、水が入らないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

■中に異物を入れない



- 本製品の内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 火災・感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら



- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、
直ちに本製品の電源スイッチを切り、コンセントを抜いてください。
その後、弊社にお問い合わせ下さい。

■電源コードを傷つけたり、加工しない



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）
弊社にお問い合わせ下さい。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重量物をのせないようにしてください。
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
正しい施工方法で、電源コードに負担が掛からないようにしてください。
- 電源コードを傷つけたり、不適切な加工をしたり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■電源コンセントには本製品以外接続しない



- 本製品の電源コンセントは、表示された定格以内で、ご使用ください。
本製品のシステム以外の機器は同じコンセントに繋がないように
ご使用ください。

また、本製品のシステムと全く無関係及び高負荷な機器・電動工具等は
絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■落としたり、破損した状態で使用しない



- 万一、誤って本製品を落とした場合や、筐体を破損した場合には、
そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。
直ちに本製品の電源スイッチを切り、その後、弊社にお問い合わせ下さい。

■雷が鳴りだしたら機器に触れない



- 雷が鳴りだしたら、本製品に触れないでください。感電の原因となります。

注意

■設置上の注意



- 本製品は、取付箇所の丈夫なところにしっかりと取り付けて下さい。
取付に不備があると本製品が落下し、ケガをしたり、他の物品を破損するおそれがあります。

■次のような場所に放置しない



- 本製品のふたを開けたまま、湿気やほこりの多い場所に放置しないでください。故障・火災・感電の原因となることがあります。

■使用上の注意



- 電源を入れる前に音量（ボリューム）に注意してください。
突然大きな音が出て思わぬ事故の原因となることがあります。
- 本製品に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
落ちたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■アース、電源ケーブル、電源プラグ・端子の注意



- 本製品は、アース を取り付けてください。
アースが付いていませんと、感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源スイッチ・電源（プラグ・端子）を抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを引っ張らないでください。
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを通信ケーブル等と束ねた状態で使用しないでください。
誤動作・故障・事故の原因となることがあります。
- 本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源を外して下さい。
火災の原因となることがあります。
- 移動・移設をする場合は、電源スイッチを切り、
電源（プラグ・端子）を抜いてください。他機器への接続ケーブルなどがある場合、接続ケーブルも外して行ってください。
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ケーブル類について



- ケーブルを傷つけたり、ねじったり、ひっぱったり、熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■点検等について



- お手入れの際は、安全のため電源スイッチを切り、電源（プラグ・端子）を抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。



- 本製品の中に埃がたまったら、使用続けると火災や故障の原因となることがあります。
- 電源プラグや端子にほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的に点検、ほこりを取り除いてください。



- 本製品にシンナー、ベンジンやスプレー式殺虫剤をかけないでください。
外カバーの樹脂が溶けたり、変形することがあります。
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

音声標識ガイド装置

VMG-R110TB型

取扱説明書

株式会社エクシオテック

■ 品名

音声標識ガイド装置 VMG-R110TB型

■ システム概要

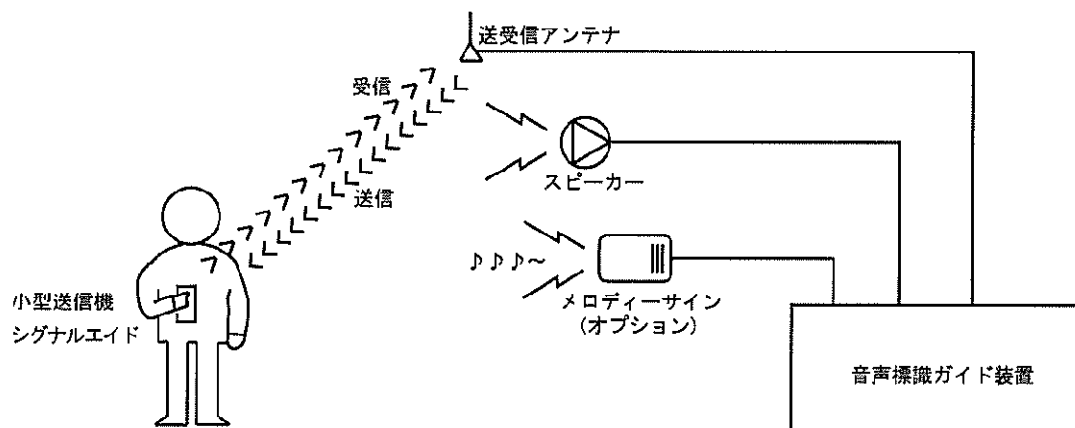
●構成機器

- ・小型送信機「シグナルエイド」
- ・音声標識ガイド装置 VMG-R110TB型
- ・アンテナ
- ・スピーカ
- ・メロディーサイン（オプション）

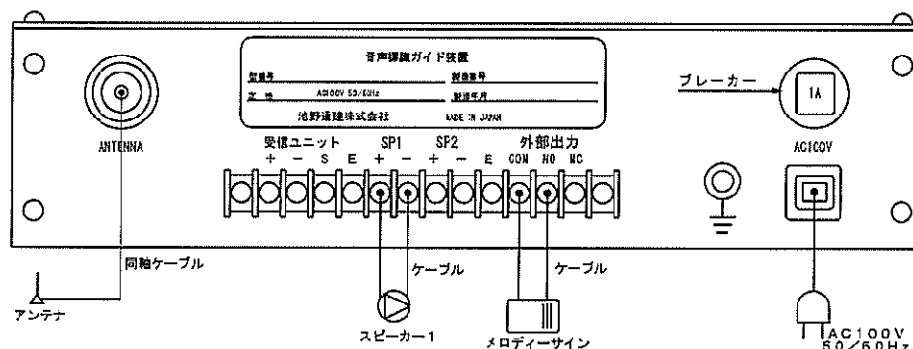
●仕組み

常時、一定間隔でスピーカよりチャイムが流れます。

送受信アンテナから送信される電波の発信圏内（15～20m）に、小型送信機「シグナルエイド」をもつ利用者が入ると、シグナルエイドから”ピーピーピー”という電子音が鳴り、利用者はそこで音声標識ガイド装置が利用出来ることがわかります。そこで、あらかじめ携帯するシグナルエイドの押しボタンスイッチを押すと、電波が有効圏内で送信されます。ここで音声標識ガイド装置のアンテナが、この電波を受信すると、スピーカより音声案内を流します。



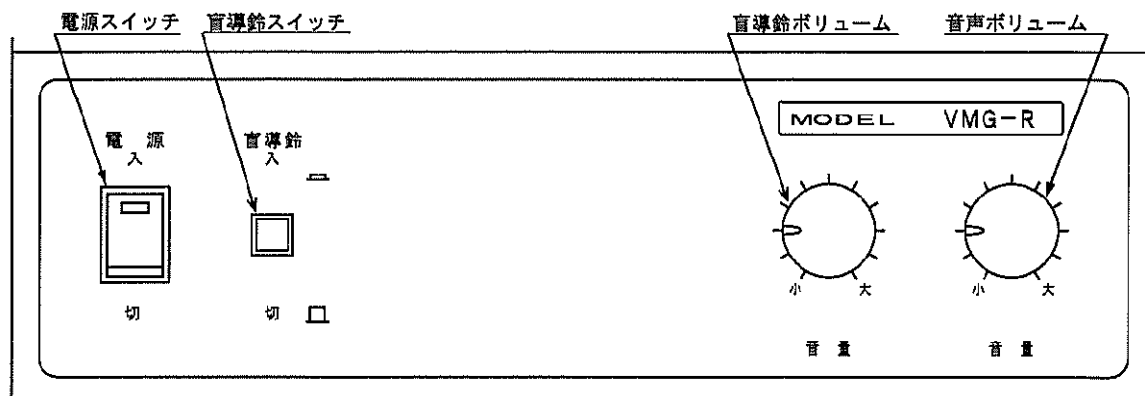
■ ケーブル接続



音声標識ガイド装置 VMG-R110TB型 端子面

- ANTENNA : アンテナより同軸ケーブルを接続します。
 SP1 : スピーカケーブルを接続します。
 AC100V : AC100V（50／60Hz）へ接続します。
 GND : アースへ接続します。
 外部出力 : メロディーサインを接続します。（オプション）

■ 音量設定



音声標識ガイド装置 VMG-R 110TB型 操作面

- ① 音声標識ガイド装置 VMG-R 110TB型の電源スイッチをONにして、電源ランプが点灯することを確認してください。
- ② シグナルエイドのブザースイッチを入れて、送受信アンテナから有効圏内で、シグナルエイドが”ピーピーピー”と反応することを確認して下さい。
- ③ 盲導鈴用電源スイッチをONにして、盲導鈴用スイッチが点灯することを確認してください。
- ④ しばらくすると、スピーカよりチャイムが流れることを確認してください。
- ⑤ シグナルエイの押しボタンスイッチを押して、スピーカより音声案内が流れることを確認してください。
- ⑥ 音声案内を聞きながら、ボリュームつまみで適当な音量に合わせてください。左側が盲導鈴用ボリューム、右側が音声案内用ボリュームです。

■ 仕様

受信周波数	312.450MHz 符号FM変調2波
送信周波数	231.845MHz
受信アンテナ	ハンディアンテナAT-2000
音声出力	最大3W (3.3kΩ)
案内時間	最長32秒
電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	20W以下
使用温度範囲	0℃～+50℃
寸法	250 (W) × 62 (H) × 252 (D) mm
重量	約3kg
付属品	アンテナ、スピーカ

■ お問い合わせ先

株式会社エクシオテック ソリューション事業本部

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23
東京総合エンジニアリングセンタ

TEL 03 (6404) 2610
FAX 03 (6404) 3209

音声標識ガイド装置

VMG-R100TB型

取扱説明書

株式会社エクシオテック

■ 品名

音声標識ガイド装置 VMG-R100TB型

■ システム概要

● 構成機器

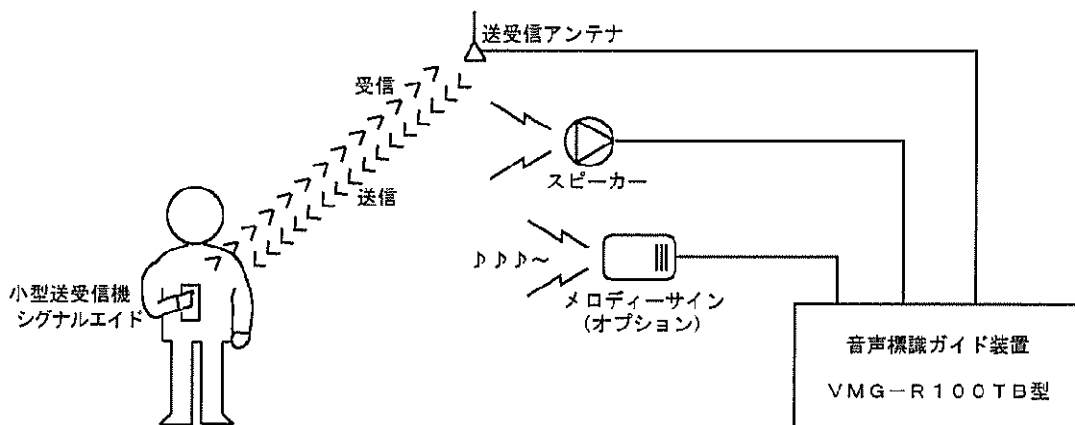
- ・ 小型送信機「シグナルエイド」
- ・ 音声標識ガイド装置 VMG-R100TB型
- ・ アンテナ
- ・ スピーカ
- ・ メロディーサイン (オプション)

● 仕組み

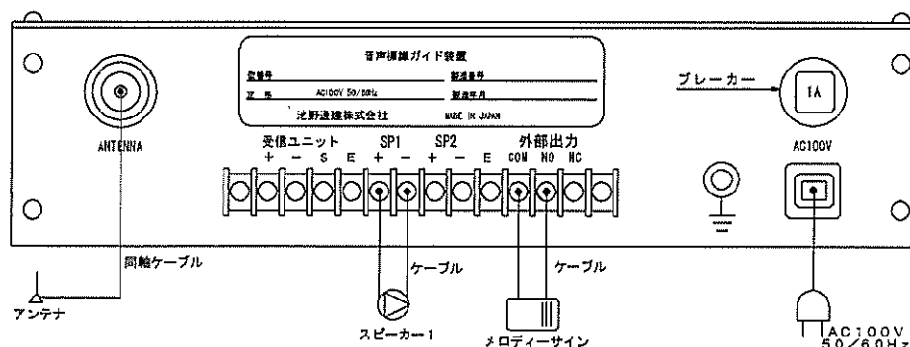
送受信アンテナから送信される電波の発信圏内 (15 ~ 20 m) に、小型送信機「シグナルエイド」をもつ利用者が入ると、シグナルエイドから”ピーピーピー”という電子音が鳴り、利用者はそこで音声標識ガイド装置が利用出来ることがわかります。そこで、あらかじめ携帯するシグナルエイドの押しボタンスイッチを押すと、電波が有効圏内で送信されます。

ここで音声標識ガイド装置の送受信アンテナが、この電波を受信すると、スピーカーより音声案内を流します。

また、メロディーサインを取り付けると、電波の受信時にメロディーが流れます。



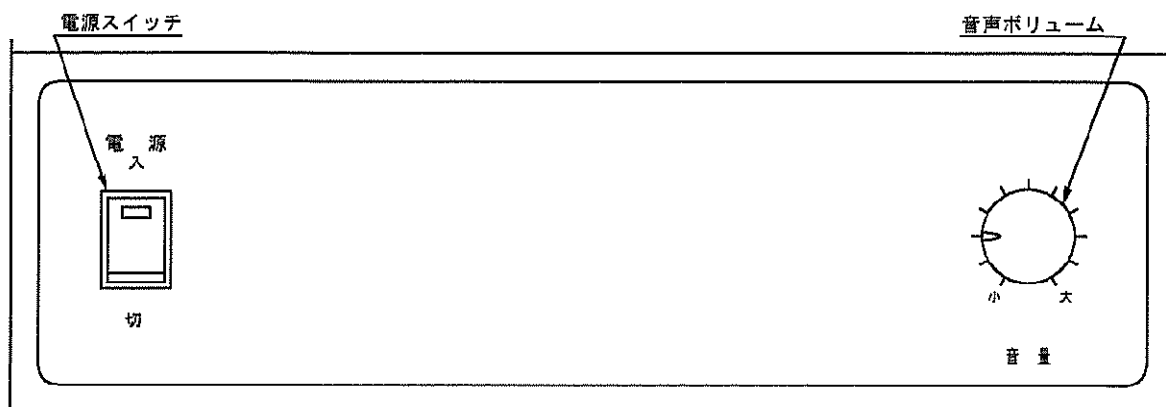
■ ケーブル接続



音声標識ガイド装置 VMG-R100TB型 端子面

- ANTENNA : アンテナより同軸ケーブルを接続します。
- SP1 : スピーカケーブルを接続します。
- AC100V : AC100V (50/60Hz) へ接続します。
- GND : アースへ接続します。
- 外部出力 : メロディーサインを接続します。(オプション)

■ 音量設定



音声標識ガイド装置 VMG-R100TB型 操作面

- ① 音声標識ガイド装置 VMG-R100TB型 の電源スイッチをONにして、電源ランプが点灯することを確認してください。
- ② シグナルエイドのスイッチを入れて、送受信アンテナから有効圏内で、シグナルエイドが”ピーピーピー”と反応することを確認して下さい。
- ③ シグナルエイドの押しボタンスイッチを押して、スピーカより音声案内が流れることを確認してください。
また、メロディーサインを接続している場合、同時にメロディーサインからも、メロディーが流れます。
- ④ 音声案内を聞きながら、ボリュームつまみで適当な音量に合わせてください。

■故障かなと思われたとき

○修理・サービスをご依頼される前に次の点検及び処置をして下さい。

また、次の点検及び処置を実施しても改善されない場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

状 態	点 検	処 置
動作しない	電源スイッチが切れていませんか。	電源スイッチを入れて下さい。
	電源コンセントが抜けていませんか。	電源コンセントを差して下さい。
	電源電圧（AC100V～AC200V）が来ていますか。 （電圧測定をするか、AC100V～AC200Vで動作する機器を動かしてみる）	電源を適正にする。 AC100V～AC200Vが正常に供給されるようにして下さい。
	装置のアンテナが紛失、 抜けかけていませんか。	アンテナを付け直して下さい。
	シグナルエイドの電池 （1個1.5V以上）は正常ですか。	シグナルエイドの電池を入れる、又は 交換して下さい。
	音量が最小になっていませんか。	音量を適正にして下さい。
	音声カードが抜け掛けていませんか。	音声カードをしっかりと差し込んで下さい。
シグナルエイドの 送受信感度が悪い	シグナルエイドの電池 （1個1.5V以上）は正常ですか。	シグナルエイドの電池を入れる、又は 交換して下さい。
	装置のアンテナが紛失、 抜けかけていませんか。	アンテナを付け直して下さい。
	装置のアンテナの至近距離 （7cm以内）に鉄板・アルミ板等の 金属がありませんか。	鉄板・アルミ板等をアンテナから遠ざけて下さい。

※環境により、シグナルエイドの送受信感度が変化します。

■仕様

受信周波数	312.450MHz 符号FM変調2波
送信周波数	231.845MHz
アンテナ	ハンディーアンテナAT-2000
音声出力	最大3W(3.3K Ω) / 5W(8 Ω)※
案内時間	最長32秒(音声再生形式:MP3モノラル)
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	20W以下
使用温度範囲	0℃~+50℃
寸法	250(W)×62(H)×252(D)mm
重量	約3kg
付属品	アンテナ, スピーカ, メロディーサイン(オプション)

■お問い合わせ先

株式会社エクシオテック ソリューション事業本部

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23
東京総合エンジニアリングセンタ

TEL 03(6404)2610
FAX 03(6404)3209

音声標識ガイド装置

VMG-R300TB型

取扱説明書

株式会社エクシオテック

■品名

音声標識ガイド装置 VMG-R300TB型

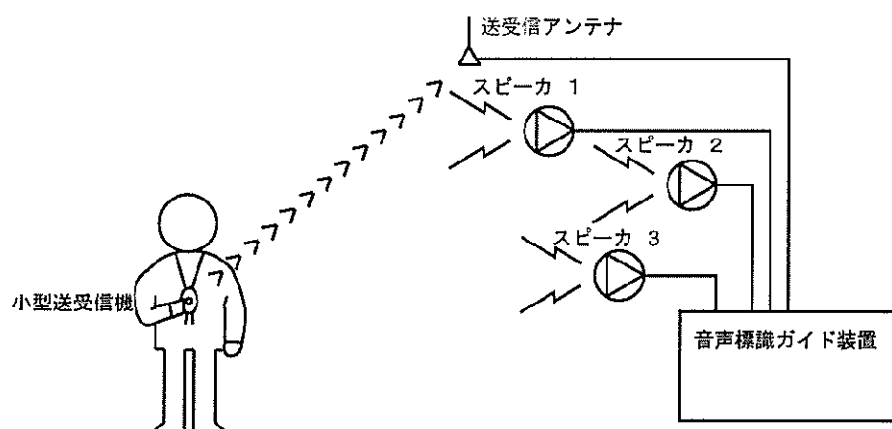
■システム概要

●構成機器

- ・ 小型送信機
- ・ 音声標識ガイド装置 VMG-R300TB型
- ・ アンテナ
- ・ スピーカー × 3

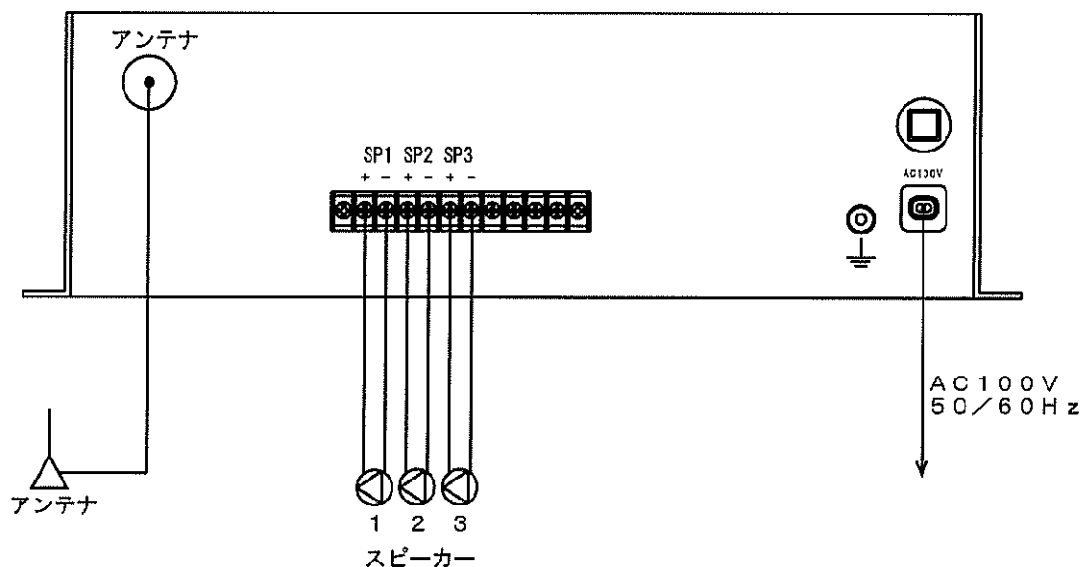
●仕組み

利用者が、あらかじめ携帯する小型送受信機の押しボタンスイッチを押すと、電波が15～20m 圏内に送信されます。音声標識ガイド装置のアンテナが、この電波を受信すると、スピーカー1→2→3の順に音声案内を流します。



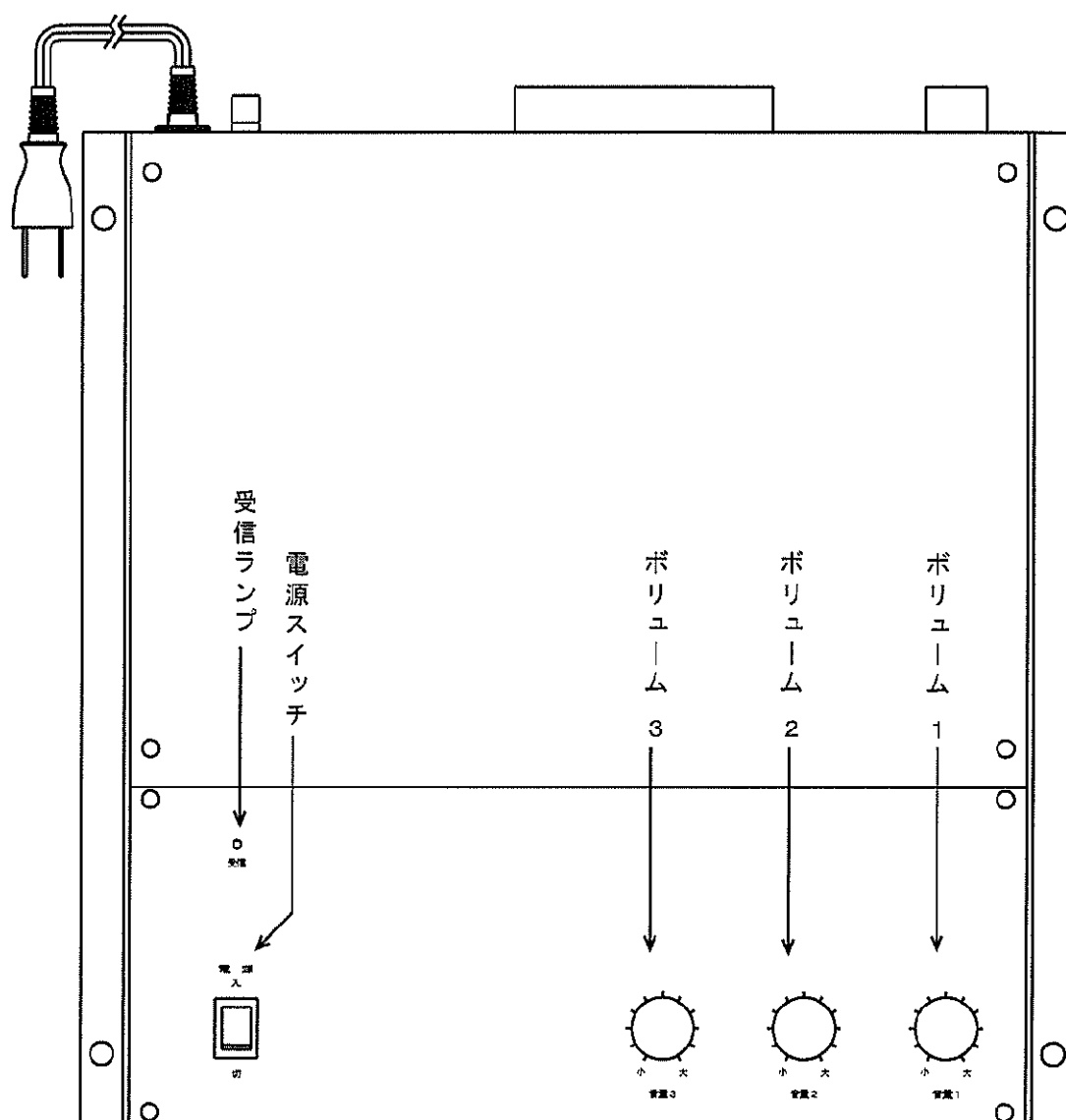
■ケーブル接続

音声標識ガイド装置 VMG-R300TB型 端子面



■音量設定

音声標識ガイド装置 VMG-R300TB 操作面



- ① 音声標識ガイド装置の電源スイッチをONにして、電源ランプが点灯することを確認してください。
- ② シグナルエイドの押しボタンスイッチを押すと、スピーカー1～3より音声案内が流れます。
- ④ 音声案内を聞きながら、ボリュームつまみでそれぞれ適当な音量に合わせてください。

■仕様

音 声 出 力	最大3W (3.3K Ω) × 3
案 内 時 間	32秒 × 3
電 源	AC100V (50/60Hz)
消 費 電 力	60VA以下
使用温度範囲	0℃～+50℃
寸 法	350 (W) × 100 (H) × 350 (D) mm
重 量	約5kg
付 属 品	アンテナ, スピーカー

■お問い合わせ先

株式会社エクシオテック ソリューション事業本部

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23
東京総合エンジニアリングセンタ 2階

TEL 03 (6404) 2610

FAX 03 (6404) 3209

小型送受信機 シグナルエイド

2015年7月1日2.00版

取扱説明書

このたびは、小型送受信機「シグナルエイド」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
また、保証書も表記されていますので、紛失されませんよう大切に保管してください。

本製品は利用者が携帯し、送信スイッチを押すことによって、周囲に設置された音声標識ガイドシステム、歩行時間延長信号機や音響案内装置「メロガイドホーム」に電波を送信します。
また、音声標識ガイドシステムの利用可能範囲をお知らせする、情報提供エリア受信機能を持っています。

株式会社 エクシオテック

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

警告 この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は「障害をおったり、物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

❗ このような絵表示は、必ず守ることを示しています。

⊘ このような絵表示は、してはいけないことを示しています。

警告

❗ 本体や電池は乳幼児の手の届かないところにおいて下さい。
乳幼児がけがをしたり、電池を飲み込む可能性があります。
飲み込んだときはすぐに、医師の治療を受けて下さい。

❗ 電池を加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
破裂などにより、けがの原因となります。

注意

❗ 電池は＋と－の向きに注意して正しく入れてください。
発熱や液漏れ、破損により本体の破損や、けがの原因になります。

❗ 指定の電池を使って下さい。
発熱や液漏れ、破損により本体の破損や、けがの原因になります。
指定の電池：単4アルカリ乾電池 LR03-1.5V 2個

❗ 長期間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
液漏れにより故障の原因となります。

⊘ 本体は防水ではありません。内部に水などが入らないようにして下さい。
本体の故障の原因となります。

⊘ 湿度の高い場所やほこりの多い場所には置かないでください。
本体の故障の原因となります。

⊘ 調理台や加湿器のそばなど高温を発する場所、油煙や湿気があたるような場所に置かないでください。
本体の故障や火災の原因となることがあります。

⊘ 本体は電波を発信するため、航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では、使用しないでください。
法令により罰せられることがあります。

⊘ 本体に強いショックを与えたり、落としたり踏んだり振動を与えたりしないで下さい。
本体の故障の原因となります。

⊘ 本体を分解・改造しないでください。故障の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

次の物が入っていますか？

- 1) 本体
- 2) 単4アルカリ乾電池 (LR03-1.5V) 2本
※販売店によっては、お買い上げ時、本体に内蔵されています。
- 3) 取扱説明書 (本書：保証書付き)
※保証書は裏面に付いています。紛失されませんよう大切に保管してください。

ご利用対象のシステム

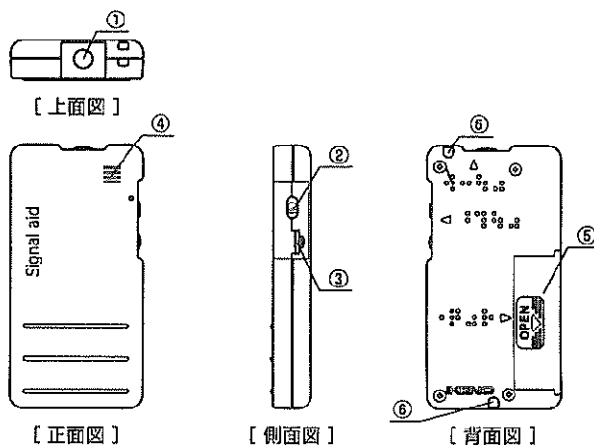
本製品はお客様が携帯し、下記のシステムや製品にご利用いただけます。

- 1) 音声標識ガイドシステム
公共の建物・銀行向けの音声案内装置。
- 2) 歩行時間延長信号機
警察庁で設置を推進している歩行時間延長信号機。
- 3) 音響案内装置「メロガイドホーム」
ご自宅玄関の位置をメロディーでお知らせするメロディ受信機。

シグナルエイドの機能

- 1) 電波送信機能
音声標識ガイドシステム、歩行時間延長信号機や音響案内装置「メロガイドホーム」を動作させるための電波を送信する機能です。
- 2) 情報提供エリア受信機能
音声標識ガイドシステムが設置されている位置をお知らせする機能です。
なお、この情報提供エリアは、音声標識ガイドシステムにのみ提供され、歩行時間延長信号機と音響案内装置「メロガイドホーム」からは提供されませんのでご了承下さい。
- 3) オートオフ機能
情報提供エリア受信機能使用時、情報提供エリア受信をしていない状態が連続20分間続いた場合、自動的に電源がオフ状態になり、電池を節約する機能です。

各部の名称と働き



広い面に横方向3本線の突起が入っています。この面を手前に向けつつ、この3本線が下側になるようにお持ちいただくと、本体を正しく正面に向けた状態になります。以下、この向きで説明を致します。

- ①送信ボタン
本体の上面にある丸い押しボタンで、電波を送信するためのスイッチです。背面には点字で「送信」と記され、▲印で送信ボタンの位置が示されています。
- ②受信スイッチ (スライド式)
本体の右側面にあるスライド式のスイッチです。情報提供エリア受信機能を有効にするためのスイッチです。背面には点字で「受信」と記され、▲印で送信スイッチの位置が示されています。また、受信スイッチの「入」側を示す1点の突起が本体正面の右上に付いています。
- ③ボリューム
受信スイッチの下にあり、回転式です。スピーカーからの音量を調整します。
- ④スピーカー
本体正面の右上にあります。動作の状況をブザー音によりお知らせします。
※音量が小さくなりますので、スピーカーは塞がないようにお願いします。
- ⑤電池カバー
本体背面の右下にあります。正面の状態から、横方向に180°回転させると背面が手前に向きます。背面には点字で「電池」と記され、▲印で電池カバーの位置が示されています。
- ⑥ストラップ穴
本体上面と下面の2箇所にストラップ穴があります。ご使用のスタイルに応じて、お好みでご利用下さい。
※ストラップは付属されていません。

操作方法

1) 電波を送信するためには

送信ボタンを押します。ブザー音が「ピー」と鳴り電波送信を行います※
音声標識ガイドシステムの音声情報が必要なときや歩行時間延長信号機を動作
させたいときにボタンを押します。電波は最大15～20mの範囲で届きます。
電波が届く距離は、環境により更に変動しますのでご了承下さい。

※電波送信時、電池残量が少なくブザー音が「ビビビ・ビビビ」と鳴り、電池の交
換が必要であることをお知らせします。そのまま、ある程度は電波送信が出来ます
が、正常動作を保証する物ではありません。お早めに電池を交換して下さい。

2) 情報提供エリア受信するためには

情報提供エリア受信機能は、音声標識ガイドシステムでのみご利用できます。

①受信スイッチを上スライドさせると、情報提供エリア受信機能が
待ち受け状態の「入」となり、ブザー音が「ピーピー」と鳴ります※
※本体正面の右上に1点の突起が付いていますので、そちら側にスイッチが移動し
ていることで「入」側になっていることが確認いただけます。
また、受信スイッチを入れた時、電池残量が少なくブザー音が「ビビビ・
ビビビ」と鳴り、電池の交換が必要であることをお知らせします。そのまま、ある
程度は情報提供エリア受信機能がご利用出来ますが、正常動作を保証する物で
はありません。お早めに電池を交換して下さい。

②情報提供エリア受信を手動で「切」にするには、受信スイッチを下にスラ
イドさせて切ります。

③情報提供エリア受信機能「入」の状態、情報提供エリアに入ると、ブザー
音が「ピー・ピー・ピー・・・」と繰り返し鳴り、情報提供エリア内に入っ
たことをお知らせします。
情報提供エリアのブザー音はエリアを出ることで停止します。

④情報提供エリア内に入り、音声情報が必要なときは、送信ボタンを押し、電
波を送信します。このとき、音声標識ガイドシステムから放送をおこないま
すので、情報提供エリアのブザー音「ピー・ピー・ピー・・・」は15秒間
停止するようになっています。

⑤送信ボタンを押さずに情報提供エリアに20秒間とどまると、情報提供エ
リアのブザー音「ピー・ピー・ピー・・・」は停止します。
このとき、受信スイッチを「入」→「切」→「入」と操作しますと、再びブ
ザー音を確認できます。

⑥情報提供エリアを出てから再び、情報提供エリアに入ると、③～⑤の動作を
します。

3) ブザー音の音量について

電波送信機能・情報提供エリア受信機能のブザー音は、ボリュームで音量を調
整できます。上に回すと音量が上がり、下に回すと音量が下がります。
ボリュームを最も下げても、わずかに音が出るようになっています。

4) オートオフ機能について

シグナルエイドには電池節約の為、情報提供エリア受信機能のオートオフ機能
があります。

①情報提供エリア受信機能の待ち受け時に、送信ボタン・受信スイッチの無操
作と情報提供エリア外の状態が20分間続くとオートオフ機能が働きます。
オートオフが働いた時は、ブザー音が「ピッピ」と鳴ってお知らせします。

②送信ボタン・受信スイッチ操作、情報提供エリア内に入ると、その時点から
20分後に延長されます。

③オートオフをした状態から再び、情報提供エリア受信機能を「入」にするた
めには、受信スイッチを「入」→「切」→「入」と操作します。

電池の交換

1) 電池の交換時期について

送信ボタンを押した時、受信スイッチを上スライドさせた時にブザー音が、
「ビビビ・ビビビ」と鳴りましたら、電池残量がわずかですので、電池の交換
を行ってください。引き続きご使用を続けることが出来ますが、電池不足により
正常動作が保証出来ませんので、お早めの交換をお願いします。

2) 電池の挿入・交換方法(単4型アルカリ乾電池 2本)

電池の挿入・交換はシグナルエイド背面を手前に向けて、送信ボタンを上にし
た状態で行います。このとき、電池カバーが右下にあります。
※販売店によっては、お買い上げ時に電池を入れてお渡しのようになっています。

①電池カバーを押さえながら右側(矢印方向)にスライドさせます。このとき
「パチン」と音がして、電池カバーのロックが外れます。

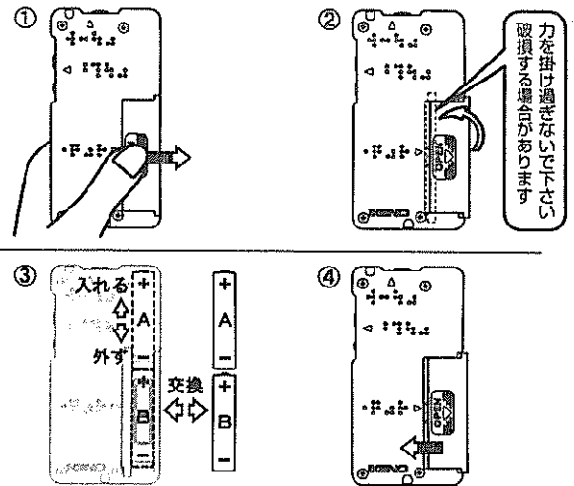
②電池カバーを手前に開きます。90°まで開きますので、それ以上は電池カ
バーに力を掛け過ぎないように注意して下さい。

③電池は縦方向、上下に入ります。古くなった電池を外す場合は、先の下側
(B)の電池を外し、上側(A)の電池を下にスライドさせて取り出します。

電池を入れる際は、必ず+側を上にして行って下さい。上側(A)の電池を
入れて、上にスライドさせてから下側(B)の電池を締めして下さい。

④電池カバーを閉める時は、矢印方向(左側)に「パチン」と音がするまでス
ライドさせて完了です。

□使用済み電池や本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。



仕様

型番: VMG-SA3
形状: ハンディタイプ
受信周波数: 231.84MHz
送信周波数: 312.45MHz
送信出力: 微弱電波の範囲
送信距離: 見通し 15～20m
使用電池: 単4型アルカリ乾電池
LR03・1.5V 2個
寸法: 50(W)×100(H)×14.2(D)※突起部含まず
重量: 約90g(単4乾電池2個を含む)

保証書

—保証規定—

本製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。次の規定により1年間の無償保証を行います。
1) 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態でご購入後、1年以内に故障した場合には、無償修理
または交換いたします。

2) 無償保証期間内に故障をして修理を受ける場合は、お買い上げ販売店にご連絡下さい。

3) 無償保証期間内でも次の場合は、有償修理となります。

(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷

(ロ) お買い上げ後の落下による故障および損傷

(ハ) 火災・水害・地震・落雷その他の天災地変、指定外の使用電源・電圧等による故障及び損傷

(ニ) 保証書の提示がない場合

(ホ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

(ヘ) 消耗部品

(ト) 故障の原因が本商品以外に起因する場合

(チ) その他、取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷

4) 保証書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

5) 保証書は、本規定に明記した期間、条件の下に於いて無償保証をお約束するものです。従って、この保証書
によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製造元 株式会社 エクシオテック

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23
東京総合エンジニアリングセンター 電話 03(6404)2610

お買上げ日	平成 年 月 日
お買上げ品	シグナルエイド SN. 1431H1208
保証期間	お買上げ日から1年間
お客様	ご芳名
	ご住所 〒□□□-□□□□
	お電話
販売店	
店名	
住所	

□修理・ご相談は、販売店お問い合わせ下さい。

Panasonic®

保管用

電子式 DIN72パネル取付型

タイムスイッチ

TB2701

取扱説明書

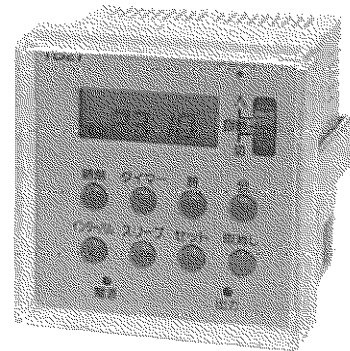
お買い上げありがとうございました。

工務店様へ

- 施工前に必ずこの説明書の施工編をお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。
- この説明書は必ずお客様にお渡してください。

お客様へ

- ご使用に必ずこの説明書の取扱編をお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。



パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真 1048 番地 TEL (代表) 06-6908-1131

取説品番: TB27008107

K0908-1121

安全上の注意

けがや事故防止のため次のことを必ずお守りください。

■取扱いに関する事項 (お客様へ)

警告

- タイムスイッチの不具合が原因となり人名並びに社会的に重大な影響を与えることが予測される機器(医療機器や大規模設備等)には使用しないでください。
 - タイムスイッチの不具合が原因となり財産に影響を与えることが予測される機器(ヒーターや冷凍庫等)に使用する場合は、特性・性能の数値に余裕をもたれ、かつ必ず二重回路などの安全対策を組み込んでください。
 - タイムスイッチを加圧・加熱(100℃以上)・火中投入しないでください。
- リチウム電池を内蔵しており、発火・破裂の恐れがあります。

注意

- 修理や分解・改造をしないでください。
- 感電・火災・故障の原因になります。
- 修理・点検等はお買い求めの販売店・工事店にご依頼ください。
- 通電中は端子に触れないでください。
- 感電の危険があります。
- 端子部等に錆が認められましたら早めに商品をお取り替えください。
- 接触不良による発熱・発火の原因になります。
- 水や油をかけないでください。
- 感電・火災・故障の原因となります。

■施工に関する事項 (工事店様へ)

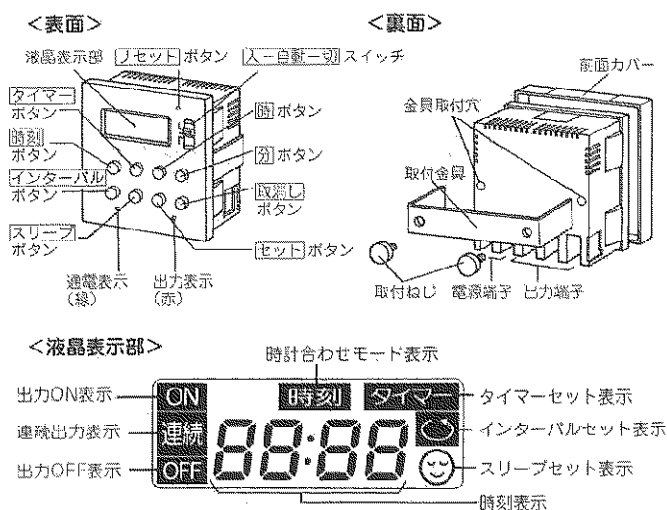
警告

- タイムスイッチの不具合が原因となり人命並びに社会的に重大な影響を与えることが予測される機器(医療機器や大規模設備等)には使用しないでください。
 - タイムスイッチの不具合が原因となり財産に影響を与えることが予測される機器(ヒーターや冷凍庫等)に使用する場合は、特性・性能の数値に余裕をもたれ、かつ必ず二重回路などの安全対策を組み込んでください。
 - タイムスイッチを加圧・加熱(100℃以上)・火中投入しないでください。
- リチウム電池を内蔵しており、発火・破裂の恐れがあります。

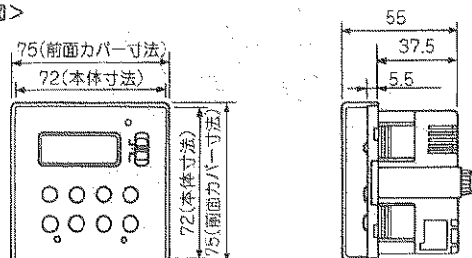
注意

- 分解や改造をしないでください。
- 感電・火災・故障の原因になります。
- 適正な電線をご使用ください。
- 不適正な電線の使用は火災の原因になります。
- 端子ねじは確実に締め付けてください。
- ゆるみが生じると火災の原因になります。
- 水や油のかかる場所には使用しないでください。
- 感電・火災・故障の原因になります。
- 施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
- 切らずに行くと感電の危険があります。
- 定格以上の負荷を直接制御しないでください。
- 火災・火傷・故障の原因となります。
- この場合、電磁接触器等をご使用ください。

各部の名前と寸法



＜寸法図＞



— 4 —

目 次

安全上のご注意	(2)
各部の名前と寸法	(4)
目次	(5)
＜取 扱 編＞	
このようなことができます	(6)
時計精度について	(7)
寿命について	(7)
機能概要	(8)
リセットについて	(10)
時計の合わせ方	(11)
タイマーの設定方法	(12)
インターバルの設定方法	(13)
スリープの設定方法	(14)
各設定の確認・変更・取消し	(15)
[入-自動-切] スイッチの操作方法	(16)
動作上のご注意	(18)
使用例	(19)
故障と思われる前に	(21)
サービス部品	(22)

＜施 工 編＞	
施工上のご注意	(23)
出力構成	(24)
負荷容量について	(24)
取付方法	(25)
結線例	(26)
結線方法	(27)
故障と思われる前に	(28)
定格一覧	(29)

— 5 —

取 扱 編

このようなことができます

- 毎日同じ動作を繰り返します。
曜日毎に異なる動作はできません。
◆タイマー動作 (P8, 12, 19) をご参照ください。
- 単独動作ができます。
単独動作とは、ON または OFF 片方だけの動作で、一度 ON (または OFF) すると以後その状態を継続します。
装置の運転または停止だけを自動的に行いたい場合にご利用いただけます。
◆タイマー動作 (P8, 12, 19) をご参照ください。
- 短周期から長周期の繰り返し動作ができます。
1 分間隔の ON・OFF の繰り返しから 4 日おきの繰り返しなどが可能です。
◆インターバル動作 (P8, 13, 20) をご参照ください。
- 当日だけの時間延長や臨時運転ができます。
◆スリープ動作 (P8, 14) をご参照ください。
- 当日だけの早めの運転開始や早めの運転停止ができます。
◆モーメンタリー動作 (P9, 16) をご参照ください。

— 6 —

時計精度について

時計精度は、湿度の影響を受けます。
25℃一定のもとで±15秒/月に調整されていますが25℃の時計精度に対して温度が高くなっても低くなっても時計は遅れる方向にずれます。
例えば50℃一定や0℃以下で使用した場合、1分/月以上の遅れとなります。

寿命について

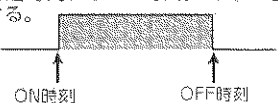
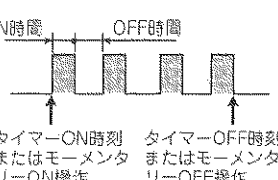
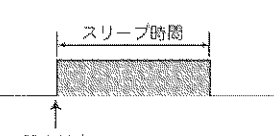
正常な環境下での平均寿命は次のとおりです。
●接点開閉時 5 万回 (抵抗負荷: AC250V, 15A)
●使用期間 5 年 (温度 25℃、相対湿度 65%)
上記のいずれかに達したときは新品に交換されることをおすすめします。
また、寿命は内部の電子回路の特性により高温になるほど短くなります。

【ご注意】
内蔵の停電補償用電池はご購入時点より10年間連続停電分の容量がありますが、10年の寿命を保証するものではありません。

— 7 —

機能

次の3種類の基本プログラム動作ができます。

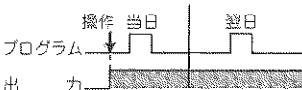
動作の種類	動作内容	用途例
タイマー動作	指定時刻(ON時刻)に「ON」し、指定時刻に(OFF時刻)に「OFF」する。 	照明・空調の制御 装置の暖気運転 電話回線の切り換え
インターバル動作	指定時間(ON時間)「ON」、指定時間(OFF時間)「OFF」を繰り返す。 *実行、終了にはタイマー動作またはモーメンタリー操作が必要です。  タイマーON時刻またはモーメンタリーON操作 タイマーOFF時刻またはモーメンタリーOFF操作	散水 電照栽培 霜取り(デフロスト)
スリープ動作	設定時点から設定時間(スリープ時間)だけ「ON」する。 	時間延長 臨時運転

— 8 —

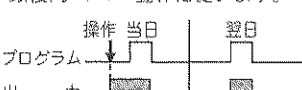
概要

基本プログラム動作に加えて、次のような手動操作による動作があります。

■パーマネント動作

動作の種類	動作内容	用途例
パーマネントON動作	プログラムとは関係なくON状態を保持します。 	長期間の連続運転
パーマネントOFF動作	プログラムとは関係なくOFF状態を保持します。 	長期間の連続運転停止

■モーメンタリー動作

動作の種類	動作内容	用途例
モーメンタリーON動作	一時的にOFF状態をON状態にし、以後、タイマー動作に従います。 	当日だけの早め運転
モーメンタリーOFF動作	一時的にON状態をOFF状態にし、以後、タイマー動作に従います。 	当日だけの早め運転停止

— 9 —

リセットについて

- おかしな表示、動作を行った場合
- 設定した内容をすべて取り消したい場合
先のとがったもので「リセット」ボタンを1回押してください。
次の動作を行います。

- 2秒間の全点灯表示後「00:00」がブリンクします。ここで「リセット」ボタン以外のボタンのいずれかを押すと、「00:00」から時計がスタートします。



- 設定内容(タイマー・インターバル・スリープの各設定)をすべて取り消します。
- 出力を「OFF」にします。

【ご注意】

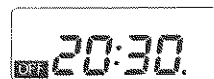
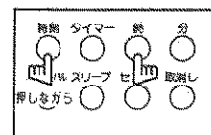
おかしな動作を行い、「リセット」ボタンを押して再設定してもなお正常にならない場合は、ノイズの影響もしくは故障が考えられますので、タイムスイッチの電源を切り、ご購入されました販売店、工務店にご相談ください。

— 10 —

時計の合わせ方

- (例) 午後8時30分(20時30分)の場合
※設定は「時刻」ボタンを押しながら行います。

- ①「時刻」ボタンを押します(以後、押しながら)
- ②時報に合わせて「セット」ボタンを押します。
●「セット」ボタンを押した時点から0秒スタートします。
- ③「時」「分」ボタンで「時」「分」を設定します。
●1回押すごとに1時(分)送れます。
●1秒以上押し続けると早送りになります。
- ④「時刻」ボタンを離します。



【ご注意】

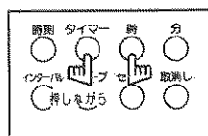
- (1) 時刻表示は、24時間制です。
- (2) 「1秒」まで合わせる必要のない場合は、②の操作を省略してください。

— 11 —

タイマーの設定方法

(例) 午前10時00分に「ON」、午後4時30分(16時30分)に「OFF」の場合

※設定は、「タイマー」ボタンを押しながら行います。



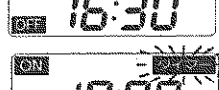
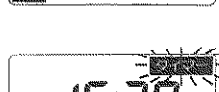
(1) ON時刻の設定

- ①「タイマー」ボタンを押します。
(以後、押しながら)
- ②「時/分」ボタンでON時刻に合わせます。
- ③「セット」ボタンを押します。
●設定内容が記憶され、OFF時刻の設定画面になります。



(2) OFF時刻の設定

- ④「時/分」ボタンでOFF時刻に合わせます。
- ⑤「セット」ボタンを押します。
●設定内容が記憶され、ON時刻の設定画面になります。
- ⑥「タイマー」ボタンを離します。



【ご注意】

ON時刻のみ、またはOFF時刻のみの設定も有効です。
その時は、希望しない側の動作時刻を「--:--」にしてください。

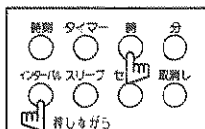
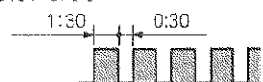
インターバルの設定方法

インターバル動作の実行および終了は、タイマー動作またはモーメンタリー操作により行います。

(「機能概要」(P8)、「使用例」(P20)をご参照ください。)
ここで設定するのは、繰り返し時間についてだけです。

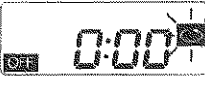
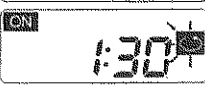
(例) 1時間30分「ON」、30分「OFF」の繰り返しの場合

※設定は、「インターバル」ボタンを押しながら行います。



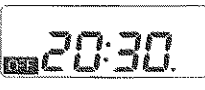
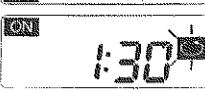
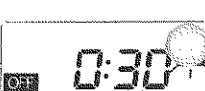
(1) ON時間の設定

- ①「インターバル」ボタンを押します。
(以後、押しながら)
- ②「時/分」ボタンでON時刻に合わせます。
- ③「セット」ボタンを押します。
●設定内容が記憶され、OFF時刻の設定画面になります。



(2) OFF時間の設定

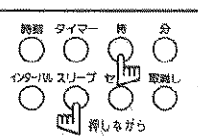
- ④「時/分」ボタンでOFF時刻に合わせます。
- ⑤「セット」ボタンを押します。
●設定内容が記憶され、ON時刻の設定画面になります。
- ⑥「インターバル」ボタンを離します。



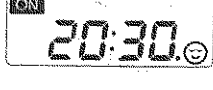
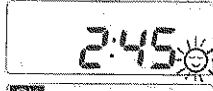
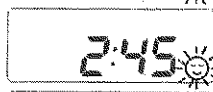
スリープの設定方法

(例) 2時間45分スリープ動作させる場合

※設定は、「スリープ」ボタンを押しながら行います。

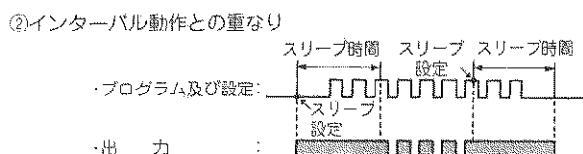
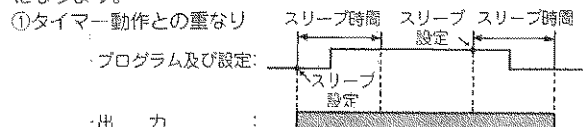


- ①「スリープ」ボタンを押します。
(以後、押しながら)
- ②「時/分」ボタンでスリープ時間に合わせます。
- ③「セット」ボタンを押します。
●設定内容が記憶されます。
- ④「スリープ」ボタンを離します。
●この時点から、スリープ動作を実行します。



【ご注意】

スリープ動作とその他の動作との重なりによる出力は下図のようになります。



各設定の確認・変更・取消し

1. 確認

- ①設定と同様に、該当するモードボタン(「タイマー」、「インターバル」、「スリープ」)を押すと設定内容が表示されます。
(以後、押しながら)
- ②タイマー及びインターバルの確認の場合は、「セット」ボタンを押すたびにON時刻(間)とOFF時刻(間)が交互に表示されます。
- ③確認が終わるとモードボタンを離します。

2. 変更

設定と同じです。各設定方法をご参照ください。

3. 取消し

- ①設定と同様に、該当するモードボタン(「タイマー」、「インターバル」、「スリープ」)を押すと設定内容が表示されます。(以後、押しながら)
- ②タイマー及びインターバルの取消しの場合は、「セット」ボタンでON時刻(間)とOFF時刻(間)の表示にします。
- ③「取消し」ボタンを押します。タイマー時刻を取消すと画面が「--:--」表示になります。インターバル及びスリープを取消すと画面が「0:00」表示になります。
- ④取消しが終わるとモードボタンを離します。
※タイマー設定のON時刻、OFF時刻の両方を取消すときは、必ずそれぞれの時刻を取消してください。
※インターバル設定の取消しは、ON時間、OFF時間のいずれか一方を取消すと「インターバル」ボタンを離した時点で、自動的に他方も取消されます。

【ご注意】

- (1)タイマー動作中にタイマー設定を変更すると、すぐに変更後の動作に切り替わります。また取消すと、すぐにタイマー動作が停止します。
- (2)インターバル動作中に現在時刻を移動した場合や、インターバル時間の変更をした場合は、インターバルの位相がずれることがありますので、ご注意ください。
- (3)インターバル動作中にインターバル設定を取消すると、動作を中止します。
- (4)スリープ動作中にスリープ設定を取消すると動作を中止します。

入-自動-切 スイ

通常「自動」の位置にしておくと、あらかじめ設定した内容に従って動作します。手動で操作したい場合はこの「入-自動-切」スイッチの操作により次のような動作をさせることができます。

1. パーマネント動作

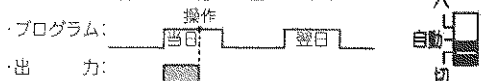
①パーマネントON動作: プログラムとは無関係に「ON」を保持します。

(スイッチの操作…「入」の位置にします。)



②パーマネントOFF動作: プログラムとは無関係に「OFF」を保持します。

(スイッチの操作…「切」の位置にします。)

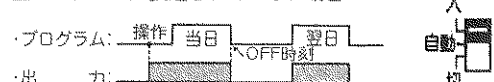


2. モーメンタリー動作

①モーメンタリーON動作: 次の「OFF時刻」まで「ON」を保持するが、またはインターバル動作を行います (インターバル設定時)。

(スイッチの操作…一旦「入」の位置にした後、「自動」の位置にします。)

■インターバル設定されていない場合



■インターバル設定されている場合



— 16 —

ッチの操作方法

②モーメンタリーOFF動作: 次の「ON時刻」まで「OFF」を保持します。

(スイッチの操作…一旦「切」の位置にした後、「自動」の位置にします。)

■インターバル設定されていない場合

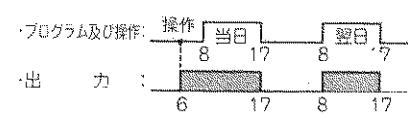


■インターバル設定されている場合



【使用例1】モーメンタリーON動作使用例

■本日だけ早朝から始業で、定刻より早く運転を開始する場合



【使用例2】モーメンタリーOFF動作使用例

■本日だけ午後から休業で、定刻より早く運転を終了する場合



— 17 —

動作上のご注意

1. タイマー設定で、ON時刻とOFF時刻を同一時刻に設定した場合は、OFF動作が優先されます。
2. タイマー設定で、現在時刻がON時刻とOFF時刻の間となる場合は、その当日からプログラム通り出力します。ただし、ON時刻のみ設定した場合は、すぐに出しません。

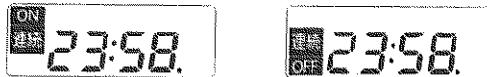
次のON時刻になったら出力します。インターバル動作またはスリープ動作が実行されると、「インターバル」表示または「スリープ」表示が点灯します。

(例) インターバル動作中 スリープ動作中

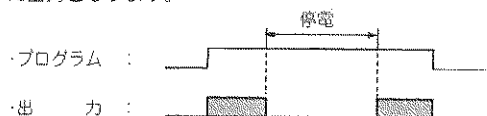


4. パーマネントON動作またはパーマネントOFF動作が実行されると、「連続」表示が点灯します。この時インターバルまたはスリープ動作中であつた場合は「インターバル」または「スリープ」表示は消灯します。

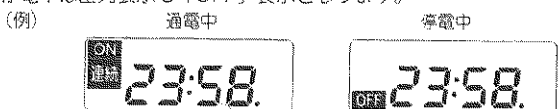
(例) パーマネントON動作中 パーマネントOFF動作中



5. 停電中は、出力「OFF」となります。復電後は、プログラムに従った出力となります。



停電中は出力表示も「OFF」表示となります。



— 18 —

使用例

1. タイマー動作 ①

午前8:30に「ON」、午後5:15に「OFF」させる場合

(設定)

タイマーON時刻	8:30	インターバルON時間	0:00
タイマーOFF時刻	17:15	インターバルOFF時間	0:00

(動作)



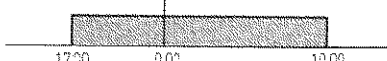
2. タイマー動作 ② (日渡り動作)

午後5:00に「ON」、翌日午前10:00に「OFF」させる場合

(設定)

タイマーON時刻	17:00	インターバルON時間	0:00
タイマーOFF時刻	10:00	インターバルOFF時間	0:00

(動作)



3. タイマー動作 ③ (単独動作)

午後7:30に「ON」した後、ずっと「ON」させておく場合

(設定)

タイマーON時刻	19:30	インターバルON時間	0:00
タイマーOFF時刻	---	インターバルOFF時間	0:00

(動作)



— 19 —

使用例

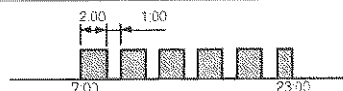
4. インターバル動作 ① (タイマー動作との組合せ)

午前7:00から午後11:00迄のあいだ2時間「ON」
1時間「OFF」の繰り返し動作をさせる場合

〔設定〕

タイマーON時刻	7:00	インターバルON時間	2:00
タイマーOFF時刻	23:00	インターバルOFF時間	1:00

〔動作〕



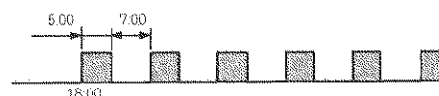
5. インターバル動作 ② (タイマー単独動作との組合せ)

午後6:00から5時間「ON」、7時間「OFF」の繰り返し動作をさせる場合

〔設定〕

タイマーON時刻	18:00	インターバルON時間	5:00
タイマーOFF時刻	---:--	インターバルOFF時間	7:00

〔動作〕



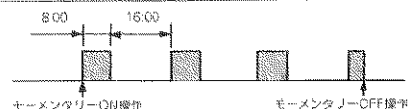
6. インターバル動作 ③ (モーメンタリー操作との組合せ)

8時間「ON」、16時間「OFF」の繰り返し動作を任意の時点から任意の時点までさせる場合

〔設定〕

タイマーON時刻	---:--	インターバルON時間	8:00
タイマーOFF時刻	---:--	インターバルOFF時間	16:00

〔動作〕



— 20 —

故障と思われる前に

修理をご依頼される前に次の点検をお願いします。

現象	考えられる原因と処置	参照
動作しない。 (通電表示不点灯)	電源が入っていません。 電源を入れてください。	P4 P29
設定後「ON」しない。 (出力表示不点灯)	タイマー設定で、ON時刻のみ設定した場合は、すぐに出力しません。 次のON時刻になったら出力します。	P18
設定どおり動作 しない。	時計がくるっている。 正しく調整してください。	P11
	時計を12時間制として設定している。 24時間制、(0~23時)に修正してください。	P11
	モーメンタリー操作をした。 再度モーメンタリー操作でご希望の状態にしてください。	P16
「入-自動-切」スイッチ を「入」にしても「ON」 しない。	電源が入っていません。 電源を入れてください。	P4 P29
インターバル動作 しない。	タイマー設定またはモーメンタリー動作で 起動をかけていない。 いずれかで起動してください。	P8 P13 P20
	タイマー設定で、ON時刻のみ設定した場合は、 すぐに出力しません。 次のON時刻になったら出力します。	P18
時計がくるう。	湿度の高いまたは低い場所に設置されている。 周囲温度は25℃前後にしてください。	P7
"00:00"でフリンク している。	「リセット」ボタンを押した。 1から設定しなおしてください。	P10
	停電が発生した場合は、内蔵電池の寿命です。 商品をお取り替えください。	P7 P29

— 21 —

補修部品

下記の部品につきましては個別にご購入いただけます。破損、紛失した場合には、お買い求めの販売店・工事店にご依頼ください。

部 品 名	品 番
前面カバー	TB70'03107
取付金具セット	TB31703687

— 22 —

施 工 編

施工上のご注意

- 次のような場所では使用しないでください。
誤動作・故障・漏電の原因になります。
 - -10℃以下、+50℃以上の場所
 - 屋外などの雨や日光の直接当たる場所
 - 結露が生じる場所
 - 亜硫酸ガスやアンモニア等の腐食性ガスのある場所
 - 湿気や粉塵の多い場所
 - 振動や衝撃の発生する場所
 - 高周波ノイズ・電界・磁界の強い場所
- 定格内の電源をご使用ください。
定格外の電源に接続すると誤作動・故障の原因になります。
- 電源端子と負荷端子を間違わないでください。
負荷回路が短絡し、故障の原因になります。
- 負荷容量が定格以上の場合、または三相負荷の場合は電磁接触器等をご使用ください。
- 施工後は結線が正しいことを十分ご確認いただいたうえで、主電源を入れ動作テストを行ってください。

— 23 —

出力構成

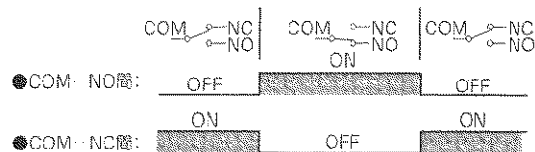
出力構成は単極双投 (COM-NC) の無電圧接点出力となっています。本文でいう「ON」、「OFF」は COM-NO 間の動作をあらわしています。

●「ON」: COM-NO 間が導通状態になる。(電圧は出ません)

●「OFF」: COM-NO 間が開放状態になる。

COM-NC 間の動作は COM-NO 間の動作の逆になります。

●接点状態:



負荷容量について

負荷容量は負荷の種類により異なります。これは白熱灯や電磁接触器等は接点が開閉する瞬間に大きな電流 (突入電流) が流れ、接点に負担をかけるからです。

「定格一覧」(P29) の値を必ずお守りください。

また、「定格一覧」にない負荷 (エアコン等) の場合はその負荷のメーカーに突入電流値を聞き 15A 以下であることを確かめてからご使用ください。

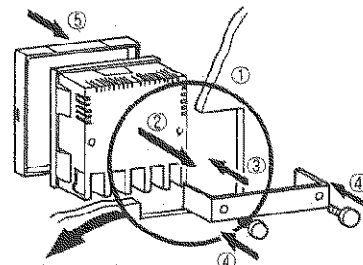
15A より大きい場合は電磁接触等をご利用ください。

(「結線例」(P26) ご参照)

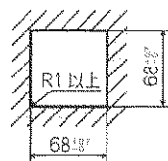
— 24 —

取付方法

- ①取付けの先のパネル枠をカットします。
- ②取付金具をはずし本体をパネル枠に差し込みます。
- ③取付金具をパネルの裏から本体にパネルをはさむようにあてがいます。
- ④取付ねじで取付金具を本体ががたつなくなるまで締め付けます。
- ⑤前面カバーを取り付けます。



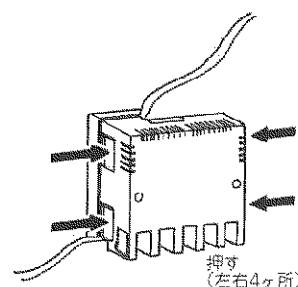
●パネルカット寸法 (単位: mm)



*厚さ0.8mm~5mmのパネルで取付け可能です。

〈本体の取りはずし方法〉

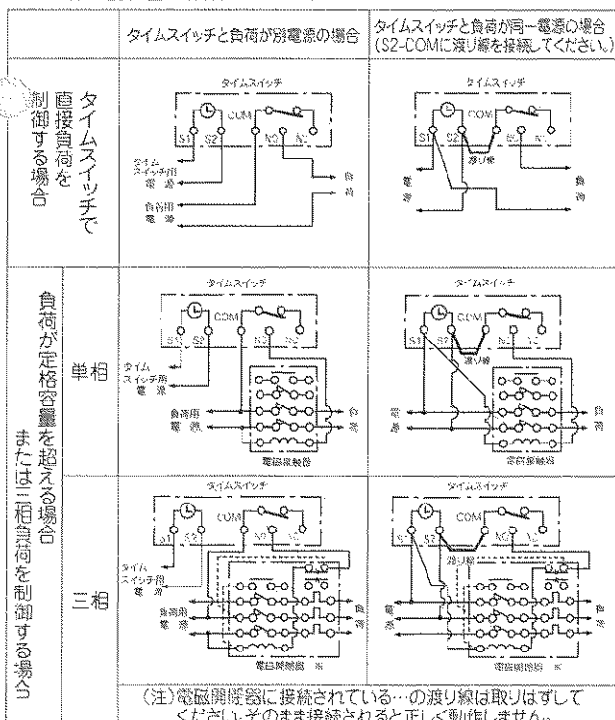
- ①取付ねじをはずし取付金具を取りはずします。
- ②パネルの裏側からタイムスイッチ本体の左右にある仮固定つまめ (4ヶ所) を両手で押さえながら本体パネルから押し出します。



— 25 —

結線例

実際に配線される前に、タイムスイッチで制御する機器を含めたシステム全体の配線図を作成してください。



*電磁開閉器とは電磁接触器にサーマルリレーが付いたもので、過電流を検知し回路を遮断します。

— 26 —

結線方法

(手順1)電線の用意

適合電線: 600Vビニル絶縁電線をご使用ください。

- 単線 $\phi 1.2 \sim \phi 1.6\text{mm}$
- より線 $1.25 \sim 2\text{mm}^2$

【ご注意】 1.不適正な電線の使用は火傷や火災の原因になります。
2.半田あげ線は絶対に使用しないでください。
半田やせによる不完全接触で火災の原因になります。

(手順2)電線の加工

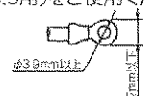
■単線を使用する場合

電線の皮むき長さは、 $11 \pm 1\text{mm}$ にしてください。



■より線を使用する場合

絶縁チューブ付き丸型圧着端子 (M3.5用) をご使用ください。

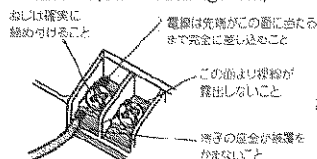


(手順3)端子への接続

下図の要領で接続してください。

●適正締め付けトルク

$0.8 \sim 1.2\text{N} \cdot \text{m}$ ($8.2 \sim 12.2\text{Kgf} \cdot \text{cm}$)



【ご注意】

1.圧着線を2本接続する場合は下図のように背中合わせにして接続してください。

2.ひとつの端子に3本以上電線を接続しないでください。
不完全接触による発熱・火災の原因となります。

(手順4)結線の確認

配線終了後、結線に誤りがないか十分ご確認ください。

【ご注意】 負荷回路を短絡させるとタイムスイッチの故障の原因となります。

— 27 —

故障と思われる前に

修理をご依頼される前に次の点検をお願いします。

現象	考えられる原因と処置	参照
電源を入れても動作しない。 (通電表示が点灯しない。)	電源に電圧が出ていない。S1-S2間の電圧をテスターでご確認ください。 接続端子間違い。S1、S2に接続してください。	— P26
設定後「ON」しない。 (出力表示が点灯しない。)	電源を入れていない。正しい電源を入れてください。 タイマー設定で、ON時刻のみ設定した場合は、すぐに出力しません。次のON時刻になったら出力します。	P26、29 P18
設定どおり動作しない。	時計を12時間制として設定している。 24時間制(0~23時)に修正してください。 時計がくっている。正しく調整してください。 負荷用の電源が接続されていない。結線例にしたがって負荷にも電源を接続してください。 モーメンタリー操作をした。再度モーメンタリー操作でご希望の状態にしてください。	P11 P11 P26 P16
「入-自動-切」スイッチを「入」にしても「ON」しない。	電源が接続されていない。 出力端子のCOM-NC間が接点溶着している。COM-NC間に定格を超える負荷を接続していませんが、修理後電磁接触器を併用してください。	P26 P24 P29
「入-自動-切」スイッチを「切」にしても「OFF」しない。	COM-NC間が接点溶着している。COM-NC間に定格を超える負荷を接続していませんが、修理後電磁接触器を併用してください。	P24 P29
インターバル動作しない。	タイマー設定またはモーメンタリー操作で起動をかけていない。いずれかで起動してください。 タイマー設定で、ON時刻のみ設定した場合は、すぐに出力しません。次のON時刻になったら出力します。	P8、13 P20 P18
時計がくろう。	湿度の高いまたは低い場所に設置されている。周囲温度は25℃前後にしてください。 ノイズが多い。ノイズに応じた対策が必要です。	P7 —
「00.00」でフリンクしている。	リセット ボタンを押した。1から設定しなおしてください。 故障が発生した場合は、内蔵電池の寿命です。商品をお取り替えください。	P10 P7 P29

— 28 —

定格一覧

品 番	TR2701
定格電圧	AC100-240V
定格周波数	50-60Hz
駆動方式	電子式 (コークス発振式)
繰り返し周期	24 時間
消費電力	AC100V 時 1W、AC200V 時 2W
通電表示方式	LED (緑) 表示
出力表示方式	液晶表示および LED (赤) 表示
回路構成	単相双投 (一-〇-二) 別回路 (無電圧接点出力)
手動 ON・OFF	入-自動-切スイッチ付
抵抗	15A AC250V
白熱灯	3A AC120V
モーター (COSφ≥0.7)	AC100V 400W、200V 750W
電磁接触器	250VA (投入後電磁石容量合計値)
最小適用負荷	10mA DC5V (抵抗負荷)
最小単位	1 分
最小解凍	1 分
インターバル時間	1 分~99 時間 59 分 (ON 時間および OFF 時間)
スリープ時間	1 分~99 時間 59 分
タイマー動作	2 動作 (ON 時刻: 1 回、OFF 時刻: 1 回)
インターバル動作	1 セット (ON・OFF の各繰り返し時間を 1 組)
スリープ動作	1 セット
時計精度	±15 秒 / 月 (25℃にて)
動作精度	時計精度に追従
停電補償時間	10 年間 (電池の交換は不要です)
使用電圧範囲	AC85~264V
使用周囲温度・湿度	-10℃~+50℃、85%RH 以下 (結露なきこと)
質量	180 g
付属品	前面カバー、取付金具セット、渡り線 1 本

※水銀灯および蛍光灯負荷の接続灯数の目安は次のとおりです。

H: 高力率 L: 低力率

種 別	水 銀 灯										蛍 光 灯									
ワット数	40W	100W	200W	250W	300W	10W	20W	30W	40W	60W	110W	40W	100W	200W	250W	300W	40W	60W	110W	150W
力 率	H	L	H	L	H	L	H	L	H	L	H	H	L	H	L	H	H	L	H	L
100V 時	5	2	2	1	1	0	0	0	0	0	13	13	10	8	5	4	5	3	3	2
200V 時	6	5	3	3	2	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	8	6	4	4

— 29 —

＝メモ＝

＝メモ＝

— 30 —

— 31 —

音声案内システム

設備概要説明

配置図

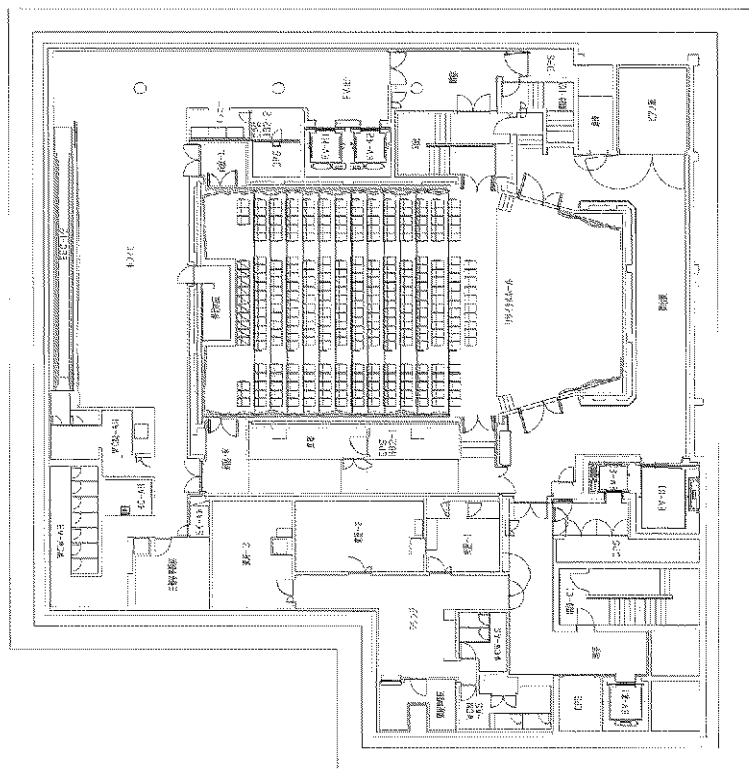
設備概要説明

このシステムは、主に視覚障害者やお年寄りのための
多機能トイレ内の情報案内システムです。

多機能トイレブース内の便座付近の壁面に、音声装置を設置しています。

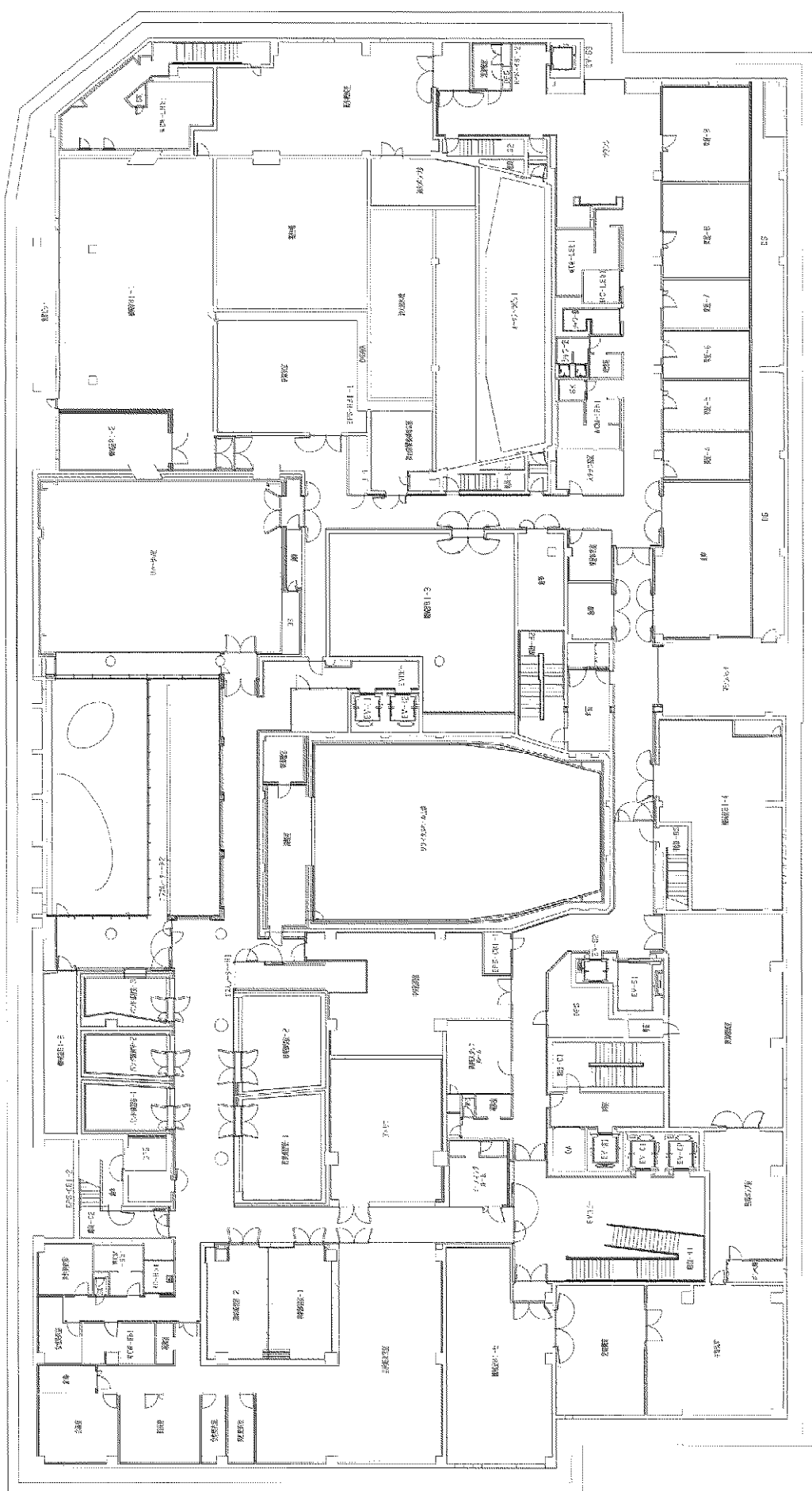
利用者が音声装置のセンサエリアに入ると音声で情報が案内されます。

また、音声装置の押しボタンを押すことで、より具体的な音声で情報が案内されます。



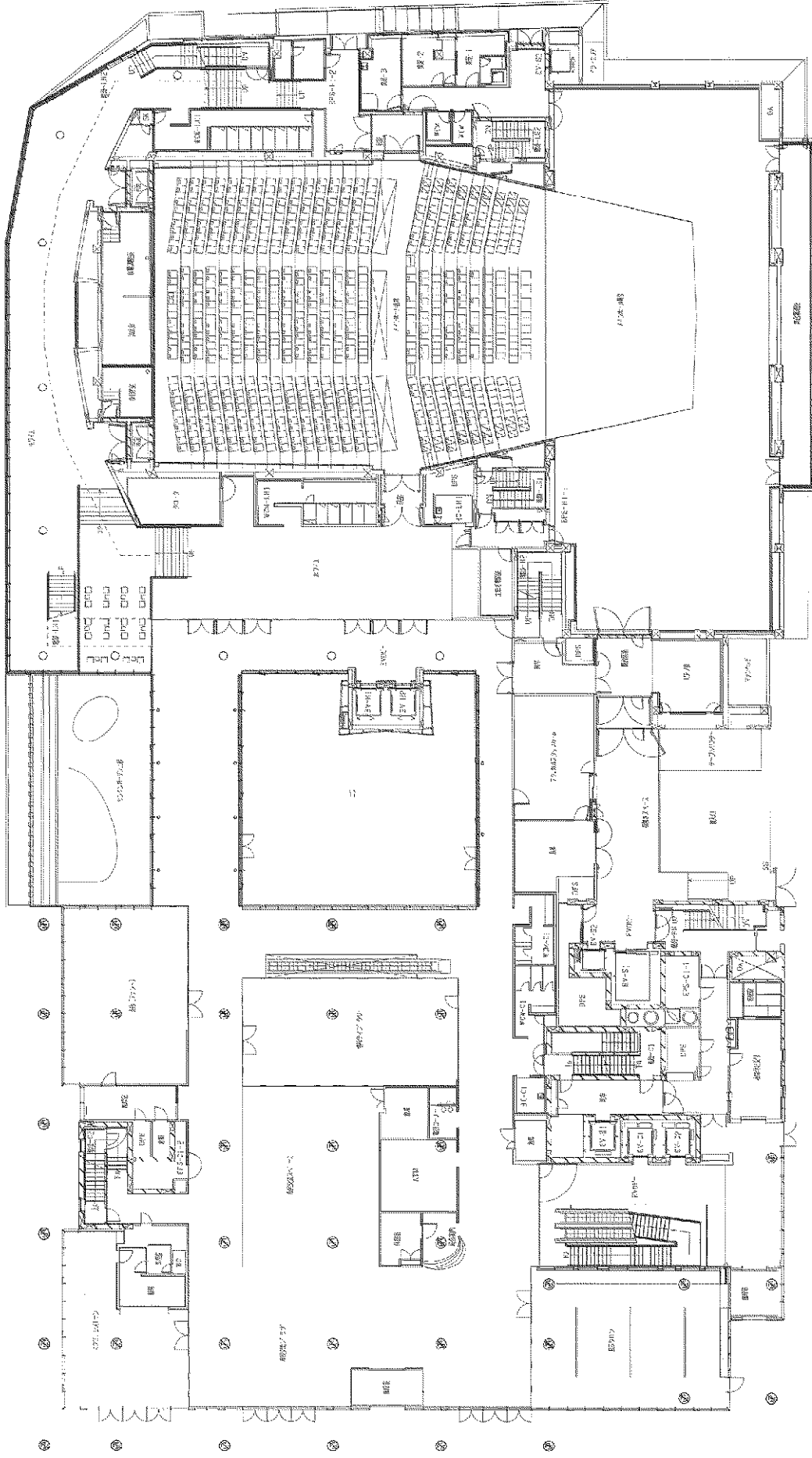
B2F

図名	図番	図説
配置図	101	配置図



区画	名称	用途
1	図書室-1	図書室
2	事務室-1	事務室
3	倉庫-1	倉庫
4	図書室-2	図書室
5	事務室-2	事務室
6	倉庫-2	倉庫
7	図書室-3	図書室
8	事務室-3	事務室
9	倉庫-3	倉庫
10	図書室-4	図書室
11	事務室-4	事務室
12	倉庫-4	倉庫
13	図書室-5	図書室
14	事務室-5	事務室
15	倉庫-5	倉庫
16	図書室-6	図書室
17	事務室-6	事務室
18	倉庫-6	倉庫
19	図書室-7	図書室
20	事務室-7	事務室
21	倉庫-7	倉庫
22	図書室-8	図書室
23	事務室-8	事務室
24	倉庫-8	倉庫
25	図書室-9	図書室
26	事務室-9	事務室
27	倉庫-9	倉庫
28	図書室-10	図書室
29	事務室-10	事務室
30	倉庫-10	倉庫

B1F

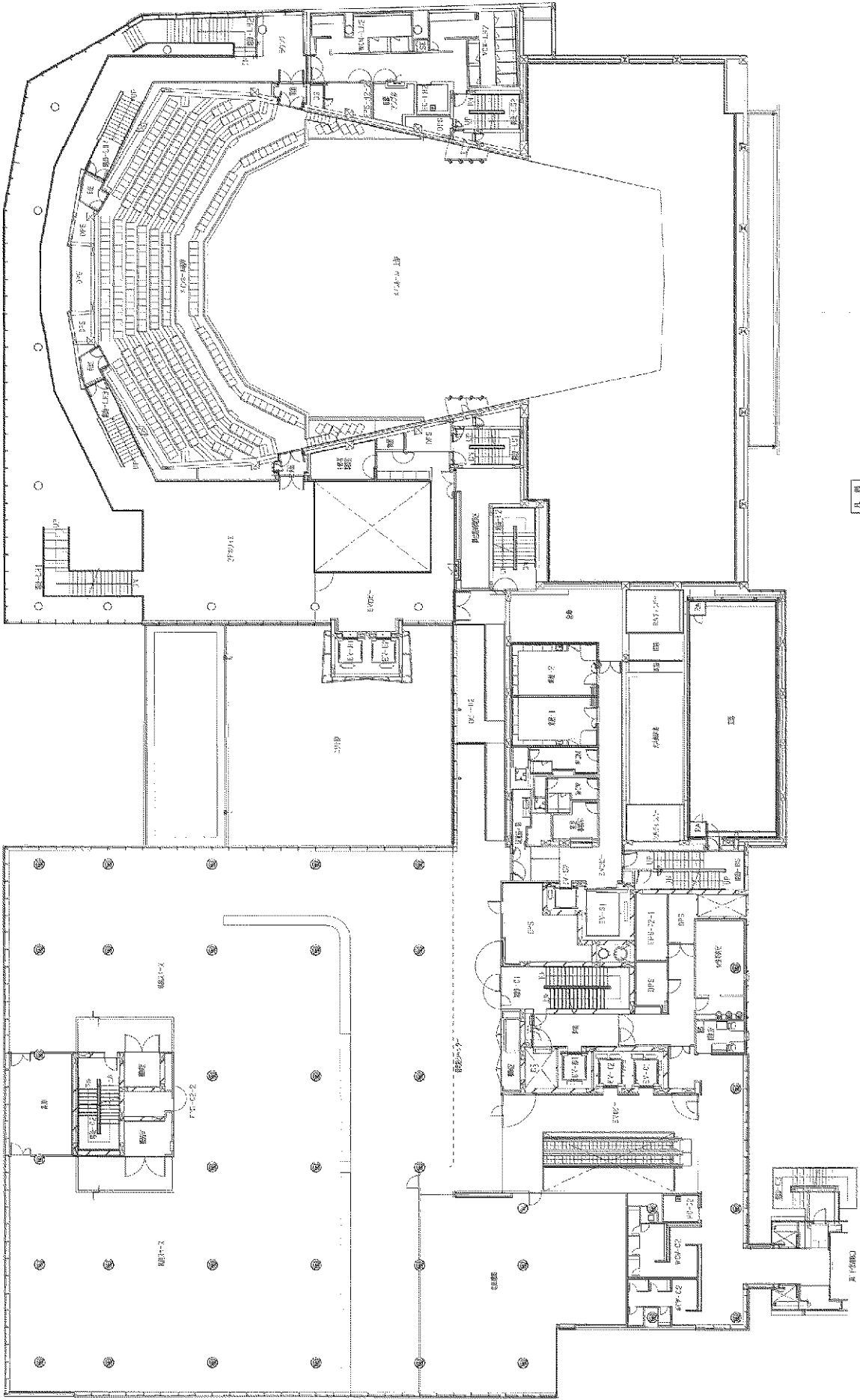


1F	1F	1F	1F
配膳	配膳	配膳	配膳
1F	1F	1F	1F
1F	1F	1F	1F

1 F

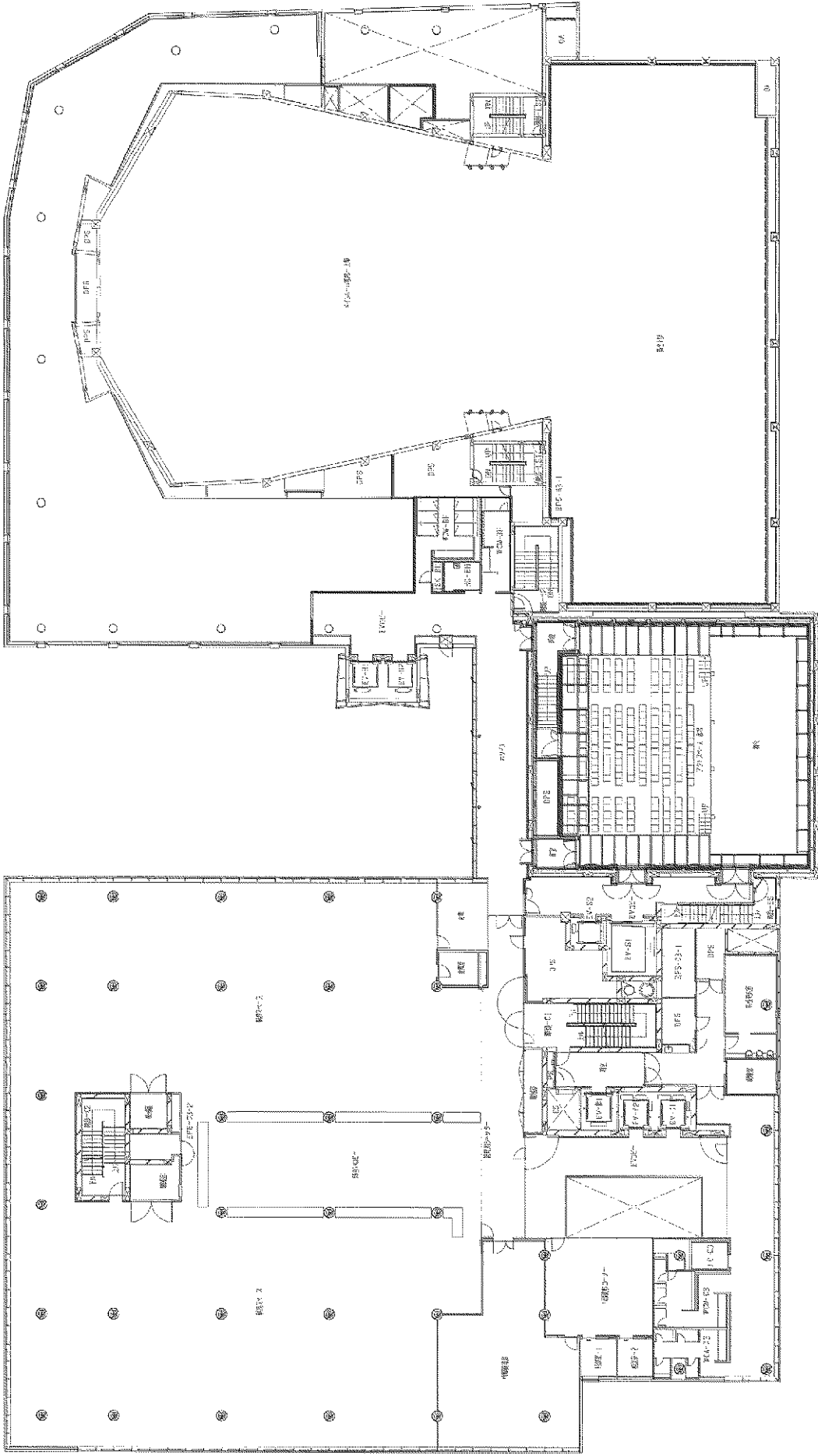
凡 例	記 号	名 称
	①	倉庫用搬送車内装庫

2F



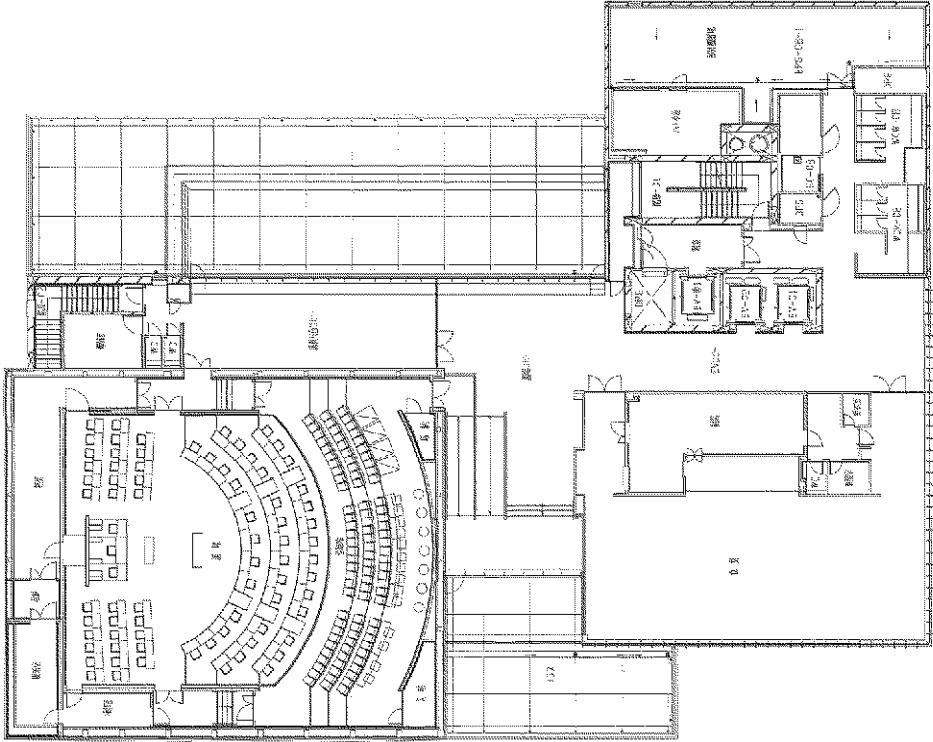
品名	数量	単位
事務用家具一式		

3F



図名	図号	名	作
配置図	8F	8F	8F

8F



聴覚障害者緊急情報装置

設備概要説明

配置図

機器取扱説明書

設備概要説明

このシステムは、自火報設備の防災システムより発信する警報情報に加えて、「光」による火災発生情報を表示する事により、目視により異常の発生が確認できるものです。

サイレン音の代わりとしてキセノンランプの断続発光を利用した「光」の情報により、聴覚に障害をもった方でも安全に避難をする際の補助ができるものです。

主装置は、各最寄りの天井点検口の天井内に設置されています。
操作や調整することはありません。

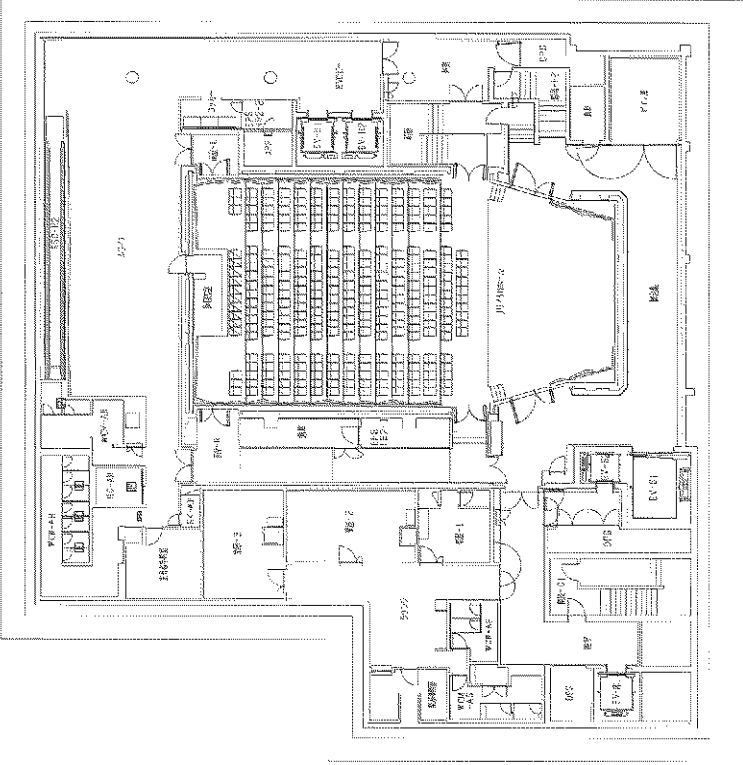
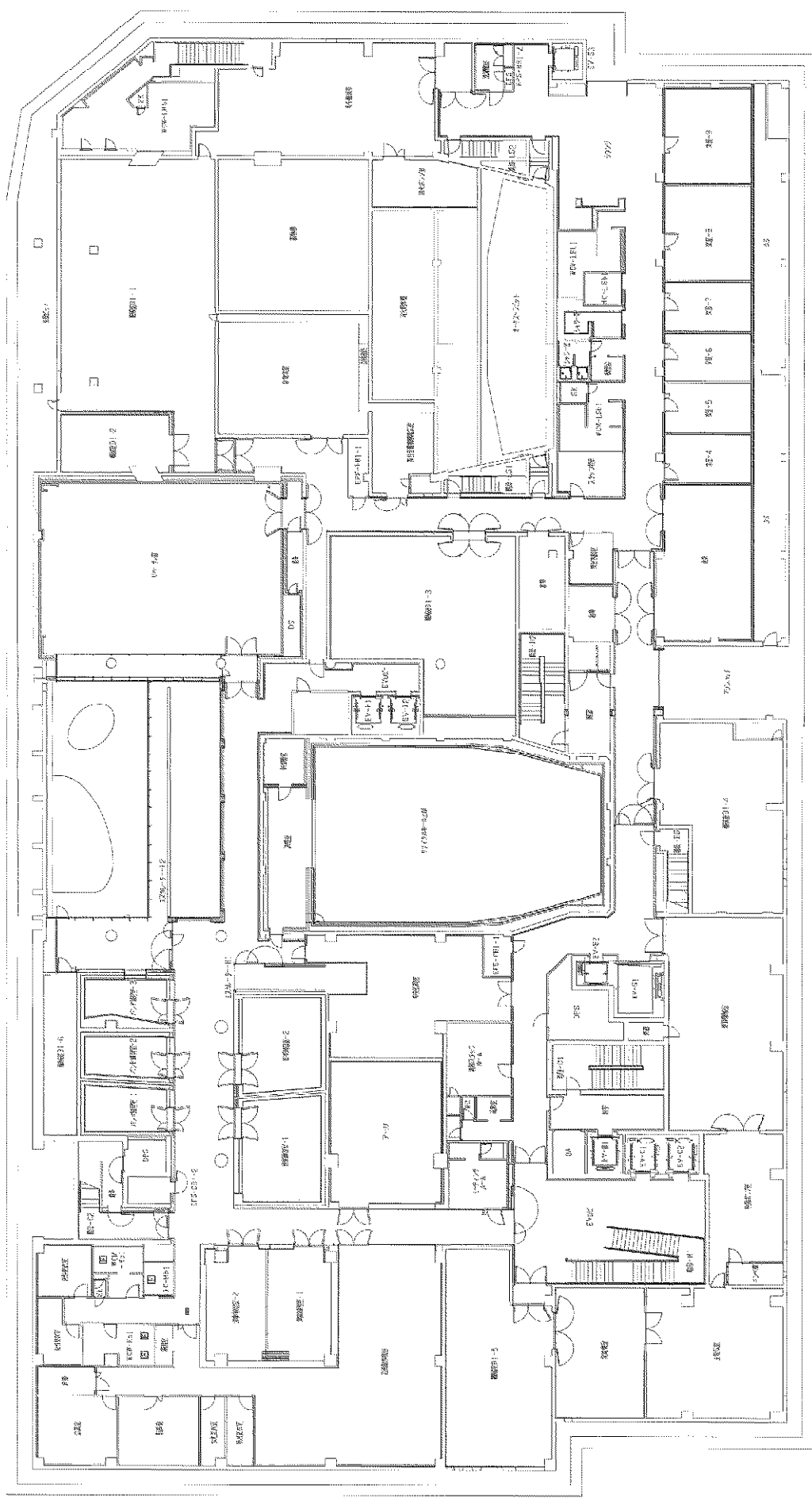


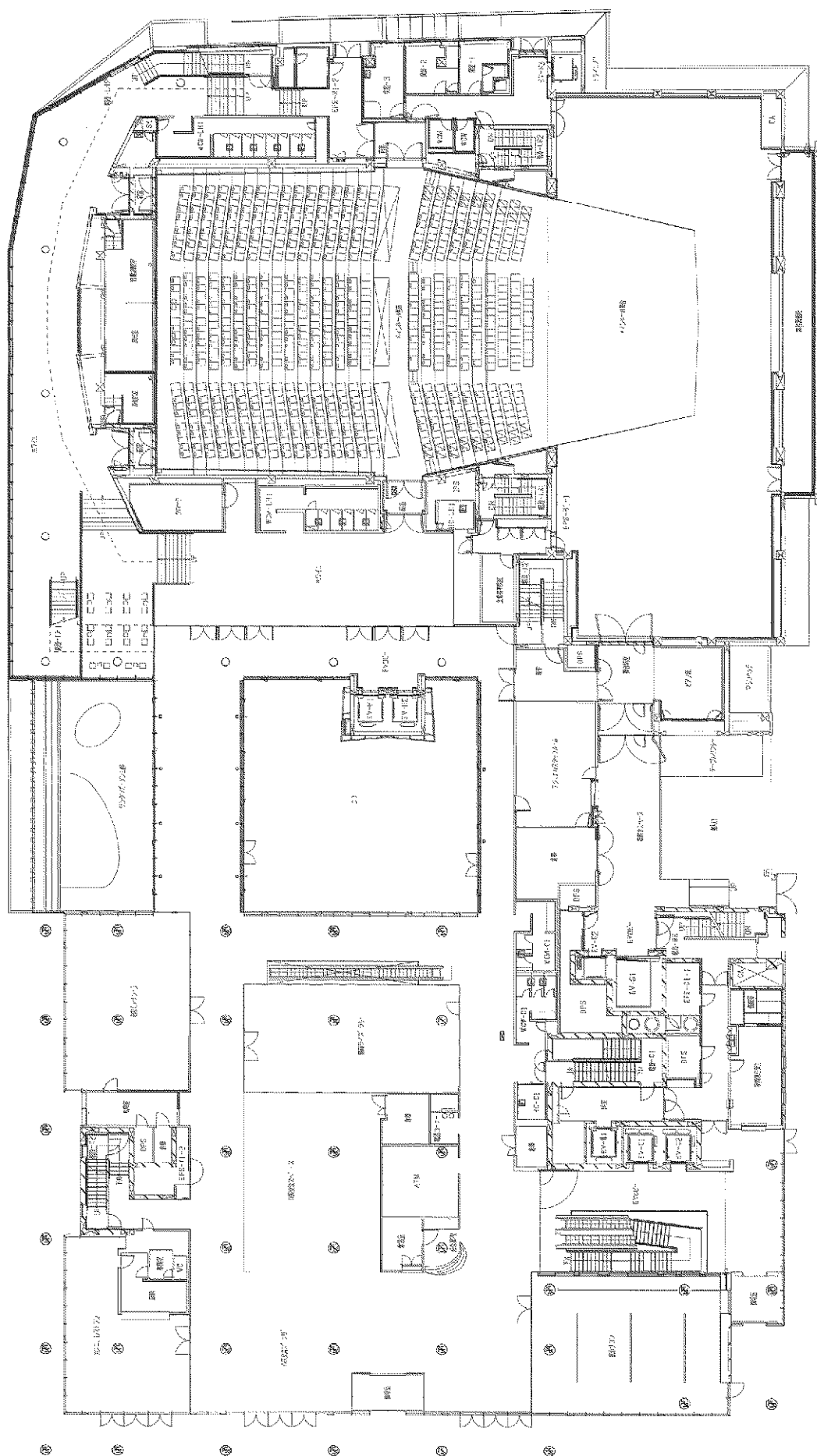
図 号	図 名
B2F	第2階配置図
B2F	第2階配置図

B2F

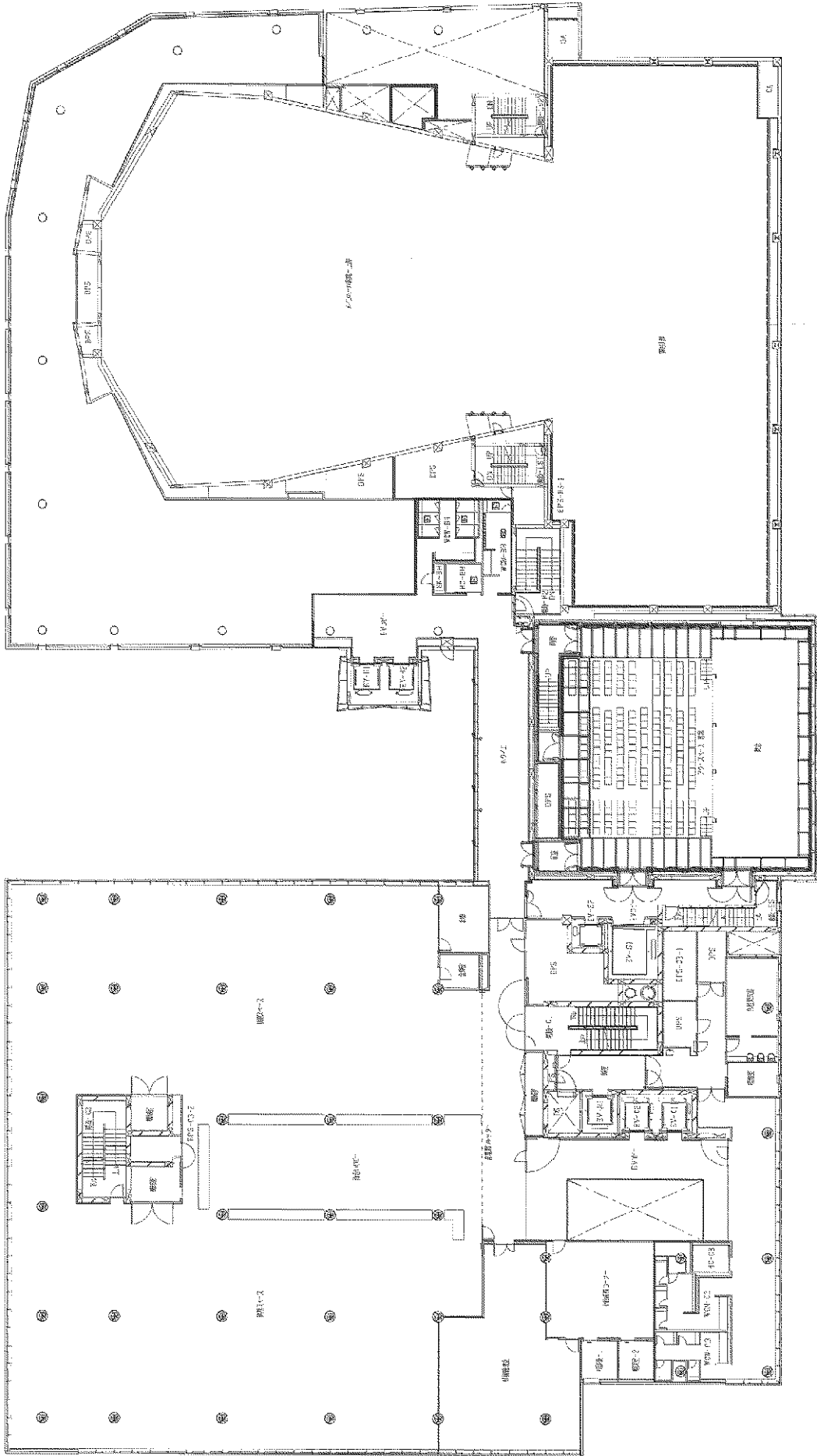


尺 寸	名 称
配 号	配 号
配 号	配 号
配 号	配 号

B1F

[illegible]

1



図例	名称	番号
■	外気吸排設備	
□	ファシリティ	

3F

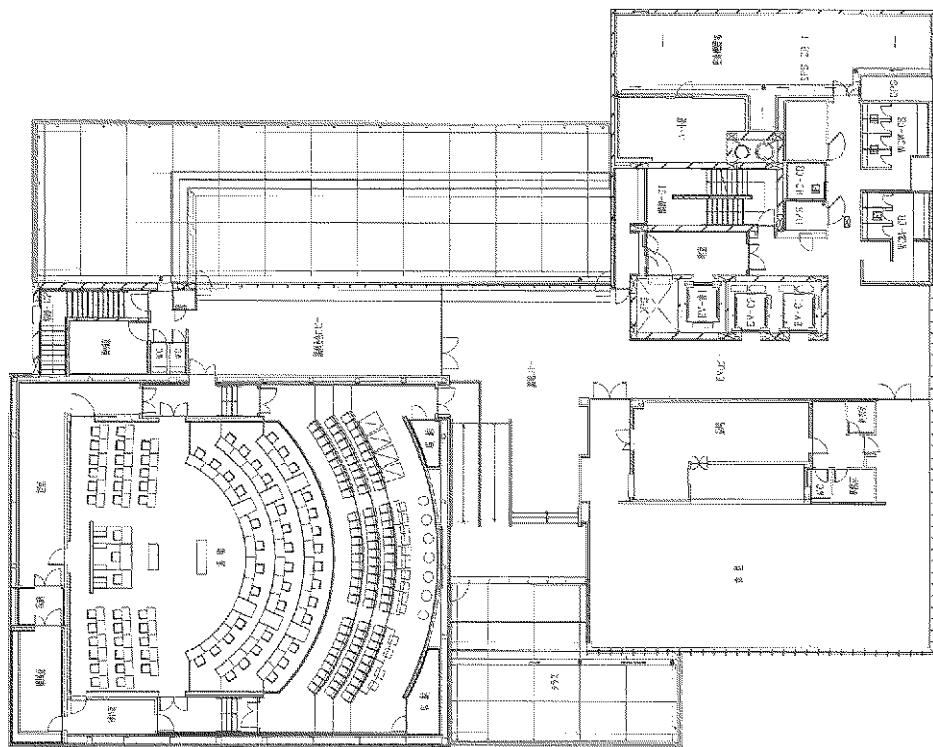


図	階	名	事
8F	8F	第8階配線図	
図	8F	第8階配線図	

8 F

取扱説明書

件 名 長・市第一庁舎及び長・市民会館建設
聴覚障害者緊急情報装置

2015年11月

株式会社エクシオテック

東京都大田区平和島4-1-23
東京総合エンジニアリングセンタ2階
TEL 03 (6404) 2772

聴覚障害者緊急情報装置について

品 名

聴覚障害者緊急情報装置

概 要

本設備は、自火報設備等の防災システムより発信する警報情報に加えて、「光」による火災発生情報を表示することにより、目視により異常の発生が確認できるものである。サイレン音の代わりとして、キセノンランプの断続発光を利用した「光」の情報により、聴覚に障害をもった方でも安全に避難をする際の補助ができるものです。

システムの機器構成について

本システム(設備)にて使用される機器は以下の種類となります。

1. リレーボックス

火報信号を受けると、フラッシュライトに対して信号を出力します。

2. フラッシュライト

リレーボックスより信号を受けるとフラッシュライトが断続的に発光します。

機器仕様について

機器仕様

1. リレーボックス

リレーボックス	
制御内容	火災信号を受け、各フラッシュライトに信号を送出する。
入力電源	AC100V
出力	DC24V
材質	鋼板製

2. フラッシュライト

フラッシュライト	
使用光源	LEDによる断続発光
閃光部色	白色
閃光回数	約100回/分点滅
電源電圧	DC24V(有極性)
材質	発光部カバー:赤色ポリカーボネイト

お問い合わせ先について

お問い合わせ先

販売元 株式会社エクシオテック ソリューション事業本部 営業部

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23

TEL 03-6404-2610

FAX 03-6404-3209

製造元 株式会社エクシオテック ソリューション事業本部 システム部 第二システム担当

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23

TEL 03-6404-2772

FAX 03-6404-3209

トイレ呼出設備

設備概要説明

配置図

機器取扱説明書

設備概要説明

配置図の多目的トイレ位置にトイレ呼出設備が設置されています。

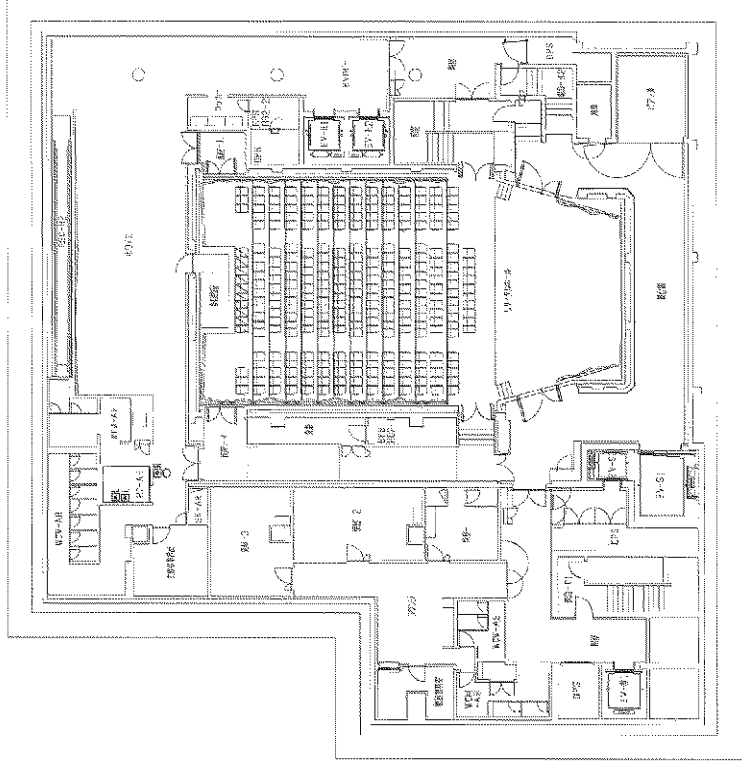
緊急時に押しボタンを押すと、地下1階中央監視室総合盤内の表示器に呼出音と
箇所表示ランプにて表示されます。

箇所表示ランプに表示された場所の入口通路側に設置された表示ランプが点灯されます。
その下部の復旧ボタンを押し呼出解除を行います。

表示器表示窓の中に、「受付案内」と表記されているものがあります。

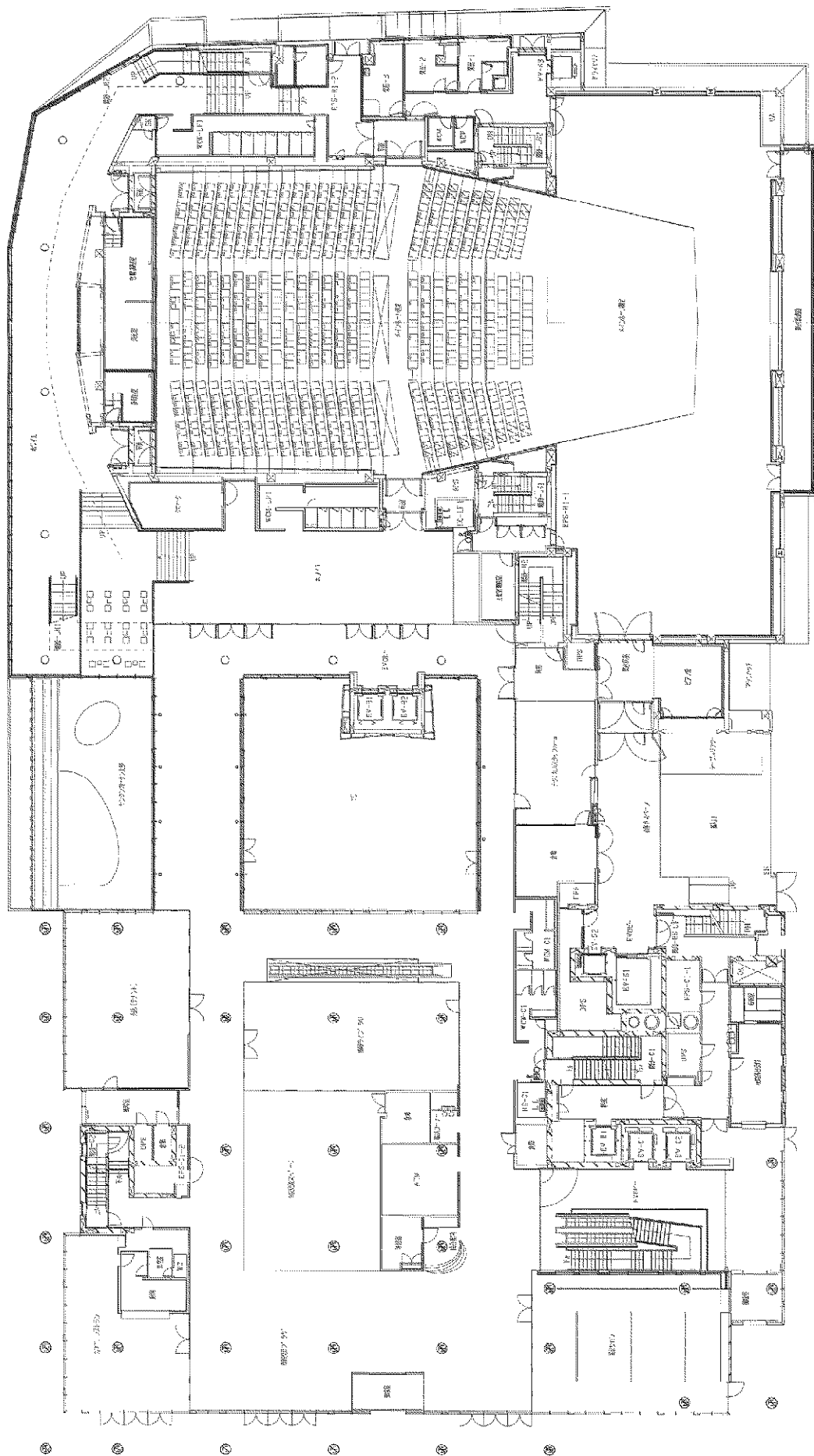
受付案内からの緊急呼び出し表示です。

現地にはランプや復旧ボタンはありませんので、表示器にて復旧操作をしてください。



FB2

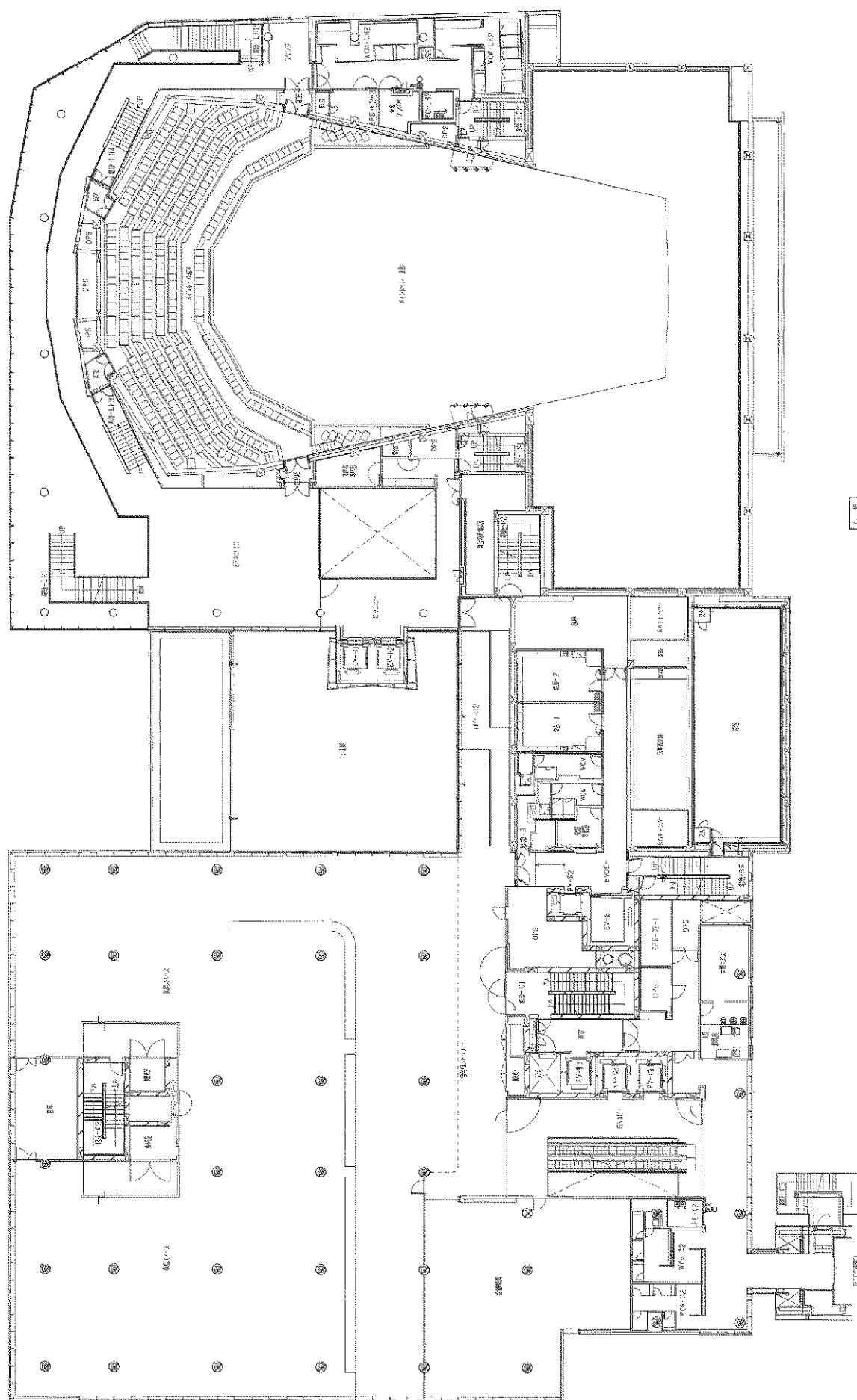
[illegible]



記号	名称	備考
□	トイレ等附設設備 (トイレ)	必要設備
■	エレベーター等 (エレベーター)	必要設備
○	エレベーター等 (エレベーター)	必要設備

1 F

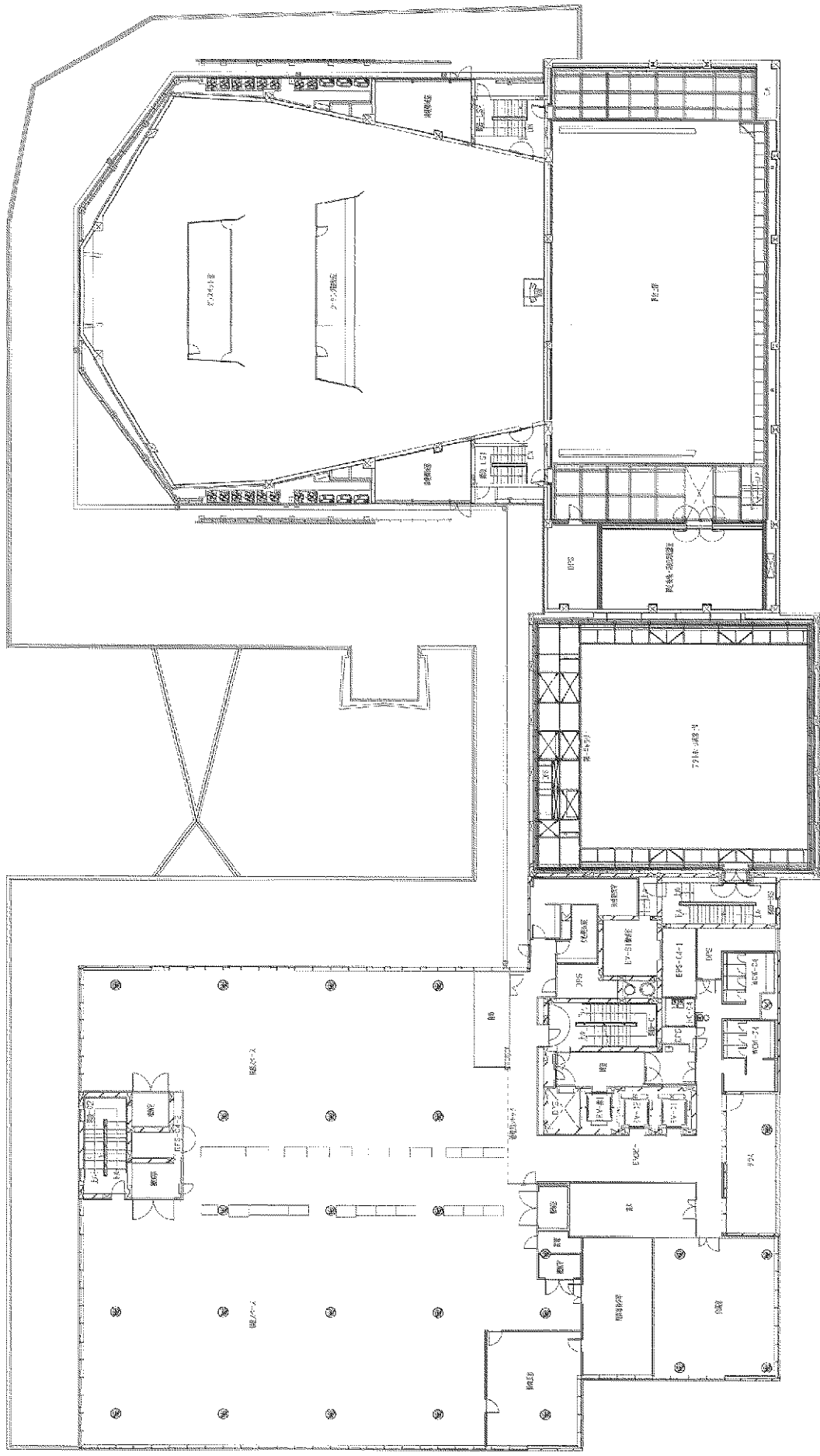
配置図



2 F

人	物	名	番	番	番
1	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
2	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
3	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
4	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
5	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
6	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
7	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
8	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
9	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			
10	号	トイロ事務所出張員 (トイロ)			

配置図



凡例	記号	名称	備考
□	トノリ	常設展示室 (常設)	記号参照
□	特別展示室	特別展示室 (特別)	
□	特別展示室	特別展示室 (特別)	
○	特別展示室	特別展示室 (特別)	

4F

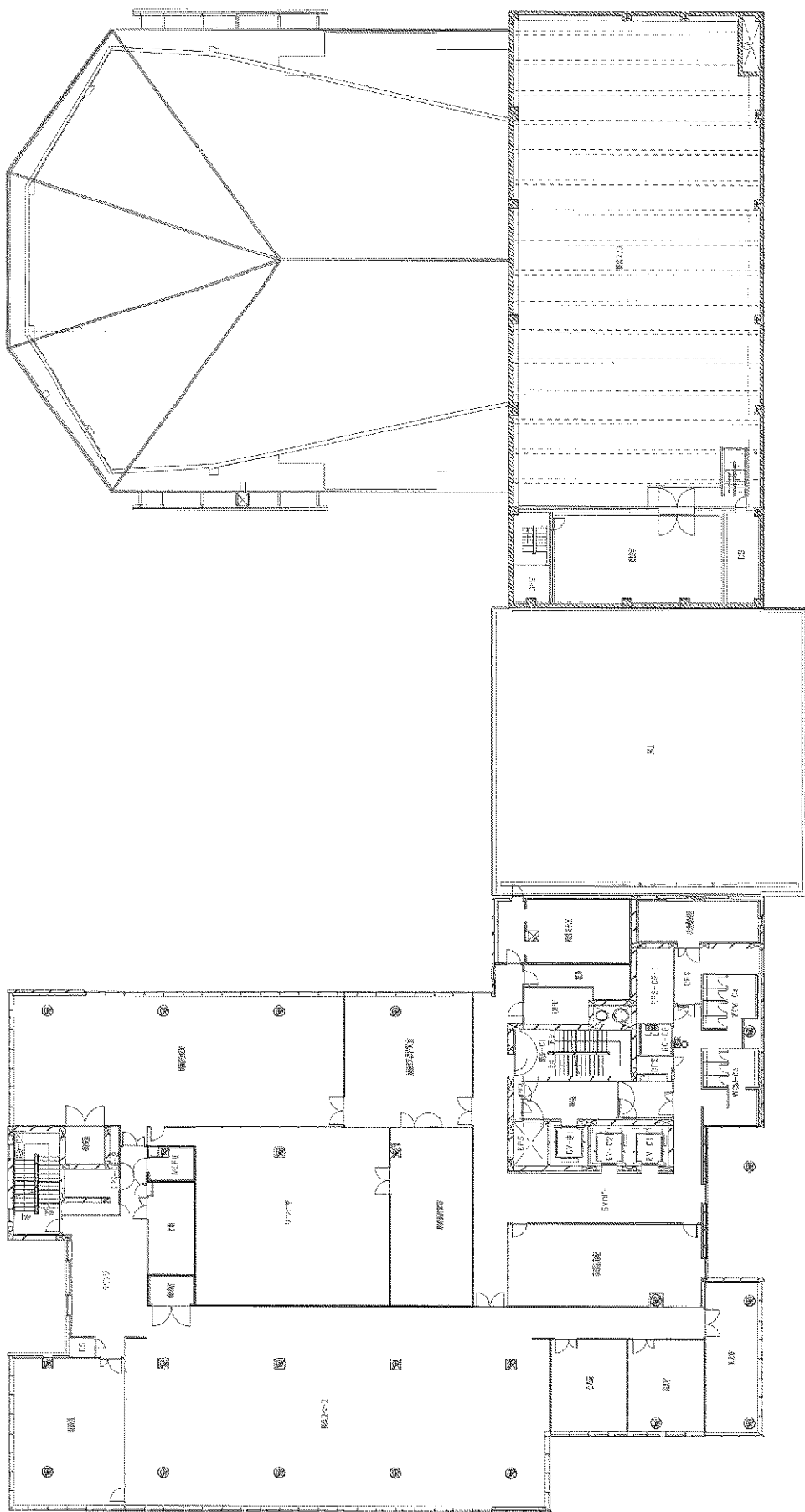
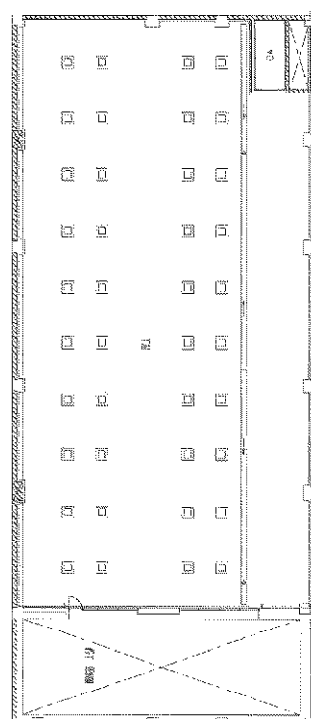
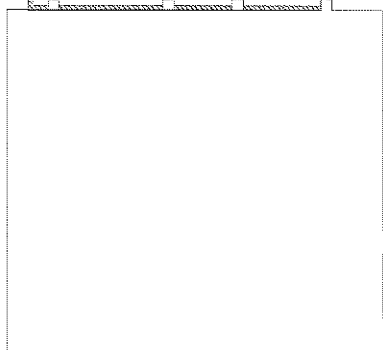
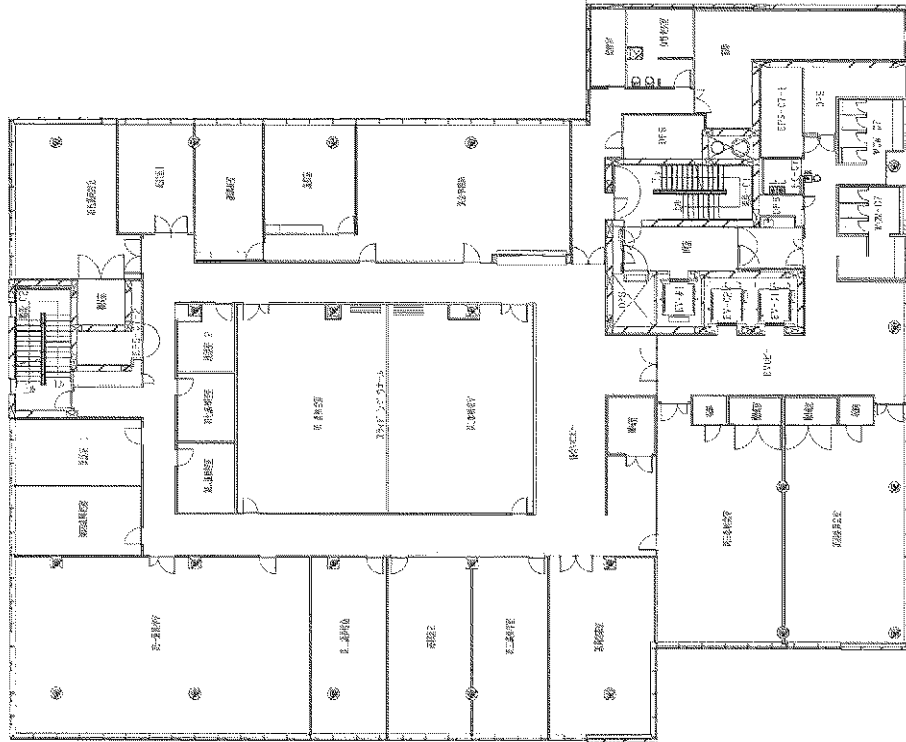


図	名	備考
1	エレベーター	エレベーター
2	エレベーター	エレベーター
3	エレベーター	エレベーター
4	エレベーター	エレベーター
5	エレベーター	エレベーター
6	エレベーター	エレベーター
7	エレベーター	エレベーター
8	エレベーター	エレベーター
9	エレベーター	エレベーター
10	エレベーター	エレベーター

6F



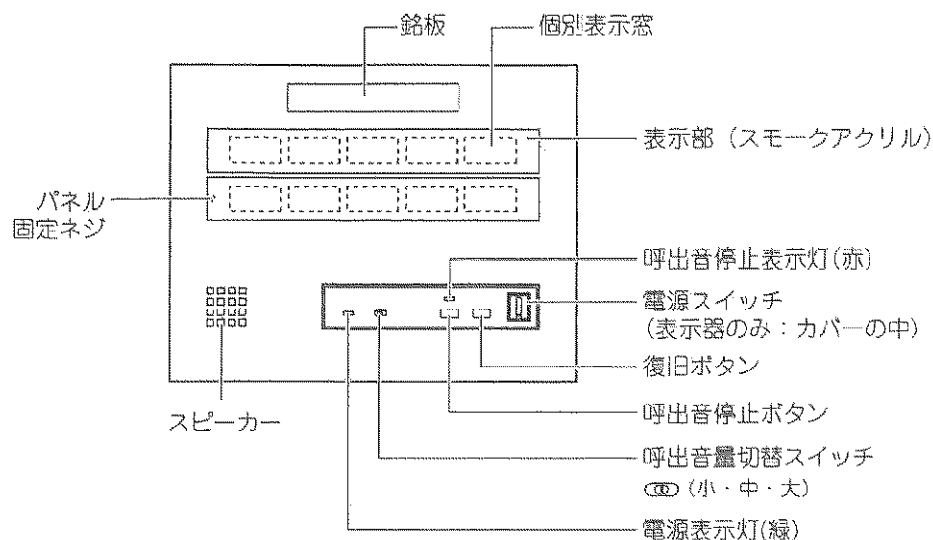
八 階

図 号	名 称	備 考
001	トールホール (会議室 12 室)	若手研修室
002	トールホール (会議室 12 室)	若手研修室 (会議室 12 室)
003	トールホール (会議室 12 室)	若手研修室 (会議室 12 室)
004	トールホール (会議室 12 室)	若手研修室 (会議室 12 室)

7 F

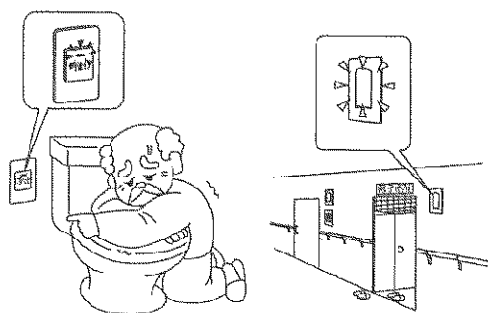
配置図

各部の名称

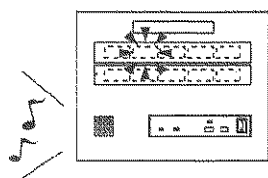


ご使用方法

トイレ押ボタンを押すと。

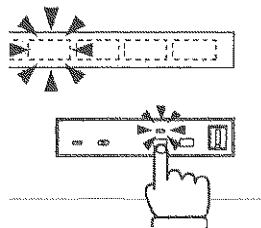


- 1** 呼出音が鳴り、呼び出しを知らせます。



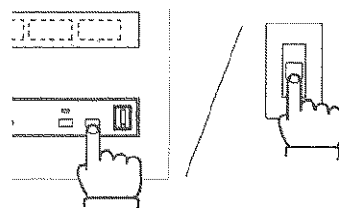
◆ 個別表示窓が点灯

- 2** 呼出音停止ボタンを押すと呼出音が停止します。



◆ 呼出音停止表示灯が点灯

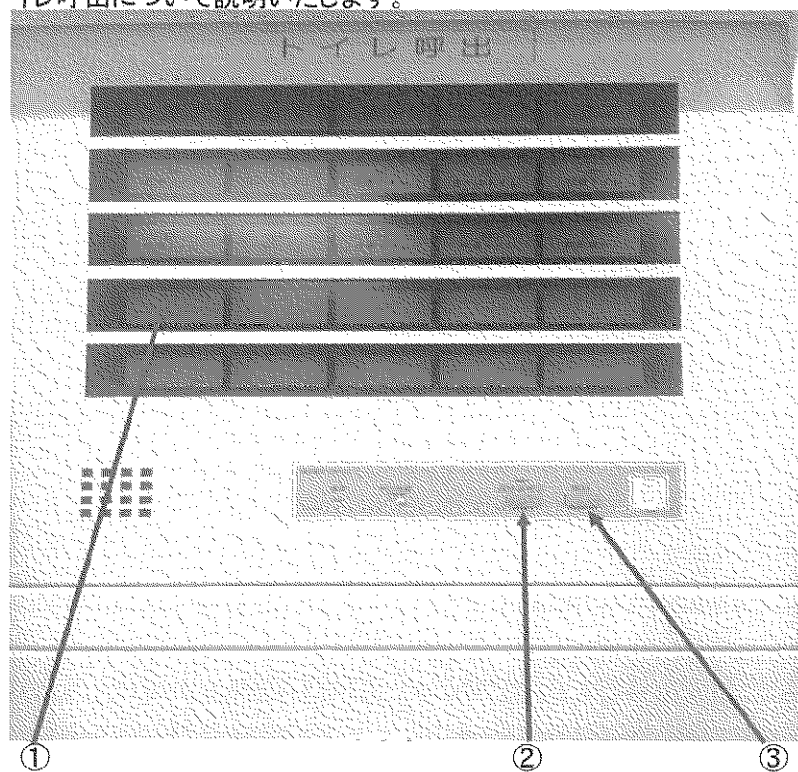
- 3** 表示器の復旧ボタンを押します。(または廊下に設置された復旧ボタンを押します。)



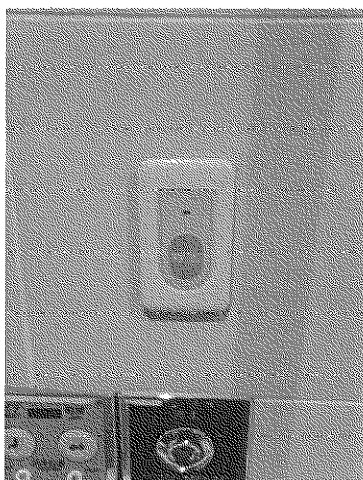
◆ 電源表示灯を除くすべての表示灯が消灯

長野第一庁舎 トイレ呼出設備取扱説明書

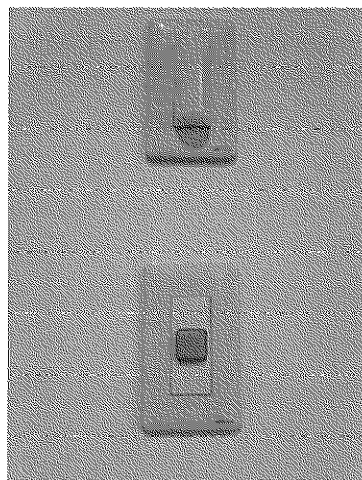
・トイレ呼出について説明いたします。



- ・各多目的トイレに設置されているトイレ呼出ボタンが押されると、事務室防災盤に設置されているトイレ呼出親機(写真)が作動し、メロディーと①の各多目的トイレ箇所点灯ランプにより異常をお知らせします。
- ・確認後は③の復旧ボタン押すことによりメロディーが止まりランプが消灯します。
- ・②のボタンはメロディーのみ停止することが出来ます。
- ・各多目的トイレの外に設置されています廊下灯の下に付いています復旧ボタンでも、同様に復旧することが出来ます。



トイレ呼出ボタン



復旧ボタンと廊下灯

インターホン設備

設備概要説明

配置図

機器取扱説明書

設備概要説明

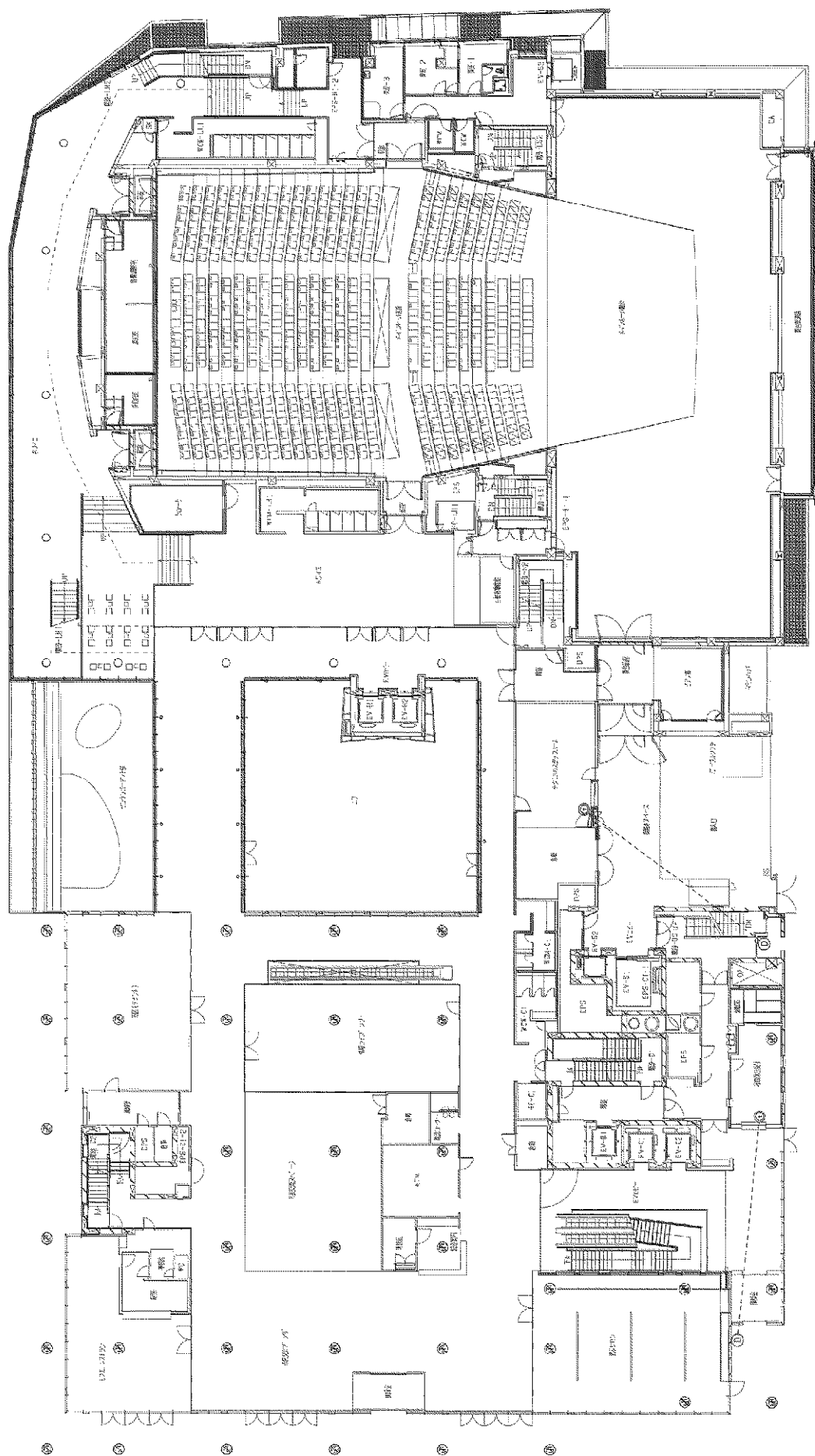
配置図の位置にインターホンが設置されています。

1階部分は同時通話可能なカメラ付インターホンです。

議場についている議会事務局との連絡用インターフォンは、呼出音をカットしています。

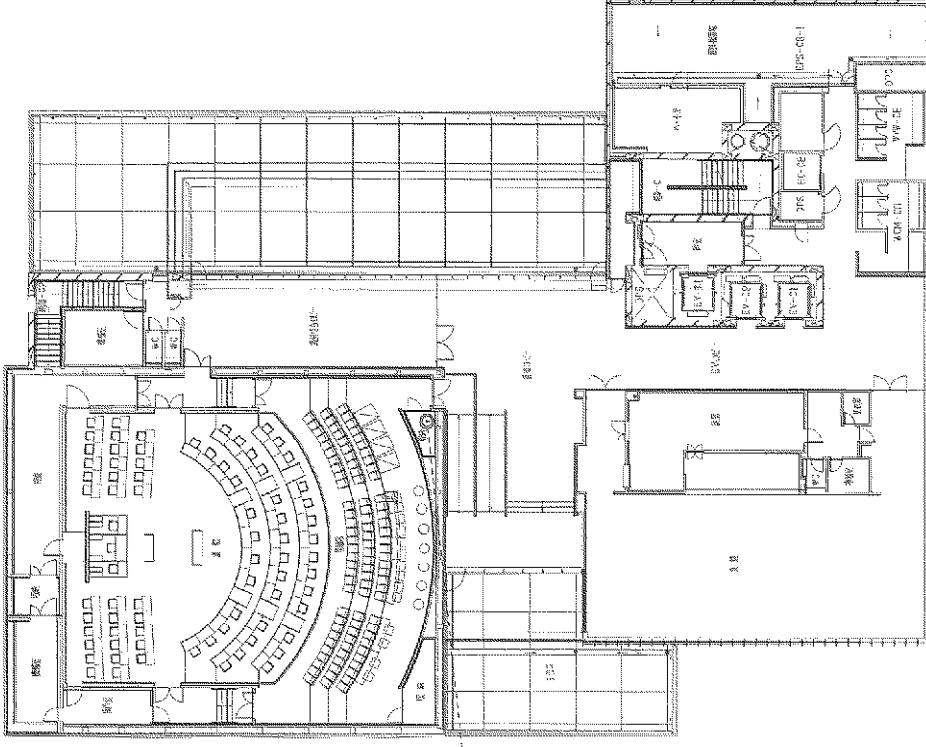
呼出音の代わりに、記者席机に設置されたフラッシュランプの点滅にて呼出表示されます。

その他、詳細説明は機器の取扱説明書を参照してください。

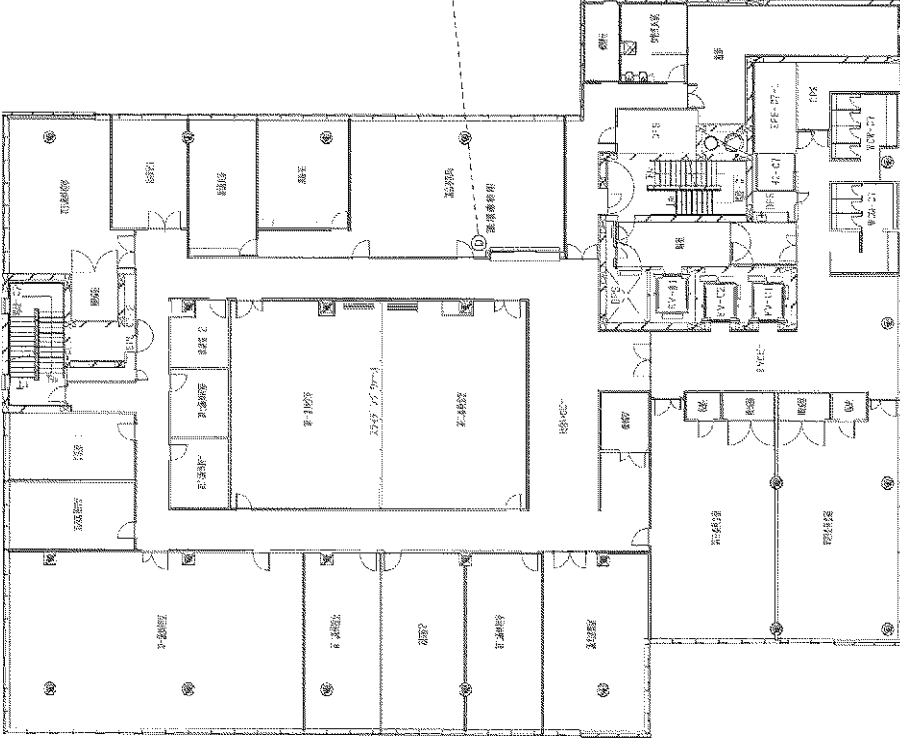


図例	記号	名称
①	①	インターホン 廊下
②	②	インターホン 事務
③	③	インターホン 事務
④	④	インターホン 事務
⑤	⑤	インターホン 事務

1F



8F



7F

記号	名称	備考
①	インターネット	無線
②	インターネット	有線
③	フラッシュライト	

御取扱説明書

件名：長野市第一庁舎及び長野市民会館建設弱电設備工事

使用機器明細は次のとおりです。

登録番号 5600004930

	品番	品名・仕様	数 量	単 位	備考
1		■トイレ呼出設備			
2	CBN-25E	2 5 窓用呼出表示器・EIAラック組込形		1 台	
3	NBR-7WA	呼出ボタン		29 台	
4	NBR-2A-C	復旧ボタン		14 台	
5	CBR-4	呼出表示灯		14 台	
6		■インターホン設備			
7	KB-CAR	カメラ付外部受付玄関子機		2 台	
8	KB-3MRL-T	外部受付モニター付親機		2 台	
9	AT-416	インターホンセット		1 台	
10	ATW-R	リレーボックス		1 台	
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

〒 380 - 0911
長野市稲葉1865-1

アイホン(株) 北関東支店
長野営業所

Tel : 026-221-7061

Fax : 026-221-7083

担 当

川
野

取付・取扱説明書

安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取付・取扱説明書をお読みください。
そのあと、必要に応じていつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

工事店様へ…… この取付・取扱説明書は、必ずお客様に渡してください。

安全上のご注意

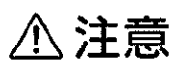
この取付・取扱説明書および製品の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。その内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表記内容を見逃して誤った取扱いをしたときに危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



注意(警告・注意を含む)を促す内容を告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

使用上の注意事項



警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



呼出テスト、呼出音量の確認は必ず受話器を本体にかけた状態で行ってください。受話器を耳にあてたままフックスイッチを操作すると、不意の呼出などで耳を痛める恐れがあります。



分解・改造

機器を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となります。



機器に液体(水、ジュース、薬品など)が入ったり、ぬらさないようにしてください。火災、感電の原因となります。



開口部から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり落したりしないでください。火災、感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり重いものをのせないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



電源プラグは根元まで差し込んでください。差し込みが不十分だと、火災、感電の原因となります。



電源プラグの部分にほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。



使用中、電源のある機器はある程度、暖かくなります。しかし、異常に熱くなったり異臭などの不具合がみられたら、直ちに電源スイッチを切り電源プラグを抜いてお買い求め先まで連絡してください。そのままご使用になりますと火災の原因となります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



振動、衝撃の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

お願い

- 玄関子機は防雨仕様になっていますが、直接打ち水を当てないでください。故障の原因になります。
- OA機器、ラジオ、テレビは当製品から1 m以上離して使用してください。
- OA機器、テレビ、ラジオなどの近くで使用しますと電波に影響をおよぼしたり雑音が入ったりしますので使用場所に注意してください。

お知らせ

- 放送局などのアンテナに近接する地域では、放送が混入する場合があります。

取り付け上の注意事項

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



指定の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



指定された線材を用いて配線してください。指定外の線材で工事されますと火災の原因となります。



機器の開梱や持ち運びは、十分注意し、特に持ち運びには必ず落下・転倒防止の処置を施してください。けがの原因となります。



施工・取付には電気通信工事担任者、電気工事士の資格が必要です。なお、消防法で義務づけられた建築物に設備する場合は消防法甲種第四類の資格が必要です。無資格者の方の配線工事は火災、感電の原因となります。



転倒または落下防止の処置を行ってください。地震等で転倒または落下の原因となります。(壁面に設置する場合、壁面の厚み、材質に注意してください。)

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源を入れた状態で配線、取付、結線をしてください。感電、故障の原因となることがあります。



電源アダプターは当社製品および当社指定商品をご使用ください。当社および当社指定以外の電源を使用した場合、火災、故障の原因となることがあります。



アース端子の表示のある機器については必ずD種接地工事を行ってください。火災、誤動作の原因となることがあります。



次の場所での設置および使用は避けてください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光の当たる場所、暖房機器、ボイラーなどの近くで温度が上昇するところ
- ・ 鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素(温泉地)などのかかるおそれのあるところ
- ・ 浴室、地下室、温室などの湿度の高いところ
- ・ 冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低いところ
- ・ 熱器具や調理台のそばなど直接湯気や油煙のあたるところ
- ・ 調光器、インバータの電気製品などノイズの発生するところ

お願い

- 配線ケーブル・弱電線は強電線(AC100V、200V)とは30cm以上離して配線してください。ノイズや誤動作の発生の原因になることがあります。

アイホン

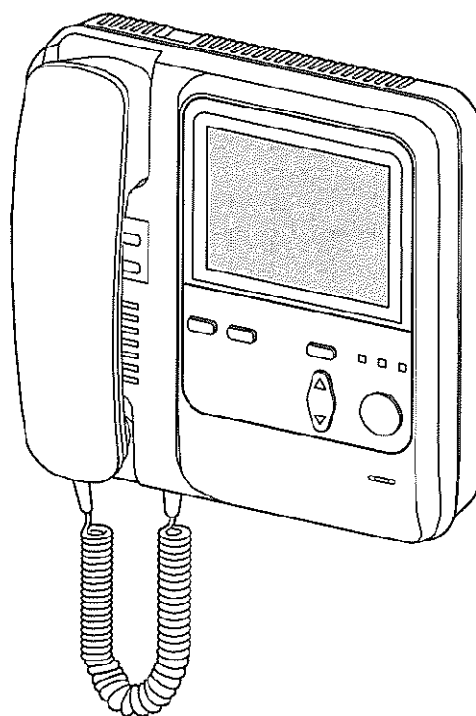
カラーテレビドアホン

取扱説明書

品番

KB-3MRL-T (カラーモニター付親機)

KB-3HRL-T (カラーモニター付増設親機)



安全に正しくお使いいただくため、必ず本書をお読みください。
そのあと、必要に応じていつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	3
各部の名称とはたらき	4
ご使用方法	
・ 玄関子機通話	6
玄関子機から呼ばれる	
・ 回転灯	7
回転灯などを動かす（オプション）	
・ 内線通話① 個別・一斉呼出	8
ほかの親機を呼ぶ	
ほかの親機から呼ばれる	
・ 内線通話② 割込・転送	9
内線中に玄関子機から呼ばれる	
玄関子機との通話を転送する	
・ 玄関モニター	10
玄関の様子をみる	
お手入れ／故障かな？／仕様	11
アフターサービス	12

安全上のご注意



注意(警告・注意を含む)を促す
内容を告げるものです。



禁止の行為であることを告げ
るものです。



行為を強制したり指示する
内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が
想定される内容を示しています。



機器内部には高電圧がかかっている部分があり
ます。本体をあけないでください。感電の
原因となります。



機器に液体(水、ジュース、薬品など)が
入ったり、ぬらさないようにしてください。
火災、感電の原因となります。



分解・改造

機器を分解・改造しないでください。
火災、感電の原因となります。



開口部から内部に金属類を差し込んだり落
したりしないでください。火災、感電の
原因となります。



仕様に表記された電源電圧以外の電圧で使
用しないでください。火災、感電の原因とな
ります。



本体を取りはずさないでください。感電の
原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される
内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



本体の上に物を置いたり、布で覆わないでく
ださい。火災、故障の原因となることがあり
ます。



次の場所での設置および使用は避けてくだ
さい。火災、感電、故障の原因となることが
あります。



呼出テスト、チャイム音量の確認は必ず受話
器を本体にかけた状態で行ってください。耳
を痛める恐れがあります。

- ・直射日光の当たる場所、暖房機器、ボイ
ラーなどの近くで温度が上昇するところ
- ・鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素(温
泉地)などのかかるおそれのあるところ
- ・浴室、地下室、温室などの湿度の高いところ
- ・冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度
が低いところ
- ・熱器具や調理台のそばなど直接湯気や油煙
のあたるところ
- ・調光器、インバータの電気製品などノイ
ズの発生するところ

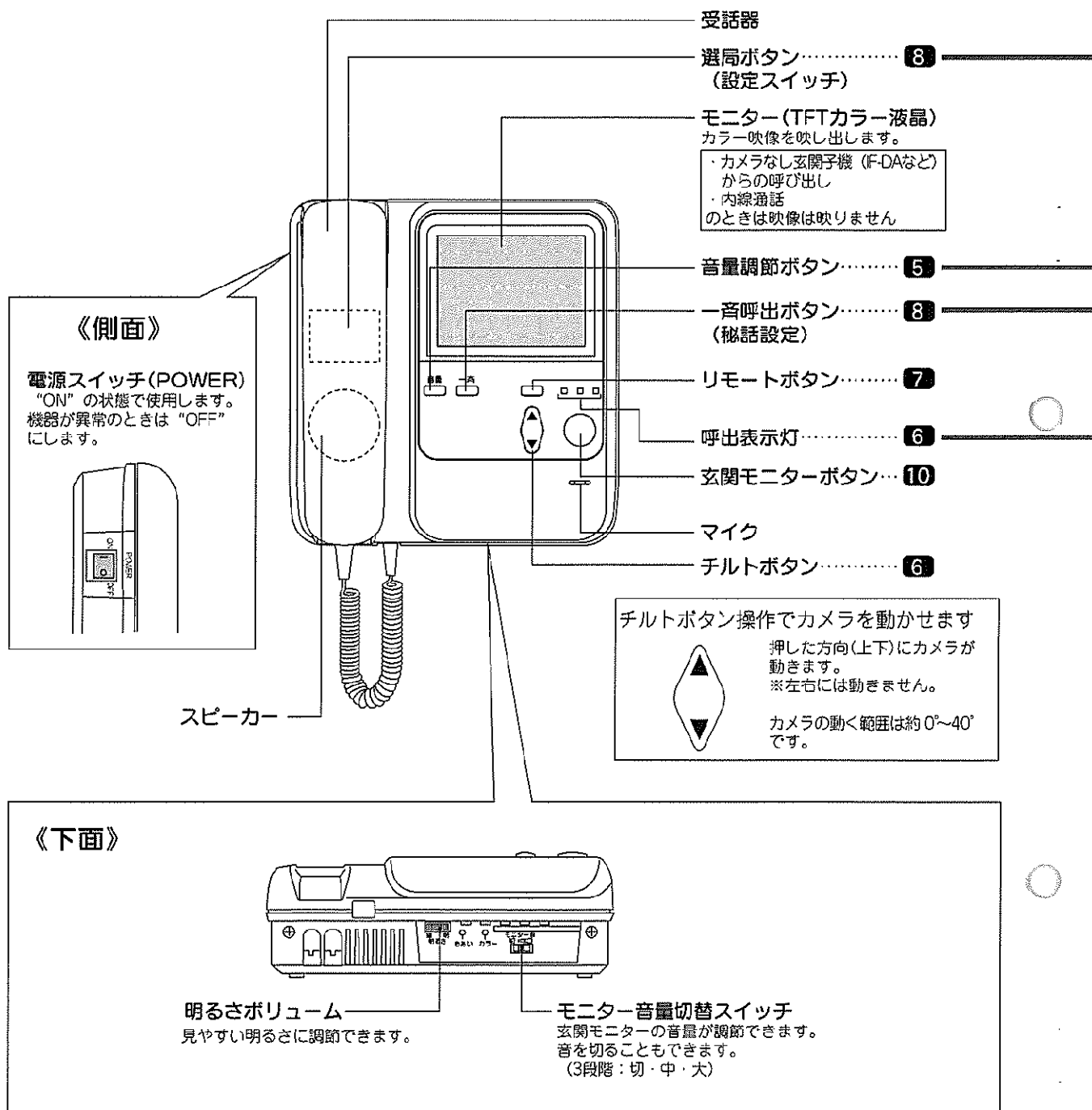
お願い

- 機器に故障や異常が生じた場合は、電源スイッチをOFFにしてください。
- OA機器、テレビ、ラジオなどの近くで使用しますと電波に影響をおよぼしたり雑音が入ったりしますので使用場所に注意してください。

お知らせ

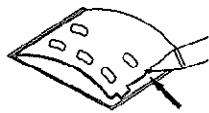
- 屋内専用です。屋外では使用できません。
- 壁掛け使用時、上面が黒くすすける場合がありますが、故障ではありません。
- 放送局などのアンテナに近接する地域では、放送が混入する場合があります。
- 本体および受話器が多少温かくなりますが、異常ではありません。
- 携帯電話機を近接する場所で使用すると、誤動作の原因になることがあります。
- カメラ付玄関子機に直射日光などの強い光が入ると、逆光状態となり、来訪者の顔が見えにくくなる場合がありますが、異常ではありません。
- 玄関灯・門灯などが蛍光灯のときは画面がちらついたり色が変わることがありますが、故障ではありません。
- 外の温度が急激に下がった場合(降雨後など)、カメラ内部との温度差によりくもりが発生し、映像がぼやけることがあります。温度差がなくなると元にもどります。
- モニター付増設親機の電源スイッチを“ON”にしても、モニター付親機の電源スイッチが“OFF”の場合は動作しません。
- 夜間は被写体の光量が少なくなるため、画面ノイズが増え顔が見えにくくなりますが、故障ではありません。
- TFT液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、一部に画素欠けや常時点灯するものもありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- リモート操作中、モニターに白い線が入ることがありますが、故障ではありません。

各部の名称とはたらき

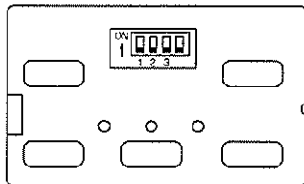


玄関子機呼出規制および照明の設定のしかた

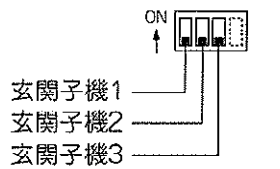
記名プレートのはずし方



ボールペンの先などを切り込み部に入れてはずします。



呼出規制スイッチ



スイッチを“ON”（上側）にすると該当の玄関子機からのチャイム音が鳴らなくなります。
※各親機ごとに設定できます。

照明入切スイッチ



“ON”（上側）にすると、自動でカメラ付玄関子機の白色LED照明が点灯します。（*）
※モニター付増設親機（KB-3HRL-T）では設定できません。

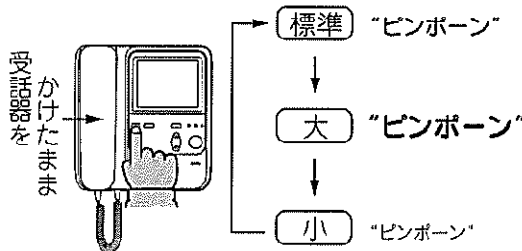
自動点灯（*）：
カメラ付玄関子機のまわりが暗い（夜間など）状態で呼び出しをかけたときのみ点灯します。明るい（昼間など）ときは点灯しません。



音量調節のしかた

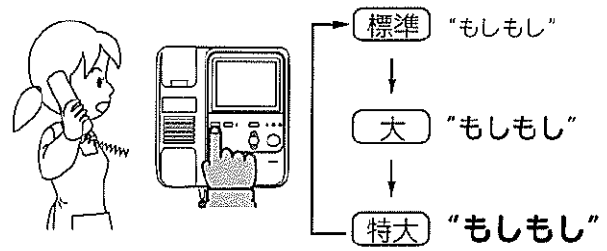
○呼出音量の調節

音量調節ボタンを押します。



○受話音量の調節

玄関子機やほかの親機と通話中に、音量調節ボタンを押します。



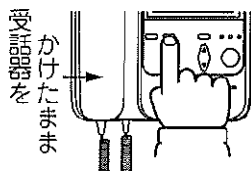
※各親機ごとに調節できます。

※電源スイッチを“OFF”にしたり、停電の後などは“標準”の状態にもどります。

秘話設定のしかた……相手にこちら側の声を聞かれないようにします。（3ページ「個別呼出」） （お話しするときには、受話器を取りあげてください）

＜設定する＞

一斉呼出ボタンを2秒以上押します。



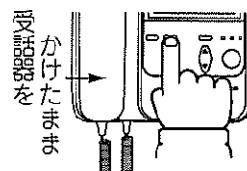
• 一斉呼出ボタンが緑色点灯します。

※各親機ごとに調節できます。

※電源スイッチを“OFF”にしたり、停電の後などは秘話設定が解除されます。

＜解除する＞

一斉呼出ボタンを2秒以上押します。



• 一斉呼出ボタンが消灯します。

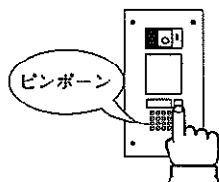
使話中表示

一斉呼出ボタン
呼出表示灯 } が点灯中(赤色)はほかの親機が使用中です。消えるまでお待ちください。

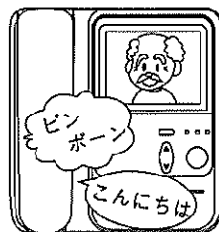
ご使用方法 [玄関子機通話]

玄関子機から呼ばれる

- 1** カメラ付玄関子機の呼出ボタンが押されると。

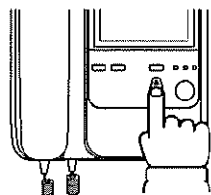


- 2** チャイム音(*)が鳴り、玄関の様子が映ります。外の音声も聞こえます。



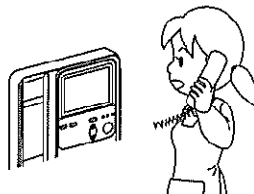
- 約30秒以内に応答しないと、映像・音声とも切れます。
- 映像・音声も切れても、約30秒以内に受話器を取り上げれば再度、玄関とつながります。
- モニター音量切替スイッチが“切”の場合は外の音声は聞こえません。(受話器を取りあげてください)
- チャイム音は呼出音増設スピーカーでも鳴ります。

- 3** 来訪者の顔が見えにくいときは、チルトボタンで調節します。



- チルト中は、玄関の音声は聞こえません。(通話もできません)
- 画面にブレが生じたり、カメラ付玄関子機からモーター動作音が聞こえますが異常ではありません。

- 4** 受話器を取りあげ、お話しします。



- 約2分30秒で切れます。
- 延長したいときは、通話が切れてから玄関モニターボタンを押します。

- 5** お話が終わったら、受話器をもどします。



映像も消えます。

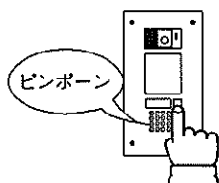
(*)チャイム音と呼出表示灯でどの玄関からの呼び出しかが分かります。

	チャイム音	呼出表示灯
カメラ付玄関子機1	ピンポンピンポン	玄関1(赤)点滅
カメラ付玄関子機2	ピンポン	玄関2(赤)点滅
カメラ付玄関子機3 (カメラなし玄関子機)	ピンポンピンポン ピンポンピンポン	玄関3(赤)点滅

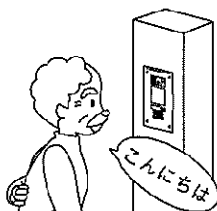
通話中は点灯にかわります。

■ 外から室内へ直接呼びかける

- 1** カメラ付玄関子機の呼出ボタンを押します。



- 2** そのままカメラ付玄関子機に向かって呼びかけます。



- チャイム音が鳴り終わってからお話しください。

- 3** 室内ではチャイム音が鳴り映像が映ったあと、外の音声も聞こえます。



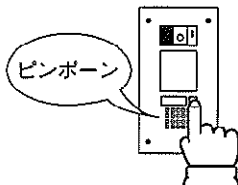
- 約30秒たつと自動的に切れます。
- 応答する場合は受話器を取りあげます。

☞ モニター音量切替スイッチが“切”の場合は、玄関の音声は聞こえません。

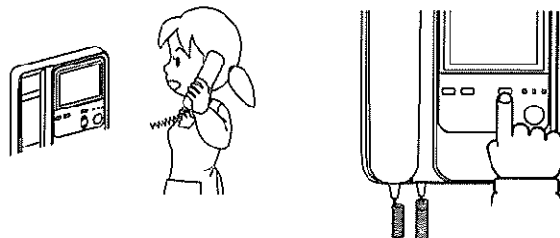
ご使用方法 [回転灯]

回転灯などを動かす(オプション)

- 1 **6** ページ「玄関子機から呼ばれる」
1 ~ 4 参照。

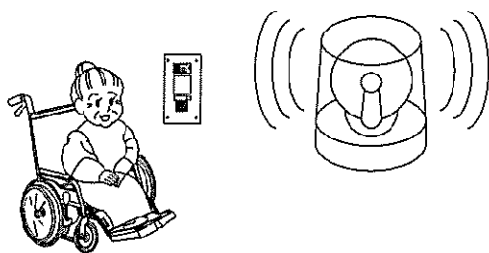


- 2 通話中にリモートボタンを押します。



- リモートボタンを押してもボタンは点灯しません。
- 待受時リモート操作できます。

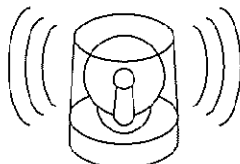
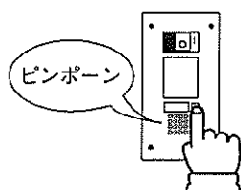
- 3 回転灯などを動かすことができます。



- 回転灯などを動かすことで、来訪者へ行き先を知らせることができます。

回転灯がリレーボックス(ATW-R：市販品)と接続している場合

玄関子機に呼ばれてから、約30秒間点灯します。



回転灯は消灯します。

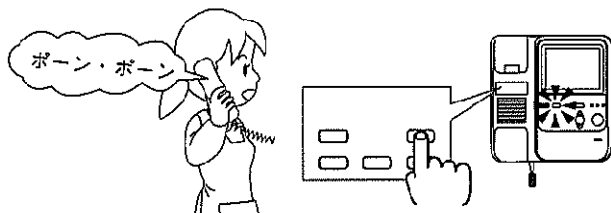
- 玄関からの呼出を回転灯などで知らせることができます。
- ☎ 通話中の親機があるとき、回転灯は点灯しません。

ご使用方法 [内線通話① 個別・一斉呼出]

ほかの親機を呼ぶ

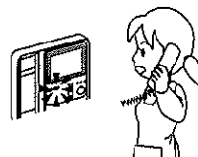
■ 個別呼出

1 受話器を取りあげ、選局ボタン（1～5）を押します。



• 一斉呼出ボタンが赤色点灯します。

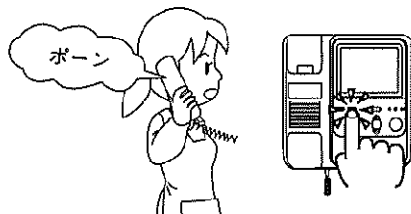
2 声で呼びかけ、相手が出たらお話しします。



• 約10分たつと自動的に切れます。

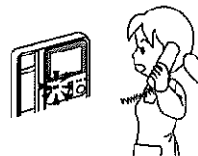
■ 一斉呼出

1 受話器を取りあげ、一斉呼出ボタンを押します。



• 一斉呼出ボタンが赤色点滅します。

2 声で呼びかけ、相手が出たらお話しします。

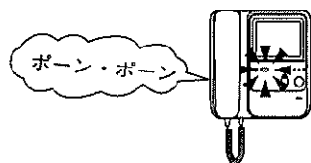


• 相手が出たら、一斉呼出ボタンが赤色点灯に変わります。
• 約10分たつと自動的に切れます。

ほかの親機から呼ばれる

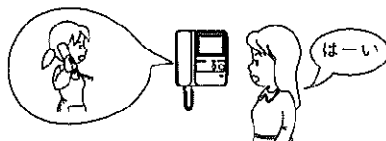
■ 個別呼出

1 予告音（ポーンポーン）が鳴り、相手の声が聞こえます。



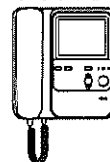
• 一斉呼出ボタンが赤色点灯します。

2 受話器を取りあげなくても、お話しできます。
(秘話設定…… 5 ページ)



• 受話器を取りあげてもお話しできます

3 相手がお話しを終えると自動的に終了します。
(操作は不要です)

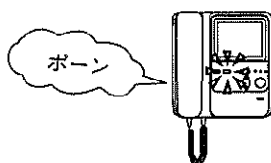


• 受話器でお話していたときは受話器をもどします。

📞 ほかの親機も一斉呼出ボタンが点灯しますが（予告音は鳴りません）、この間ほかの親機では操作できません。

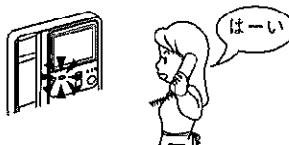
■ 一斉呼出

1 予告音（ポーン）が鳴り、相手の声が聞こえます。



• 一斉呼出ボタンが赤色点滅します。

2 返事をするときは、受話器を取りあげます。



• 一斉呼出ボタンが赤色点灯に変わります。

ご使用方法 [内線通話② 割込・転送]

内線中に玄関子機から呼ばれる

- 1 チャイム音（ピンボーン）が受話器から聞こえ、映像が映ります。
- 2 一旦両方とも受話器をもどします。
- 3 受話器を取りあげて来訪者とお話します。

• 通話中の親機以外には呼び出しがわかりません。

• 全部の親機に映像が映ります。

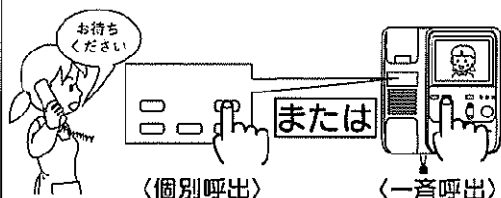
• ほかの親機の映像は消えます。

☎ そのほかの親機からの割り込みはできません。（一斉呼出ボタン・呼出表示灯が消えるまで、操作できません）

玄関子機との通話を転送する

■ 転送するとき

- 1 玄関子機との通話中に、選局ボタン（1～5）または一斉呼出ボタンを押します。
- 2 声で呼びかけ、相手が応答することを確認します。（*）
- 3 呼出表示灯が点滅から点灯にかわったら、受話器をもどします。



• 呼出表示灯が点滅にかかります。



• このとき玄関子機に音声は聞こえません。



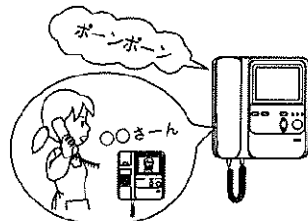
• 呼出表示灯の点灯は相手が応答したことを示します。

（*）転送先の親機が出ないときは、玄関モニターボタンを押すと玄関子機との通話にもどります。

☎ 内線通話の転送はできません。（通話を終えて、ほかの親機を呼び出してください）

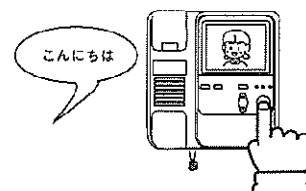
■ 転送されたとき

- 1 予告音（*）が鳴り、声で呼ばれます。
- 2 受話器を取りあげ、応答することを伝えます。
- 3 そのまま玄関モニターボタンを押します。



（*）●個別呼出のとき：ボーンボーン

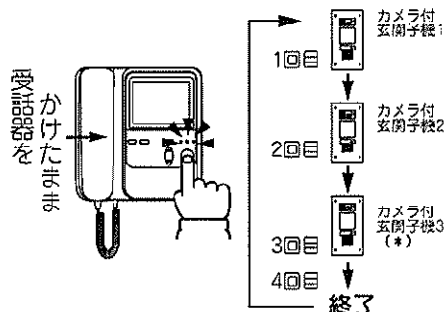
●一斉呼出のとき：ボーン



ご使用方法 [玄関モニター]

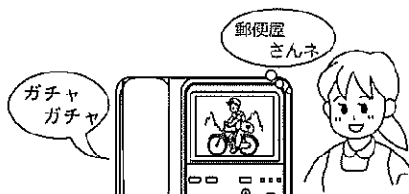
玄関先の様子をみる

1 玄関モニターボタンを押します。



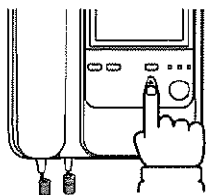
- 呼出表示灯も切り替わります。(玄関1~3)
- 3台目がカメラなし玄関子機 (IF-DAなど) の場合は、モニターできません。(3回目で終了します。)

2 玄関先が映り、外の音声が聞こえます。



- 約30秒後に切れます。(その後約30秒間は、再度ボタンを押すと同じ玄関をモニターできます)
- モニター音量切替スイッチが“切”の場合は外の音声が聞こえません。
- 受話器を取り上げなければ室内の音声は外には聞こえません。

3 モニター範囲を変えるときは、チルトボタンを押します。



- チルト中は、外の音声が聞こえません。
- 画面にブレが生じたり、カメラ付玄関子機からモーター動作音が聞こえますが異常ではありません。

4 受話器を取り上げれば、話しかけられます。



■ モニター中にほかの親機から呼ばれたら

《モニター中》

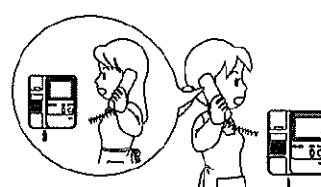


1 モニターが終了し予告音(*)が鳴ります。



- (*)
- 個別呼出のとき：ポーンポーン
 - 一斉呼出のとき：ポーン

2 受話器を取り上げ、お話しします。

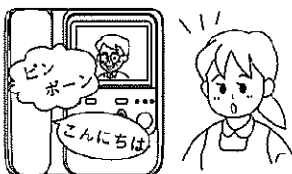


■ モニター中にほかの玄関子機から呼ばれたら

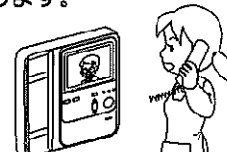
《モニター中》



1 モニターが終了し、呼び出しのあった玄関子機に切り替わります。



2 受話器を取り上げてお話しします。

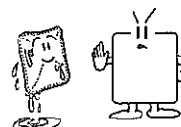


- 映像・通話は約2分30秒で切れます。
- 延長したいときは、玄関モニターボタンを押します。

お手入れ／故障かな？／仕様

■ お手入れするには

外観の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
汚れが落ちにくいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい
布にひたし、よくしぼってから拭いてください。



シンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。
機器の表面を傷めたり、変色の原因になります。



■ 故障かな？と思ったら

故障かな？	お調べください	参照ページ
動作しない	● 停電していませんか？ ● 宅内のブレーカーが「切」になっていませんか？ ● 電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ※モニター付親機 (KB-3MRL-T) が「OFF」になっているとシステム全体が動作しません。	4
呼出音「ピンポン」が鳴らない	呼出規制スイッチが「ON」になっていませんか？	5
通話・呼出音が小さい	音量調節は適当ですか？	5
雑音が入る	近くにOA機器や、テレビ、ラジオ、携帯電話などがありますか？	4
ファミリーコールができない	モニター音量切替スイッチが「切」になっていませんか？	4
一斉呼出ボタンが点灯したまま	秘話設定がされていませんか？	5
映像が映らない	● 近くで携帯電話など電磁波や磁気を発生させるものがありますか？ ● カメラなし玄関子機からの呼び出しではありませんか？	4
暗くなると映像が映らない	カメラ付玄関子機の照明が「切」になっていませんか？	5
ときどき画面に白い線が入る	太陽光などの強い光がカメラに当たっていませんか？	4
画面が明るい（または暗い）	明るさ調節は適当ですか？ ※モニターは上方から見ると明るい映像になり、下方から見ると暗い映像になります。	4

■ 仕様

KB-3MRL-T (モニター付親機)、KB-3HRL-T (モニター付増設親機)

電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	KB-3MRL-T……待受時 5W 最大 15W KB-3HRL-T……待受時 3W 最大 7W
通話方式	モニター付親機(モニター付増設親機)－玄関子機……電話スピーカー形同時通話 モニター付親機(モニター付増設親機)－モニター付増設親機 ……電話形同時通話または電話形拡声同時通話
材質	自己消火性樹脂
色調	ホワイト
寸法 (mm)	185(幅)×195(高)×84(奥行)
質量	約1.0kg

アフターサービスについて [修理を依頼されるとき]

修理・お取り扱いなどのご相談は取付工事店、販売店もしくは当社修理受付センター、お客様相談センターへお申し付けください。

- 製品保証書のお買い上げ日、店名・捺印をお確かめいただき、よくお読みのあと保管してください。
 - ・保証期間内は無料修理規定に従って、修理をさせていただきます。
 - ・保証期間を過ぎたときは有料で修理させていただきます。
- 使用中、故障や誤動作またはこれらの不都合による利用の機会を逸した場合の損害補償については申し受けかねます。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

製品保証書

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに基づいた正常な使用状態で異常・故障が発生した場合、無料修理規定の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

■保証対象機種名: KB-3MRL-T, KB-3HRL-T

■保証期間: お買い上げ日より2年間

■お買い上げ日: 年 月 日

販売店

印

本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。



アイホン株式会社



(無料修理規定)

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに基づいた施工・使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店もしくは修理受付センター、お客様相談センターへお申し付けください。
 - ②この商品は出張修理をさせていただきますので修理に際し、本保証書をご提示ください。
- 保証対象は、その構成機器を含んだシステムを保証対象機種とさせていただきますが、オプション・追加機器につきましては、各々の機器の保証規定に準じます。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店もしくは修理受付センター、お客様相談センターへご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにされない場合には、修理受付センター、お客様相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、有料にさせていただきます。
 - ①使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
 - ②お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
 - ③火災、地震、水害、落雷その他天災地災、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - ④本保証書のご提示が無い場合
 - ⑤本保証書にお買い上げ日、販売店名の記入や販売店名印の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - ⑥騒音または騒音に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
 - ⑦商品に異常が認められない場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - ・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付センター、お客様相談センターにお問い合わせください。
 - ・This warranty is valid only in Japan.

※修理受付センター・お客様相談センターにおける個人情報のお取り扱いについて

アイホン株式会社およびその関係会社は、お客様よりいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報を修理やご相談への対応、その確認や製品、サービスのご案内等のために利用し、記録に残すことがあります。また、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合は、第三者に個人情報を開示・提供することがありますが、その場合においても個人情報を適切に管理します。お客様がコールセンターにお電話でご連絡いただいた場合には、お客様の申し出を正確に把握し、漏れなく適切な対応を行うように、通話内容を記録(録音など)させていただきます。

- 本書の内容に関しましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い上げの販売店もしくは当社支店・営業所までご連絡ください。また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらず当社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高い信頼性が要求される用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計・製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。また当社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートはおこなっておりません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。TM、®、©などのマークは記載していません。

お問い合わせ先【受付時間: 午前9:00~午後5:30】

■修理のご依頼は「修理受付センター」へ

フリーダイヤル 0120-037-704 ●年中無休(365日)受付

■お取り扱いなどのご相談は「お客様相談センター」へ

フリーダイヤル 0120-141-092 ●土・日曜、祝日、およびお盆、年末・年始、

(ご注意: 携帯電話からのご相談はできません。) コールセンターを除く。

携帯電話からは0565-43-1390へおかけください。

アイホン株式会社

〒456-8666 名古屋市熱田区神野町2-18

ホームページ: <http://www.aiphone.co.jp>

836520 (B) P0212 AF 54192

お客様用
工事店様用

取付・取扱説明書

親子インターホン

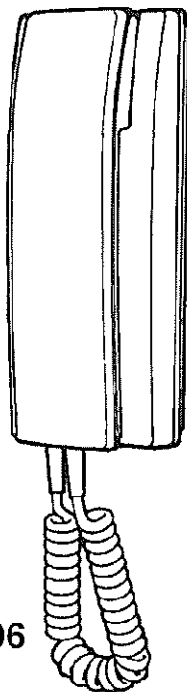
AT-206 (乾電池式壁掛形親機)

AT-216 (電灯線式壁掛形親機)

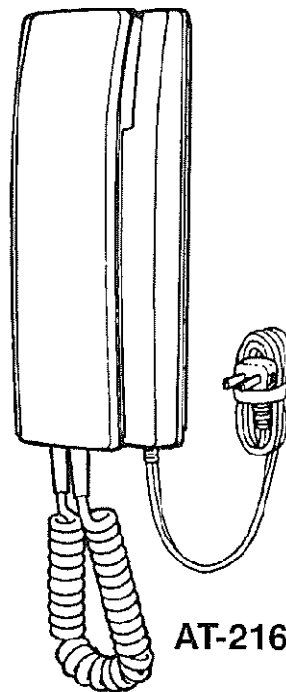
AT-306 (壁掛形子機)

AT-416 (親機・AT-216と子機・AT306のセット)

安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取付・取扱説明書をお読みください。
そのあと、必要に応じていつでも読めるように大切に保管してください。



AT-206



AT-216

目次

ご使用前に	1
安全上のご注意	1～2
取付・ご使用にあたって	2
1.構成	2
2.各部の名称	2
3.取り付けかた	3
4.接続のしかた	3
5.ご使用方法	3
6.お手入れするには	4
7.故障かな?と思ったら	4
8.アフターサービスについて	4
9.仕様	4

ご使用前に

安全上のご注意

この取付・取扱説明書および製品の表示では製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。その内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意(警告・注意を含む)を促す
内容を告げるものです。



禁止の行為であることを告げる
ものです。



行為を強制したり指示する
内容を告げるものです。

安全上のご注意

⚠ 警告

●仕様に表記された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

●機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●機器本体を取る付ける場合は、肩などの身体が容易に触れない場所を選んでください。けがの原因となります。

●電源コードを傷つけたり重いものをのせないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。

●呼出テスト、呼出音量の確認は必ず受話器を本体にかけた状態で行ってください。受話器を耳にあてたままフックスイッチを操作すると、不意の呼出などで耳を痛める恐れがあります。

●電源プラグの部分にはこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

●次の場所での設置および使用は避けてください。故障の原因となることがあります。

- ・直射日光の当たる場所、暖房機器およびボイラーなどの火気の近くなど温度が上昇するところ
- ・鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素（温泉地）などのかかる恐れのあるところ
- ・浴室、地下室、温室などの湿度の高いところ
- ・冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低いところ

●電池を機器内に挿入する場合、極性（プラス・マイナス）の向きに注意し、表示どおり入れてください。電池の破損、液漏れにより火災、けが、周囲汚染の原因となることがあります。

●電源をいれる前に、誤配線、ショートなどがいないことを確認してください。火災、感電の原因となることがあります。

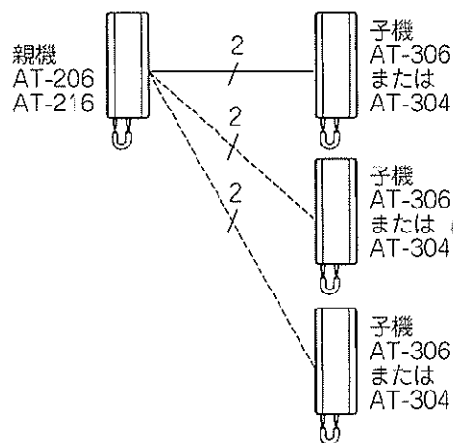
取付・ご使用にあたって

1. 構成

この製品は親機1台・子機3台(最大)まで接続できる、親子式のインターホンです。リレーボックス(ATW-R)を使用して外設ブザー(市販品)を取り付けることもできます。

※この製品は、家庭用機器として屋内で使用するよう設計されています。屋外では使用できません。

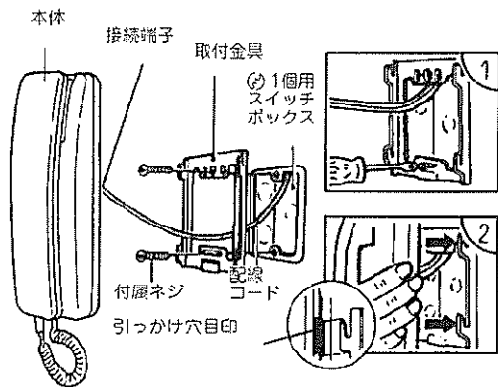
●使用例
親機1台・子機3台



2. 各部の名称

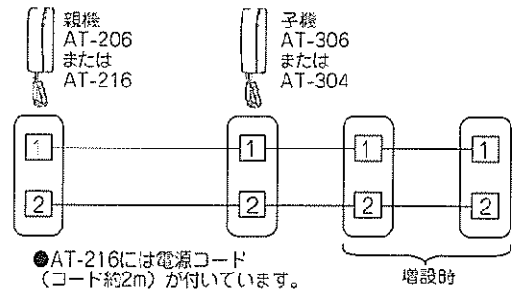
乾電池式壁掛形親機・AT-206	電灯線式壁掛形親機・AT-216	壁掛形子機・AT-306
付属部品 - ネジ2本 (スイッチボックス用) - ネホン2本 (柱・本壁用) - 取付金具1個	付属部品 - ネジ2本 (スイッチボックス用) - ネホン2本 (柱・本壁用) - 取付金具1個	付属部品 - ネジ2本 (スイッチボックス用) - ネホン2本 (柱・本壁用) - 取付金具1個

3. 取り付けかた



1. 取付金具を付属ネジでスイッチボックスまたは柱・木壁に取り付けます。
2. 結線後、本体を取付金具に取り付けます。(取付金具の3つの取付穴で取付位置を左右に調節できます。)

4. 接続のしかた



●AT-216には電源コード(コード約2m)が付いています。

外設ブザー(市販品)を使用する場合は、リレーボックスATW-Rが必要です。
ATW-Rの取付・取扱説明書をご確認ください。

5. ご使用方法

呼出・通話のしかた

親機から子機を呼ぶとき

- 1 受話器をとって呼出ボタンを押します。



- 2 相手が出たらお話しください。



- 3 終わったら受話器を確実に戻してください。



※子機を2台または3台取り付けただけの場合は、親機の呼出ボタンを押すと全部の子機に呼出音が鳴りますので各子機に個別の呼出音を決めて(モールス信号のように)呼び出してください。

子機から親機を呼ぶとき

- 1 受話器をとって呼出ボタンを押します。



- 2 相手が出たらお話しください。



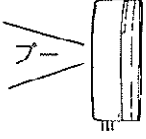
- 3 終わったら受話器を確実に戻してください。



※受話器を取りあげたときに話し声が聞こえるときは、通話中ですので一度受話器をもとにもどし、しばらく待ってから呼び出してください。

相手から呼ばれたとき

- 1 呼出音(ブー)が聞こえます。



- 2 受話器をとってお話しください。



- 3 終わったら受話器を確実に戻してください。

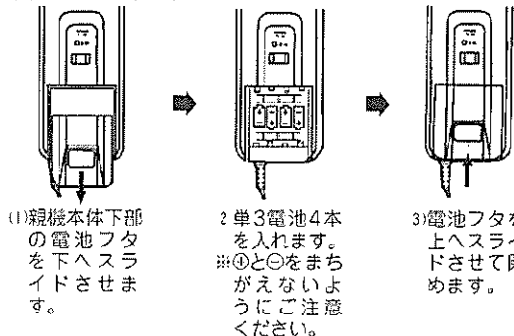


※受話器が確実に戻してないと呼び出しができません。また電池が早く消耗しますので確実にかけてください。



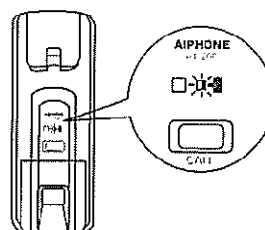
電池の入れかたと交換について

※電池を交換するときには4本同時に新しい電池と交換してください。



●電池交換の時期をインジケータが知らせます。

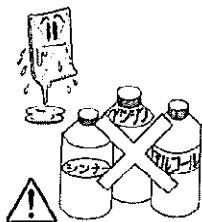
インジケータのみかた
(送受器を取り上げた状態で判断します。)



状態1	点灯する。	電池は入れかえる必要はありません。
状態2	親機の呼出ボタンを押すと暗くなる。	使用に支障はありませんが電池交換の時期が近づいています。
状態3	点灯しなくなった。呼出音の音色が悪くなった。	電池交換をしてください。

6. お手入れするには

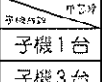
- 汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にひたし、よくしぼってから拭いてください。ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。



8. アフターサービスについて

- この製品には2年間の保証が付いています。
- 万一故障した場合には、製品保証書をご確認のうえお買い求め店もしくは、当社修理受付センターへお申しつけください。
- 製品保証書の記載内容により、無償修理させていただきます。
- 製品保証書は斜め右下にあります。
- 修理を依頼される前に下記事項をご確認ください。
 - 製品名・お買い上げ日 ○故障または異常の内容 ○ご住所・お名前・電話番号 ○訪問ご希望日

9. 仕様

	AT-206		AT-216	
電源電圧	DC・6V 単3乾電池4本	電源電圧	AC・100V	
消費電流	最大120mA 待受時0mA	消費電力	最大 2W 待受時 0.2W	
電池寿命	約 1 年※	電力料金	約14円※ (1ヵ月使用)	
通話方式	電話形同時通話			
呼出方式	電子発振音			
配線数	2線(無極性)			
到達距離		0.65mm	0.9mm	1.0mm
	子機 1 台	700m	1,300m	1,600m
	子機 3 台	400m	800m	940m
寸法(mm)	210(縦)×80(横)×50(奥行)			
重 量	約310g		約410g	
	AT-306: 約280g			

※呼出5秒、通話10秒で1日10回使用の場合

7. 故障かな?と思ったら

- 正常な呼出・通話ができないとき、つぎのような原因が考えられますので調べてください。

- ①配線がはずれていたり、ショートしていませんか?
- ②電池が消耗していませんか?(AT-206)
- ③電源プラグが抜けていませんか?(AT-216)

- 以下の症状など故障と思われるときは、ご使用を中止し当社修理受付センターまでお問い合わせください。

- ・呼出音が鳴らない ・通話ができない
- ・呼出ボタンやフックスイッチが引っかかる など

- 使用中、故障や誤動作またはこれらの不都合により通話利用の機会を逸した場合の損害補償については申し受けかねます。

- 製品保証書は、販売店にてお買い上げ日、店名・住所を記入、捺印していただき、大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)最低保有期間は製造打切り後7年です。

製品保証書

このたび、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本保証書は、取扱説明書に基づいた正常な使用状態で、異常・故障が発生した場合、本保証書の記載内容にて無償修理を行うことを約束するものです。

保証対象機種名: AT-206・AT-216・AT-306

この保証書は上記保証対象機種を使用して構成される当社製品に有効です。

保証期間 お買い上げ日より2年です。お買い上げ日・お買い求め店名・住所・捺印をご確認の上保管してください。

お買い上げ日: 平成 年 月 日

販売店名

住所

印欄は販売店にてご記入ください。記入のない場合は無効になりますのでご注意ください。

保証対象外: 保証期間中であっても、次の場合有償になります。

- 本製品に異常が認められない場合
- 取扱説明書に基づかない使用による故障
- 配線・取り付け・接続上の原因のある故障
- 取り付け後の移動落下等お客様の不注意による故障
- 火災・地震その他の天災地災による故障
- 本保証書のご指定がない場合

無償修理をご希望される際は、お買い求め店もしくは、当社修理受付センター、お客様相談センターへご連絡ください。



アイホン株式会社

本社: 名古屋市熱田区神野町2-18 〒456-8666



アイホン株式会社

本社: 名古屋市熱田区神野町2-18 (〒456-8666)
ホームページ: <http://www.aiphone.co.jp>

庁舎自動扉開閉装置保守点検業務 仕様書

点検機器

点検場所	機種	数量	備考
第一庁舎	自動扉	8台	詳細については別紙のとおり
第二庁舎	自動扉	7台	
連絡通路	自動扉	3台	
芸術館	自動扉	1台	

保守点検周期

- ・ 建築保全業務共通仕様に基づく

保守点検内容

- ・ 装置異常の有無の点検
- ・ 扉の開閉速度、クッションの調整
- ・ 各スイッチの感度調整
- ・ 各部のビス、ボルトナット等の増し締め
- ・ 機械各部の清掃・注油
- ・ その他、建築保全業務共通仕様に基づいた点検

その他

- ① 業務完了後、下記の書類を提出する。
 - ・ 作業報告書 1部
 - ・ 保守点検状況、作業写真 1部
- ② 本仕様書に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)によるものとする。

庁 舎 内 自 動 扉

番 号	機 種	自 動 扉 設 置 場 所		備 考
1	DS-150	第一庁舎 1F	西側入口外	ナブコ製
2	DS-150	〃	〃 内	
3	DS-75	〃	南側入口外	
4	DS-75	〃	〃 内	
5	DS-75	〃	北側入口外	
6	DS-75	〃	〃 内	
7	DS-41	連絡通路	内	
8	DS-51	連絡通路	南	
9	DS-75	連絡通路	北	
10	DS-51	第二庁舎 1F	北側入口外	
11	DS-250	〃	〃 中	寺岡オート ア製
12	DS-250	〃	〃 内	
13	DS-60	第二庁舎 1F	身障者用トイレ	
14	DS-60	〃 2F	〃	
15	DS-150	第二庁舎 1F	西側入口内	
16	DS-150	第二庁舎 1F	西側入口外	
17	T60KNBKW	芸術館 1F	ホールホワイエ	
18	T60KNBKW	第一庁舎 1F	身障者トイレ	
19	T60KNBKW	〃 2F	〃	

庁舎消防設備法定点検業務 仕様書

点検機器

点検場所	機種	数量	備考
第一庁舎 第二庁舎 芸術館 緑町立体駐車場	庁舎消防設備	1式	詳細については別紙のとおり

保守点検周期

- ・ 建築保全業務共通仕様に基づく

業務内容

- ・ 上記の機器について、外観・機能点検及び総合点検を実施するものとする。
- ・ 業務期間内において発見された消防設備について、迅速に修繕対応を行うもの。
- ・ 市庁舎消防訓練における、事前準備及び立会いを行うもの。

その他

- ① 各点検終了時、下記の書類を提出すること。
 - ・ 消防用設備点検結果報告書 3部(正・副・控)
 - ・ 点検状況、作業写真 1部
- ② その他本仕様書に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)によるものとする。

庁舎消防設備一覧

○ 第一庁舎・芸術館

機器種類・規格	数量	単位	備考
自動火災報知設備			
自立型複合GR型	1	台	
総合操作盤	1	台	
光電アナログ式スポット感知器	684	個	
熱アナログ式スポット感知器(普通型)	9	個	
熱アナログ式スポット感知器(防水型)	103	個	
作動式スポット感知器	18	個	
赤外線式スポット感知器	8	個	
発信機R型	36	個	
誘導灯	196	個	
階段通路誘導灯	66	個	
客席誘導灯	76	個	
避難標識	15	個	
非常用放送設備	1	式	別途放送設備点検と併せて行う
防火扉・排煙設備			
自動起動装置(光電式感知器)	64	個	
自動起動装置(熱アナログ)	2	個	
自動起動装置(防火扉)	23	個	
自動起動装置(ダンパー)	23	個	
自動起動装置(防火シャッター)	11	個	
自動起動装置(可動垂れ壁)	12	個	
排煙設備制御盤	9	台	
手動式起動装置(埋込型)	107	個	
手動式起動装置(ダンパー型)	14	個	
手動式起動装置(排煙口)	134	個	
屋内・屋外消火栓設備			
加圧送水装置(ポンプ・モータ共)	1	式	
制御盤・受信盤	1	式	
スプリンクラー(開放型)	1	式	
スプリンクラー(湿式閉鎖型)	1	式	
連結送水管	9	箇所	放水口 3F、4F × 2 5F～PH × 1
消火器			
粉末消火器(蓄圧式)	121	個	
粉末消火器(蓄圧式)50型	4	個	
強化液消火器	17	個	
二酸化炭素消火器	2	個	
その他			
ガス漏れ検知器	8	台	
検知区域警報装置	8	台	
蓄圧式ハロゲン化物消火剤	4	本	
不活性ガス	16	個	
避難器具	1	台	

庁舎消防設備一覧

○ 第二庁舎

機 器 種 類 ・ 規 格	数 量	単 位	備 考
自動火災報知設備			
GR型受信機255D	1	台	
表示機	1	台	
差動式スポット型熱感知器	41	個	
定温式スポット型熱感知器	70	個	
煙感知器	257	個	
発信機 P-1級	24	個	
音響ベル	24	個	
誘導灯	28	個	
非常用放送設備	1	式	
防火扉・排煙設備			
自動起動装置(煙感知器)	73	個	
自動起動装置(防火扉)	76	個	
自動起動装置(ダンパー)	46	個	
自動起動装置(防火シャッター)	46	個	
自動起動装置(可動垂れ壁)	9	個	
自動起動装置(排煙口)	22	個	
手動起動装置	13	個	
音響装置	13	個	
屋内・屋外消火栓設備			
加圧送水装置(ポンプ・モータ共)	1	式	
制御盤・受信盤	1	式	
呼水装置	1	式	
屋内消火栓	14	箇所	BF～2F×2 3F～10F×1
連結送水管	11	箇所	放水口(BF～10F)
スプリンクラー	1	式	
消火器			
粉末消火器(蓄圧式)	94	個	
二酸化炭素消火器	1	個	
その他			
ガス漏れ検知器	4	台	
検知区域警報装置	4	台	
蓄圧式ハロゲン化物消火剤	9	本	
ガス漏れ表示灯	1	個	

庁舎消防設備一覧

○ 緑町立体駐車場

機 器 種 類 ・ 規 格	数 量	単 位	備 考
自動火災報知設備			
P型1級受信機	1	台	
差動式スポット型熱感知器	234	個	
煙感知器	2	個	
発信機 P-1級	24	個	
音響ベル	24	個	
誘導灯	40	個	
消火器			
粉末消火器(蓄圧式)	36	個	
移動式消火装置(粉末)			
薬剤容器(粉末ABC 33kg)、加圧用容器(ガス量0.66kg)、	1	式	
容器弁・三方弁、排出弁・放出弁、ホースリール・放射ノ			
ズル、格納箱・表示灯			

庁舎厨房設備保守点検業務 仕様書

点検機器

点検場所	機種	数量	備考
第一庁舎	厨房設備（1階・8階）	1式	詳細については別紙のとおり

保守点検周期

- ・ 建築保全業務共通仕様に基づく

保守点検内容

- ・ 構成機器についてメーカー指針に基づいた保守点検

その他

- ① 業務完了後、下記の書類を提出する。
 - ・ 作業報告書 1 部
 - ・ 保守点検状況、作業写真 1 部
- ② 本仕様書に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)によるものとする。

榎・長野
設計共同体

中国现代文学史 第三版 王德胜 主编 人民文学出版社 2011年1月

[illegible]

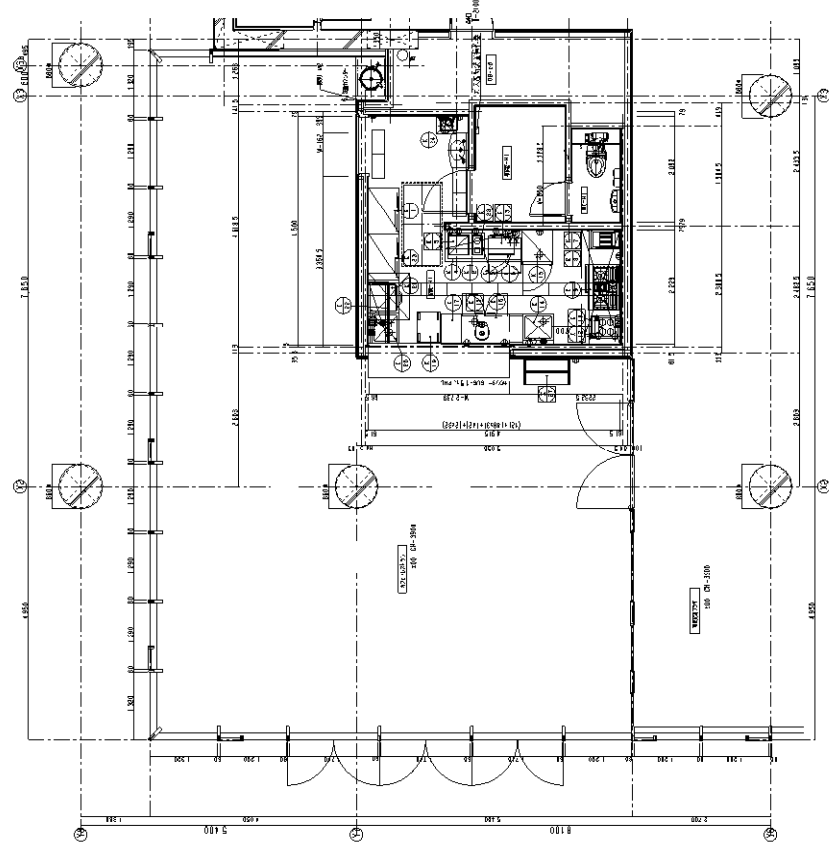
8.1	8.2
-----	-----

[illegible]

2015, 11	1-2
2015, 11	1-2

廚房機器設備
1階

時間	1:50
資料提供	P-060



☐ 機器No.の
は 別途備品を示します。

[illegible]

庁舎直流電源装置保守点検業務 仕様書

点検機器

点検場所	機種	数量	備考
第一庁舎	第一庁舎非常照明用	1式	GS ユアサ製 整流器 TR-SNTR10030 蓄電池 SNS-200-2P 400AH 54 セル
	正副電気室設備操作用	2式	GS ユアサ製 整流器 TR-SNTR10030 蓄電池 SNS-50-12 50AH 54 セル
第二庁舎	地下電気室	1式	GS ユアサ製 整流器 TR-SNTR10030 蓄電池 SNSX-100 54 セル

保守点検周期

- ・ 建築保全業務共通仕様に基づく

保守点検内容

1. 整流器関係

- ・ 外箱、機器等の外観状況点検
- ・ 入力電圧、出力電流値の測定等機能点検
- ・ 主回路締め付けボルト、ナットの緩みの有無
- ・ 絶縁抵抗、接地抵抗の測定

2. 蓄電池関係

- ・ 蓄電池外観点検及びボルト、ナット緩みの有無
- ・ 各セルの電圧及び蓄電池総電圧測定
- ・ 電解液比重の点検
- ・ 内部抵抗値測定

その他

① 業務完了後、下記の書類を提出する。

- ・ 作業報告書 1 部
- ・ 保守点検状況、作業写真 1 部

② 本仕様書に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)によるものとする。